

九州経済国際化データ 2019

(貿易編)

Kyushu economic internationalization data



2019年10月

経済産業省

九州経済産業局

第1章 九州と世界の貿易	-----	1
1. 九州と世界の貿易動向	-----	1
2. 九州から世界への輸出動向	-----	6
3. 九州の世界からの輸入動向	-----	9
第2章 九州と各国・地域の貿易	-----	12
1. 九州と韓国の貿易	-----	12
2. 九州と中国の貿易	-----	16
3. 九州と台湾の貿易	-----	20
4. 九州と香港の貿易	-----	24
5. 九州とASEANの貿易	-----	28
6. 九州とベトナムの貿易	-----	37
7. 九州とタイの貿易	-----	41
8. 九州とシンガポールの貿易	-----	45
9. 九州とマレーシアの貿易	-----	49
10. 九州とフィリピンの貿易	-----	53
11. 九州とインドネシアの貿易	-----	57
12. 九州とミャンマーの貿易	-----	61
13. 九州とインドの貿易	-----	65
14. 九州とEUの貿易	-----	69
(九州と英国の貿易)	-----	75
15. 九州と米国の貿易	-----	78
16. 九州とオーストラリアの貿易	-----	82
第3章 九州の産業別貿易動向	-----	86
1. 自動車・自動車の部分品	-----	86
2. 半導体等電子部品	-----	90
3. 鉄鋼	-----	92
4. 船舶類	-----	94
5. 食料品	-----	95
6. 農林水産物及び加工品	-----	98
7. 鉱物性燃料	-----	110

卷末資料

1. 九州及び日本の貿易の変遷
2. 地理圏・経済圏の分類表
3. 品目分類表

注 意 点

- (1) 年次は特記しない限り、暦年(1月～12月)を示す。
- (2) 貿易の図表は特記しない限り、輸出入額に関しては財務省「貿易統計」(輸出はFOB、輸入はCIF)及び門司税関提供による統計資料、その他に関しては経済産業省資料に基づき九州経済産業局にて作成したもの。
- (3) 品目分類は財務省貿易統計の概況品コード(財務省貿易統計ホームページに掲載されている)に準拠する。詳細は巻末資料3の「品目分類表」を参照。
- (4) 統計数値は原則として四捨五入のため、合計と若干の差異が生じる場合がある。
- (5) 金額単位のドルは特記しない限り、USドル(米ドル)を示す。

用 語 の 解 説

- (1) 「国」は、地域を含む場合がある。
- (2) 「全国」は、「九州」の数値を含んでいる。
- (3) 貿易統計での「九州」とは、特記しない限り九州7県の各港(港湾及び空港)を合算したものを示す。
- (4) 「アジア」や「ASEAN」等の地理圏・経済圏は、巻末資料2の「地理圏・経済圏の分類表」を参照。
- (5) 「全国比」とは、日本全国の数値に占める九州の割合を示しており、単位は%。
- (6) 「寄与度」とは、貿易統計において(前期との差額)÷(前期の輸出または輸入総額)で算出され、当該項目の増減が輸出または輸入の総額の変動にどれくらい影響するかを示す。単位は%。

産業別分類（概況品コード）の考え方について

自動車：

輸出コード 70503

輸入コード 70501

自動車の部分品：

輸出コード 70505

輸入コード 70503

半導体等電子部品：

輸出コード 70323

輸入コード 70311

鉄鋼：

輸出コード 611

輸入コード 613

船舶類：

輸出コード 70513

食料品：

輸出・入共通 0、1、4

※ただし、生きた動物 001、飼料 017、加工油脂（ろう）405、
たばこ 103 を除く。

鉱物性燃料：

輸入コード 3

第1章 九州と世界の貿易

1. 九州と世界の貿易動向

●2018年の九州の貿易額

輸出総額：6兆9,506億円（前年比1.6%増） → 2年連続のプラス（過去最高）

輸入総額：5兆8,854億円（前年比11.5%増） → 2年連続のプラス

貿易収支：1兆652億円（前年比31.8%減） → 4年連続の輸出超過

●輸出相手国・地域（輸出額多い順）中国、米国、韓国、香港、台湾

〈寄与度↑〉中国（+3.5%）、アラブ首長国連邦（+1.0%）

〈寄与度↓〉韓国（▲2.8%）、米国（▲2.6%）

●輸入相手国・地域（輸入額多い順）中国、オーストラリア、サウジアラビア、米国

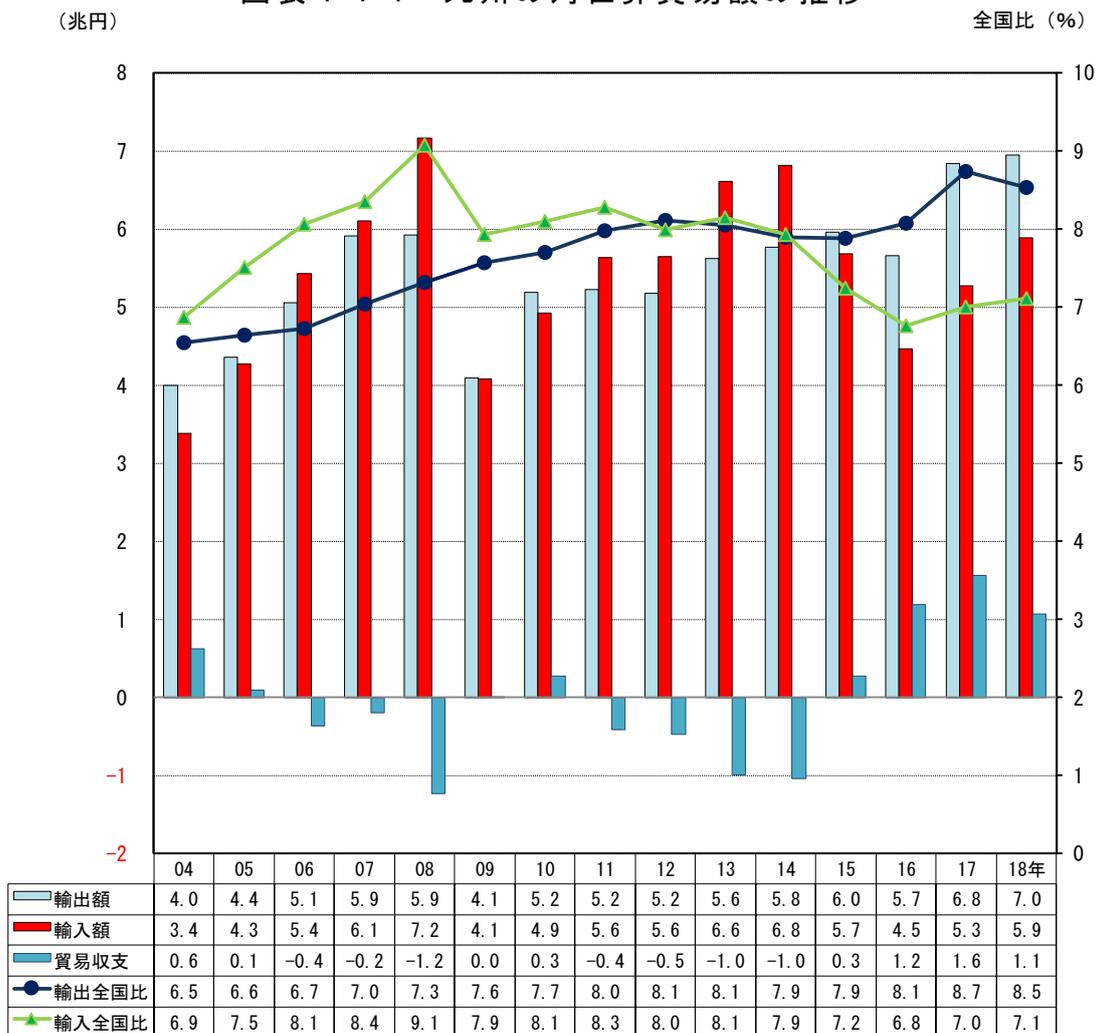
〈寄与度↑〉米国（+2.2%）、サウジアラビア（+1.9%）

〈寄与度↓〉パナマ（▲0.4%）、ロシア（▲0.3%）

★2018年の九州の輸出額は過去最高★

2018年の九州の輸出額は、前年より1,097億円増加し（前年比1.6%増）、1979年以降で過去最高。輸出額の全国に占める割合（全国比）及び輸出額から輸入額を引いた貿易収支は前年より減少。

図表 1-1-1 九州の対世界貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 1-1-2 九州の国・地域別輸出入動向（2018年）

（単位：億円、％）

国・地域	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
韓国	8,324	12.0%	▲18.4%	▲2.8%	14.4%	2,904	4.9%	3.2%	0.2%	8.2%
中国	15,359	22.1%	18.7%	3.5%	9.7%	10,162	17.3%	4.9%	0.9%	5.3%
台湾	3,742	5.4%	▲0.4%	▲0.02%	8.0%	3,136	5.3%	1.0%	0.1%	10.5%
香港	4,334	6.2%	15.6%	0.9%	11.3%	181	0.3%	205.2%	0.2%	7.7%
ベトナム	2,077	3.0%	21.2%	0.5%	11.4%	1,448	2.5%	14.1%	0.3%	6.2%
タイ	2,320	3.3%	11.7%	0.4%	6.5%	1,783	3.0%	5.4%	0.2%	6.4%
シンガポール	1,967	2.8%	▲7.3%	▲0.2%	7.6%	154	0.3%	▲13.8%	▲0.05%	1.4%
マレーシア	1,305	1.9%	▲2.5%	▲0.05%	8.5%	999	1.7%	7.5%	0.1%	4.8%
ブルネイ	17	0.02%	103.8%	0.01%	15.6%	0.4	0.0%	▲98.5%	▲0.05%	0.0%
フィリピン	655	0.9%	▲11.6%	▲0.1%	5.3%	1,157	2.0%	▲1.5%	▲0.03%	10.0%
インドネシア	967	1.4%	11.6%	0.1%	5.5%	2,782	4.7%	9.4%	0.5%	11.7%
カンボジア	35	0.1%	27.4%	0.01%	7.5%	43	0.1%	26.7%	0.02%	2.4%
ラオス	6	0.01%	166.6%	0.01%	3.8%	5	0.01%	0.02%	0.0%	2.8%
ミャンマー	51	0.1%	3.8%	0.003%	6.7%	35	0.1%	6.7%	0.004%	2.5%
インド	1,101	1.6%	46.6%	0.5%	9.1%	368	0.6%	▲22.8%	▲0.2%	6.1%
イラン	45	0.1%	▲11.7%	▲0.01%	5.9%	307	0.5%	130.6%	0.3%	8.1%
サウジアラビア	323	0.5%	24.5%	0.1%	7.1%	4,525	7.7%	28.8%	1.9%	12.1%
クウェート	178	0.3%	58.1%	0.1%	9.1%	1,565	2.7%	34.5%	0.8%	19.5%
カタール	142	0.2%	▲2.0%	▲0.004%	9.0%	1,058	1.8%	35.3%	0.5%	6.4%
オマーン	53	0.1%	6.4%	0.005%	2.4%	457	0.8%	54.5%	0.3%	14.1%
アラブ首長国連邦	2,315	3.3%	41.4%	1.0%	26.6%	3,372	5.7%	22.0%	1.2%	11.1%
ノルウェー	12	0.02%	4.9%	0.001%	1.2%	134	0.2%	▲22.5%	▲0.1%	6.6%
スウェーデン	150	0.2%	33.7%	0.1%	9.5%	39	0.1%	▲18.9%	▲0.02%	1.3%
英国	545	0.8%	▲38.6%	▲0.5%	3.5%	132	0.2%	▲4.1%	▲0.01%	1.4%
オランダ	1,252	1.8%	▲7.9%	▲0.2%	8.9%	137	0.2%	95.4%	0.1%	3.9%
ベルギー	517	0.7%	24.7%	0.1%	6.9%	120	0.2%	186.5%	0.1%	3.5%
フランス	426	0.6%	23.1%	0.1%	5.5%	463	0.8%	17.2%	0.1%	3.8%
ドイツ	948	1.4%	5.1%	0.1%	4.1%	345	0.6%	▲2.9%	▲0.02%	1.2%
スペイン	322	0.5%	▲23.8%	▲0.1%	8.6%	185	0.3%	▲6.2%	▲0.02%	5.0%
イタリア	393	0.6%	▲56.5%	▲0.7%	7.6%	104	0.2%	11.9%	0.0%	0.8%
ロシア	405	0.6%	4.8%	0.03%	5.0%	1,519	2.6%	▲10.1%	▲0.3%	8.8%
カナダ	1,033	1.5%	47.0%	0.5%	10.0%	1,096	1.9%	▲10.8%	▲0.3%	8.5%
米国	9,405	13.5%	▲15.7%	▲2.6%	6.1%	4,477	7.6%	34.6%	2.2%	5.0%
メキシコ	992	1.4%	▲15.5%	▲0.3%	7.7%	912	1.5%	14.7%	0.2%	13.0%
パナマ	1,127	1.6%	▲32.3%	▲0.8%	17.2%	103	0.2%	▲65.9%	▲0.4%	20.2%
コロンビア	192	0.3%	15.4%	0.04%	15.7%	24	0.04%	▲59.3%	▲0.1%	2.9%
チリ	315	0.5%	3.8%	0.02%	14.3%	976	1.7%	25.9%	0.4%	12.2%
ブラジル	232	0.3%	12.4%	0.04%	5.3%	1,166	2.0%	▲1.4%	▲0.03%	15.3%
南アフリカ共和国	179	0.3%	▲13.2%	▲0.04%	6.5%	425	0.7%	1.5%	0.01%	7.5%
オーストラリア	1,084	1.6%	8.5%	0.1%	5.7%	6,500	11.0%	11.0%	1.2%	12.9%
ニュージーランド	107	0.2%	▲1.8%	▲0.003%	3.7%	117	0.2%	17.0%	0.03%	4.0%
その他	4,556	6.6%	35.2%	1.7%	9.0%	3,438	5.8%	20.1%	1.1%	6.1%
総額	69,506	100.0%	1.6%	1.6%	8.5%	58,854	100.0%	11.5%	11.5%	7.1%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-1-3 10年前と比較した全国・九州の輸出相手国・地域（上位5カ国・地域）

（単位：億円、％）

2008年			2018年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	142,143	17.5%	中国	158,977	19.5%
中国	129,499	16.0%	米国	154,702	19.0%
韓国	61,683	7.6%	韓国	57,926	7.1%
台湾	47,816	5.9%	台湾	46,792	5.7%
香港	41,778	5.2%	香港	38,323	4.7%
その他	387,263	47.8%	その他	358,067	43.9%
総計	810,181	100.0%	統計	814,788	100.0%
九州			九州		
中国	13,472	22.7%	中国	15,359	22.1%
米国	8,354	14.1%	米国	9,405	13.5%
韓国	6,960	11.7%	韓国	8,324	12.0%
台湾	3,707	6.3%	香港	4,334	6.2%
香港	2,160	3.6%	台湾	3,742	5.4%
その他	24,607	41.5%	その他	28,343	40.8%
総計	59,260	100.0%	総計	69,506	100.0%

図表 1-1-4 10年前と比較した全国・九州の輸入相手国・地域（上位5カ国・地域）

（単位：億円、％）

2008年			2018年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	148,304	18.8%	中国	191,937	23.2%
米国	80,396	10.2%	米国	90,149	10.9%
サウジアラビア	52,927	6.7%	オーストラリア	50,528	6.1%
オーストラリア	49,216	6.2%	サウジアラビア	37,329	4.5%
アラブ首長国連邦	48,719	6.2%	韓国	35,505	4.3%
その他	409,985	51.9%	その他	421,585	51.0%
総計	789,547	100.0%	総計	827,033	100.0%
九州			九州		
中国	8,755	12.2%	中国	10,162	17.3%
サウジアラビア	7,128	9.9%	オーストラリア	6,500	11.0%
オーストラリア	6,689	9.3%	サウジアラビア	4,525	7.7%
アラブ首長国連邦	5,211	7.3%	米国	4,477	7.6%
米国	4,575	6.4%	アラブ首長国連邦	3,372	5.7%
その他	39,289	54.8%	その他	29,819	50.7%
総計	71,647	100.0%	総計	58,854	100.0%

図表 1-1-3～4 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-1-5 10年前と比較した全国・九州の輸出品目（上位5品目）

（単位：億円、％）

2008年			2018年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
自動車	137,361	17.0%	自動車	123,072	15.1%
半導体等電子部品	46,250	5.7%	半導体等電子部品	41,502	5.1%
自動車の部分品	30,655	3.8%	自動車の部分品	39,909	4.9%
鉄鋼のフラットロール製品	27,403	3.4%	原動機	29,488	3.6%
事務用機器	25,328	3.1%	半導体等製造装置	27,286	3.3%
その他	543,184	67.0%	その他	553,530	67.9%
総計	810,181	100.0%	総計	814,788	100.0%
九州			九州		
自動車	9,889	16.7%	自動車	16,487	23.7%
半導体等電子部品	6,481	10.9%	半導体等電子部品	8,327	12.0%
船舶類	5,259	8.9%	鉄鋼のフラットロール製品	4,268	6.1%
鉄鋼のフラットロール製品	4,489	7.6%	半導体等製造装置	4,172	6.0%
ゴムタイヤ及びチューブ	2,903	4.9%	船舶類	3,975	5.7%
その他	30,239	51.0%	その他	32,277	46.4%
総計	59,260	100.0%	総計	69,506	100.0%

図表 1-1-6 10年前と比較した全国・九州の輸入品目（上位5品目）

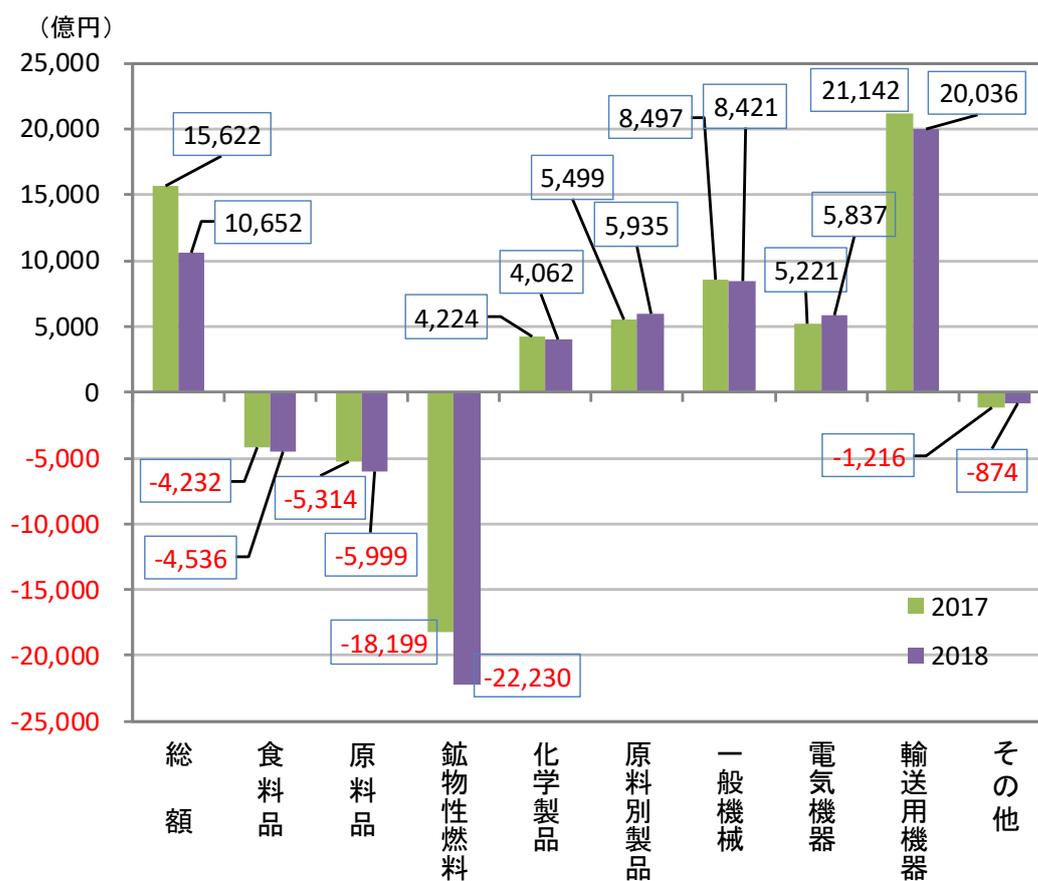
（単位：億円、％）

2008年			2018年		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
原油及び粗油	162,620	20.6%	原油及び粗油	89,063	10.8%
石油ガス類	58,601	7.4%	石油ガス類	54,298	6.6%
石炭	30,505	3.9%	通信機	30,868	3.7%
事務用機器	25,338	3.2%	半導体等電子部品	28,165	3.4%
半導体等電子部品	24,791	3.1%	石炭	28,121	3.4%
その他	487,692	61.8%	その他	596,518	72.1%
総計	789,547	100.0%	総計	827,033	100.0%
九州			九州		
原油及び粗油	26,476	37.0%	原油及び粗油	12,801	21.8%
石炭	5,251	7.3%	石炭	4,865	8.3%
石油ガス類	4,497	6.3%	石油ガス類	3,668	6.2%
非鉄金属鉱	3,255	4.5%	非鉄金属鉱	3,145	5.3%
鉄鉱石	2,529	3.5%	半導体等電子部品	2,731	4.6%
その他	29,639	41.4%	その他	31,644	53.8%
総計	71,647	100.0%	総計	58,854	100.0%

図表 1-1-5～6 備考：輸出入品目は小分類ベース。

図表 1-1-5～6 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-1-7 九州の品目別貿易収支額（2017-2018年）



図表 1-1-8 九州の主な相手国・地域別貿易収支額（2018年）

（単位：億円）

相手国・地域	輸出超過額	相手国・地域	輸入超過額
韓国	5,421	オーストラリア	▲ 5,417
中国	5,197	サウジアラビア	▲ 4,202
米国	4,928	インドネシア	▲ 1,814
香港	4,152	クウェート	▲ 1,387
シンガポール	1,813	ロシア	▲ 1,114
九州の貿易収支額(2018年) 1兆652億円			

図表 1-1-8 備考：九州の貿易収支額上位 5ヶ国と下位 5ヶ国を記載。

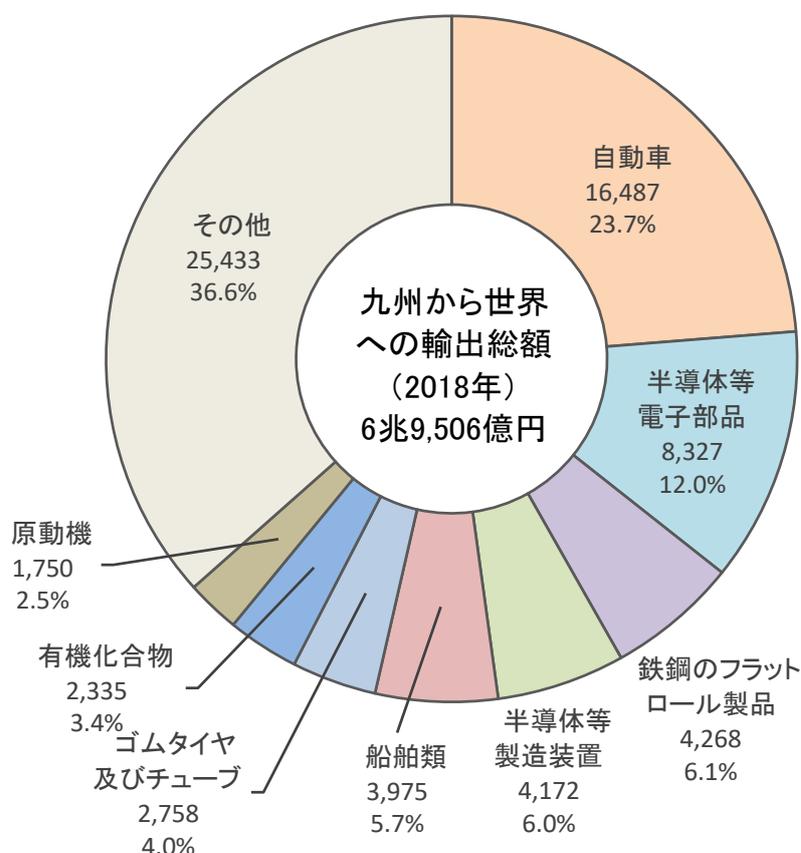
図表 1-1-7～8 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 九州から世界への輸出動向

- 輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等製造装置、船舶類 → この上位5品目で輸出額全体の5割超。
 〈寄与度↑〉映像機器（+0.6%）、二輪自動車類（+0.4%）
 〈寄与度↓〉船舶類（▲1.2%）、自動車（▲0.8%）
- 輸出相手国・地域（輸出額多い順）中国、米国、韓国、香港、台湾
 → アジアの国・地域が占める割合は61.3%で過去最高。
 2000年と比べると中国を始めとするアジアの割合が増加し、北米の割合が減少。

図表 1-2-1 九州から世界への輸出品目（2018年）

（単位：億円、%）



寄与度（増加分）：映像機器（+0.6%）、二輪自動車類（+0.4%）等

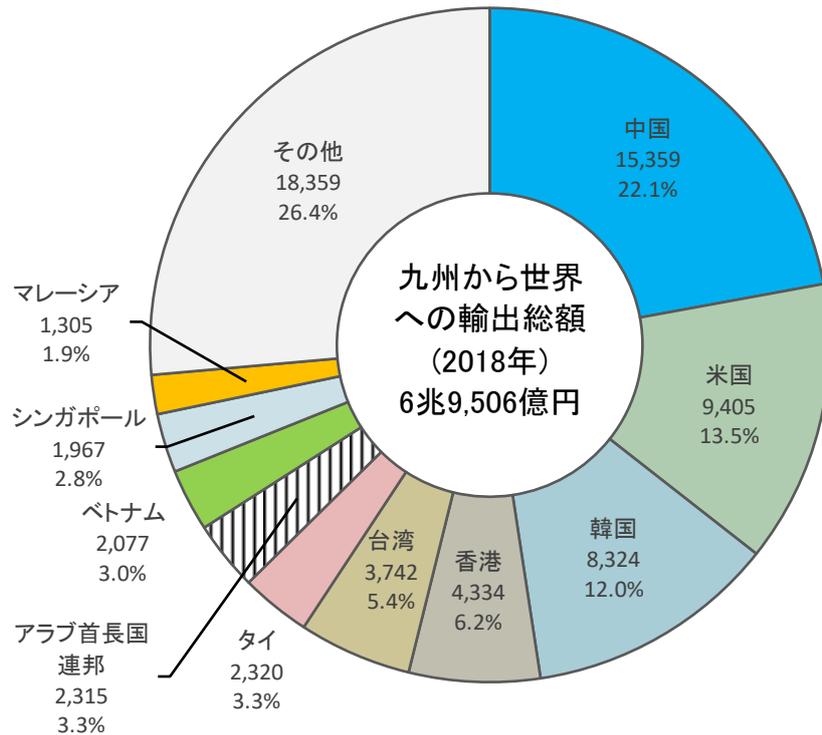
寄与度（減少分）：船舶類（▲1.2%）、自動車（▲0.8%）等

（注）寄与度は、増加分・減少分ともに上位2品目を掲載。（以下同じ）

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-2-2 九州の輸出相手国・地域（2018年）

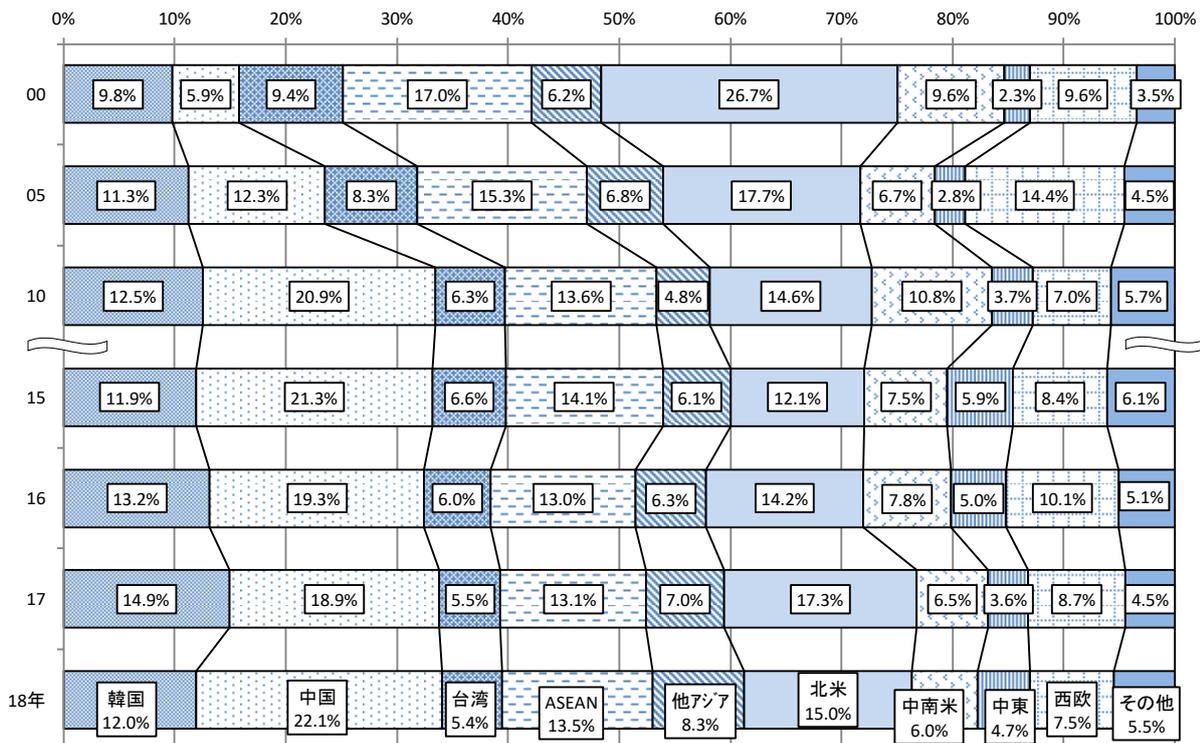
（単位：億円、％）



寄与度（増加分）：中国（+3.5%）、アラブ首長国連邦（+1.0%）等

寄与度（減少分）：韓国（▲2.8%）、米国（▲2.6%）等

図表 1-2-3 九州の輸出相手国・地域の推移



図表 1-2-2～3 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 1-2-4 九州の全国比が高い輸出品目（2018年）

（単位：億円、％）

順位	輸出品目(小分類)	輸出額 (九州)	輸出額 (全国)	全国比
1	軌条及びその他の鉄道線路建設材	314	373	84.1%
2	木材	133	216	61.6%
3	ゴムタイヤ及びチューブ	2,758	5,737	48.1%
4	セメント	152	361	42.2%
5	メラミン樹脂	12	34	33.7%
6	貯蔵用及び輸送用の金属製容器	50	152	32.7%
7	映像機器	1,381	4,659	29.6%
8	二輪自動車類	1,176	3,990	29.5%
9	船舶類	3,975	13,927	28.5%
10	(コークス)	129	488	26.5%
11	半導体等電子部品	8,327	41,502	20.1%
12	織物用糸	246	1,237	19.9%
13	鉄鋼のフラットロール製品	4,268	21,535	19.8%
14	魚介類	325	1,762	18.4%
15	銅及び同合金	1,280	8,241	15.5%
16	半導体等製造装置	4,172	27,286	15.3%
17	チタン及び同合金	88	651	13.5%
18	構造物及び同建設材	51	382	13.5%
19	自動車	16,487	123,072	13.4%
20	(鉄鋼くず)	442	3,441	12.9%
21	有機化合物	2,335	20,513	11.4%
22	電気用炭素及び黒鉛製品	116	1,042	11.2%
23	事務用機器	1,575	14,827	10.6%
24	有機合成染料及びレーキ顔料	56	548	10.2%

備考：品目は2018年の九州の輸出額が10億円以上で、全国比が10.0%以上のものを掲載。

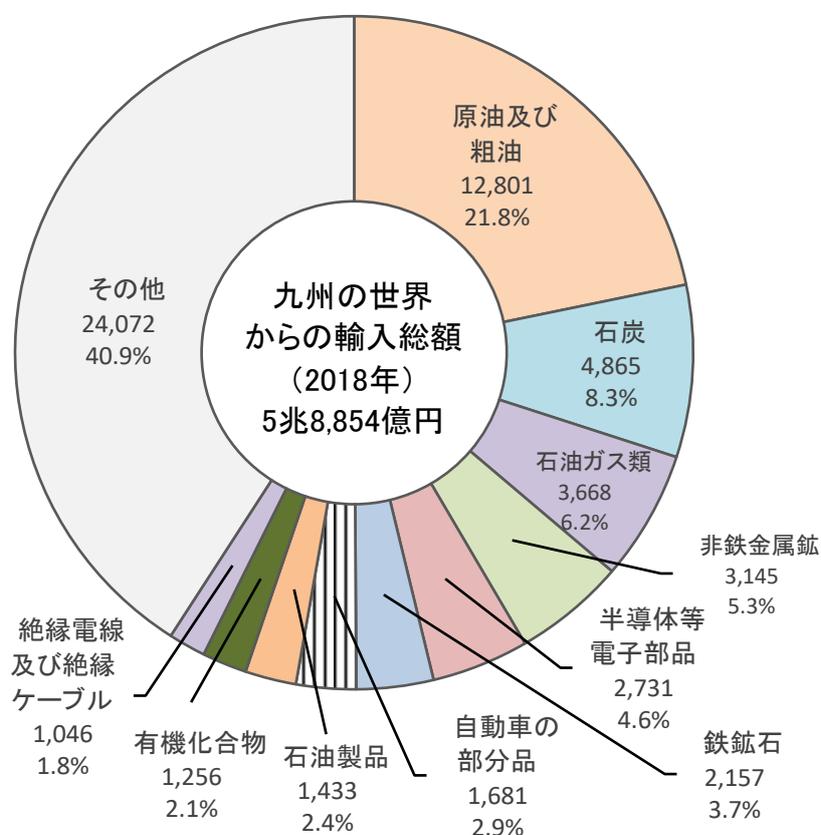
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

3. 九州の世界からの輸入動向

- 輸入品目（輸入額多い順）原油及び粗油、石炭、石油ガス類、非鉄金属鉱
 - 鉱物性燃料と原材料が上位を占め、輸入額全体の4割超。
 - 〈寄与度↑〉原油及び粗油（+5.5%）、非鉄金属鉱（+1.5%）
 - 〈寄与度↓〉原動機（▲0.2%）、半導体等電子部品（▲0.2%）
- 輸入相手国・地域（輸入額多い順）中国、オーストラリア、サウジアラビア、米国
 - アジアの国・地域が占める割合は42.9%で前年より減少。
 - 2000年と比べると中国や台湾の割合が増加し、中東や韓国の割合が減少。

図表 1-3-1 九州の世界からの輸入品目（2018年）

（単位：億円、%）

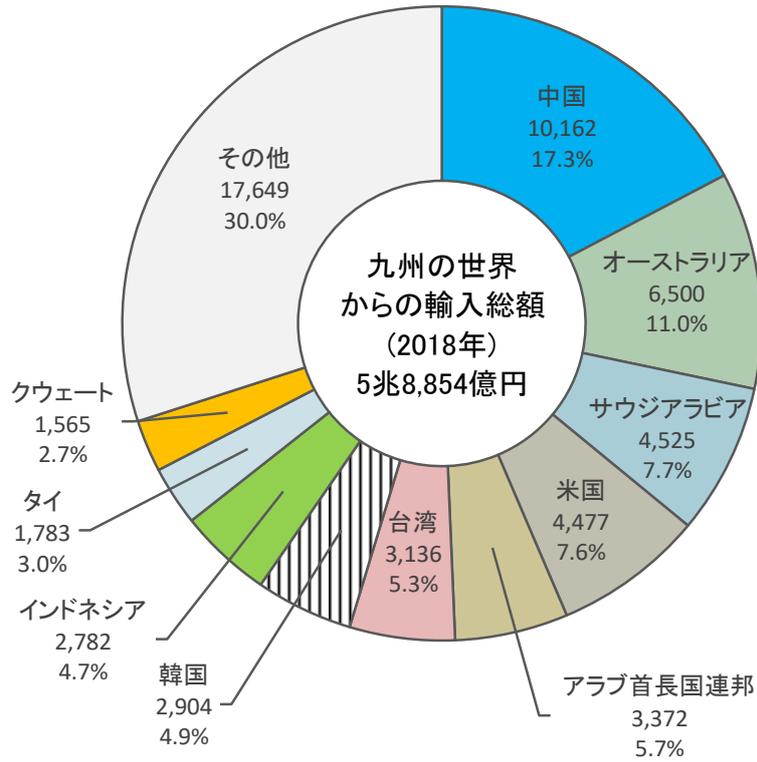


寄与度（増加分）：原油及び粗油（+5.5%）、非鉄金属鉱（+1.5%）等
 寄与度（減少分）：原動機（▲0.2%）、半導体等電子部品（▲0.2%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 1-3-2 九州の輸入相手国・地域（2018年）

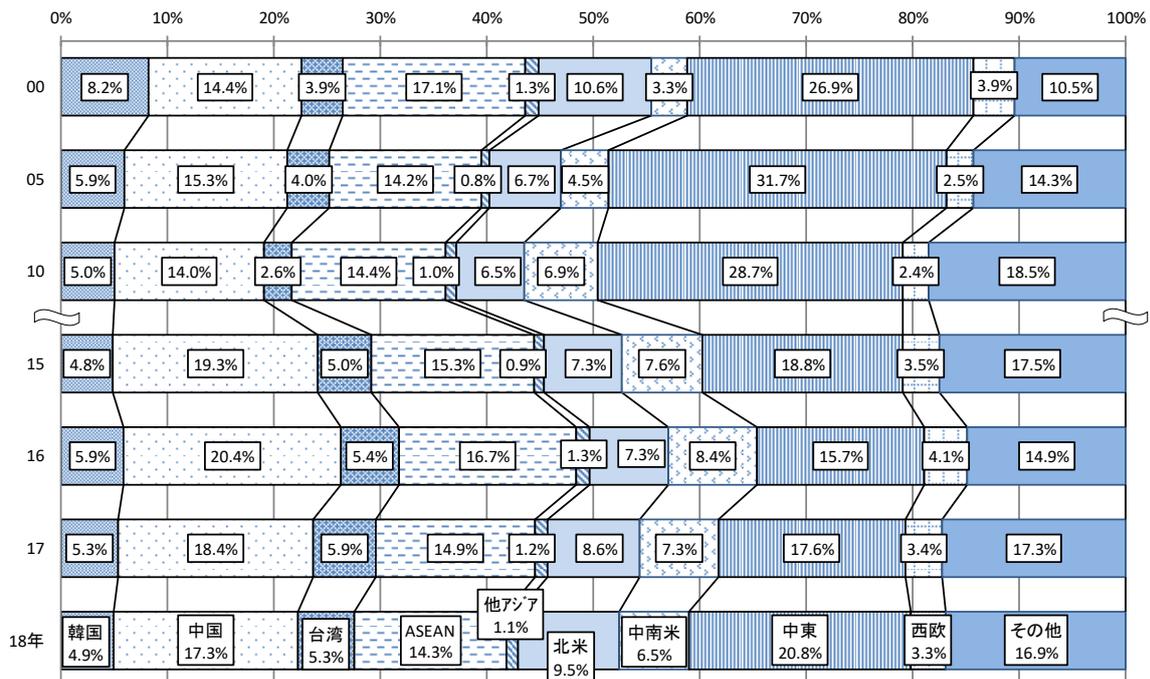
（単位：億円、％）



寄与度（増加分）：米国（+2.2%）、サウジアラビア（+1.9%）等

寄与度（減少分）：パナマ（▲0.4%）、ロシア（▲0.3%）等

図表 1-3-3 九州の輸入相手国・地域の推移



図表 1-3-2～3 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 1-3-4 九州の全国比が高い輸入品目（2018年）

（単位：億円、％）

順位	輸入品目(小分類)	輸入額 (九州)	輸入額 (全国)	全国比
1	魚介類の粉、ミール及びペレット	204	318	64.2%
2	こうりゃん(飼料用)	42	83	50.9%
3	天然ゴム	507	1,212	41.8%
4	植物性油かす	421	1,009	41.7%
5	大麦及びはだか麦	147	385	38.2%
6	あわ・きび及びひえ	1	5	24.6%
7	米	126	543	23.2%
8	とうもろこし	857	3,722	23.0%
9	鉄鉱石	2,157	10,296	20.9%
10	非鉄金属鉱	3,145	15,628	20.1%
11	ふすま	3	17	19.0%
12	馬	37	201	18.5%
13	綿花	32	177	17.8%
14	合成ゴム	81	464	17.4%
15	石炭	4,865	28,121	17.3%
16	自動車の部分品	1,681	9,861	17.0%
17	非鉄卑金属くず	334	1,985	16.8%
18	銅及び同合金	271	1,693	16.0%
19	合金鉄	547	3,460	15.8%
20	原油及び粗油	12,801	89,063	14.4%
21	すず及び同合金	82	628	13.0%
22	絶縁電線及び絶縁ケーブル	1,046	8,183	12.8%
23	ベンゼン(粗製のもの)	1	10	11.7%
24	麦芽	34	306	11.2%
25	小麦及びメスリン	199	1,811	11.0%
26	りん鉱石	5	47	10.7%
27	鉄鋼のフラットロール製品	396	3,705	10.7%
28	亜鉛及び同合金	13	119	10.6%
29	ポリスチレン	8	73	10.5%
30	砂糖	49	472	10.5%

備考：品目は2018年の九州の輸入額が10億円以上で、全国比が10.0%以上のものを掲載。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第2章 九州と各国・地域の貿易

1. 九州と韓国の貿易

1-1. 韓国の経済概況

国名	大韓民国
面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,127万人(出典:2016年、韓国統計庁)
首都	ソウル
人種	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

出所：外務省HP「国・地域」（基礎データ“一般事情”）より九州経済産業局作成。

図表 2-1-1 韓国のマクロ経済

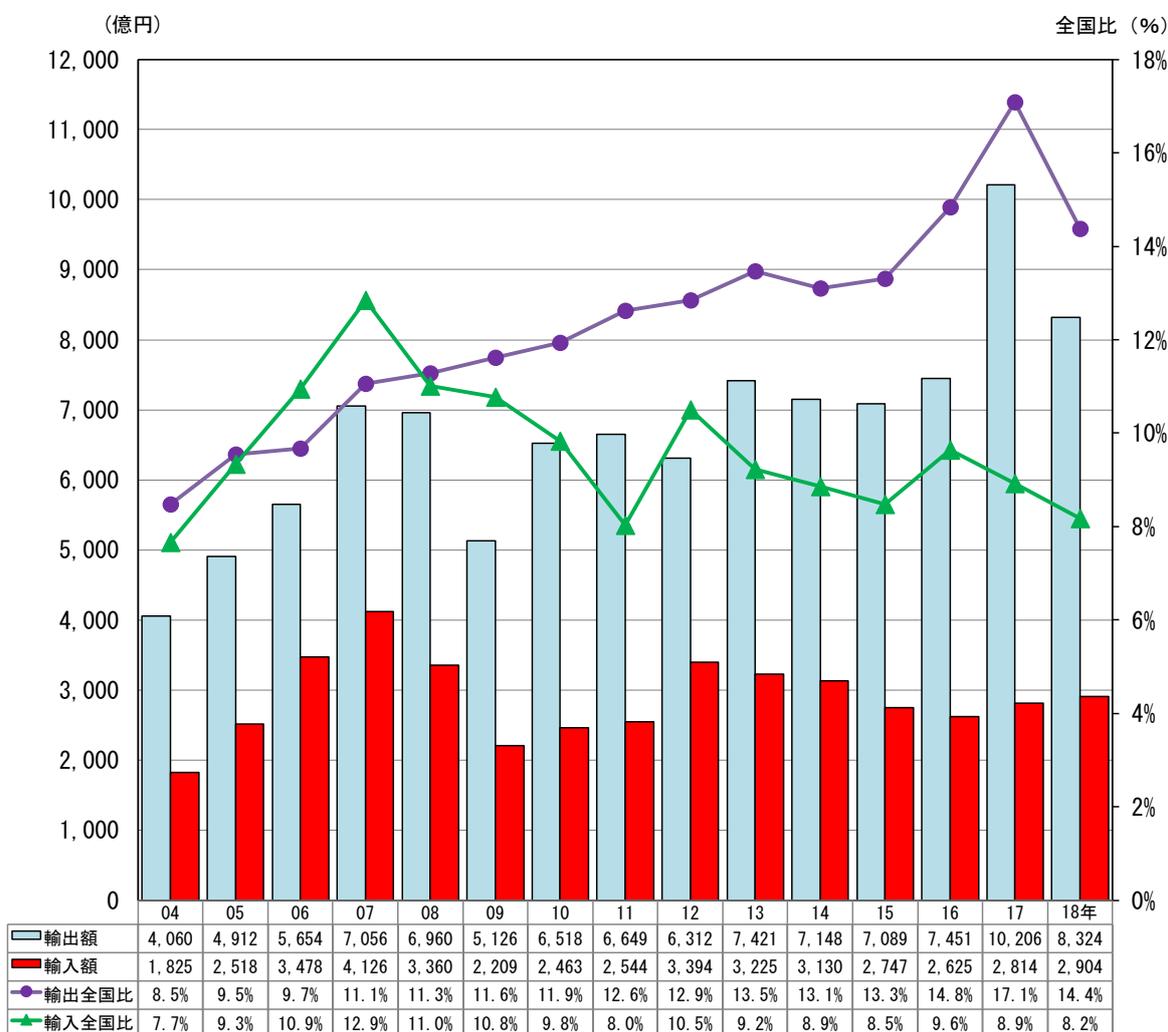
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.3	2.8	2.9	3.1	2.7
名目GDP総額	10億ドル	1,411	1,383	1,415	1,540	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	27,811	27,105	27,608	29,938	-
輸出額	億ドル	5,727	5,268	4,954	5,737	6,049
	前年比(%)	2.3	▲ 8.0	▲ 5.9	15.8	5.4
輸入額	億ドル	5,255	4,365	4,062	4,785	5,352
	前年比(%)	1.9	▲ 16.9	▲ 6.9	17.8	11.9
貿易収支	億ドル	472	903	892	952	697
対日貿易収支	億ドル	▲ 216	▲ 203	▲ 231	▲ 283	▲ 241
鉱工業生産指数	前年比(%)	0.2	▲ 0.3	2.2	2.5	1.3
失業率	(%)	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	1.3	0.7	1.0	1.9	1.5
直接投資受入額	億ドル	190	209	213	229	269*
為替レート(1ドル)	ウォン	1,052.96	1,131.16	1,160.43	1,130.43	1,100.56
為替レート(1ウォン)	円	0.10	0.10	0.09	0.10	0.10

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成31年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成。

1-2. 九州と韓国の貿易動向

- 2018年の九州の対韓国貿易額
 輸出総額：8,324億円（前年比18.4%減） → 3年ぶりのマイナス
 輸入総額：2,904億円（前年比3.2%増） → 2年連続のプラス
 差引額：5,420億円（前年比▲26.7%）
- 輸出品目（輸出額多い順）半導体等製造装置、半導体等電子部品、自動車
 〈寄与度↑〉自動車（+1.1%）、鉄鋼くず（+0.6%）
 〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲12.3%）、半導体等電子部品（▲6.3%）
- 輸入品目（輸入額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、有機化合物
 〈寄与度↑〉石油製品（+6.8%）、有機化合物（+4.7%）
 〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲1.7%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（▲1.6%）

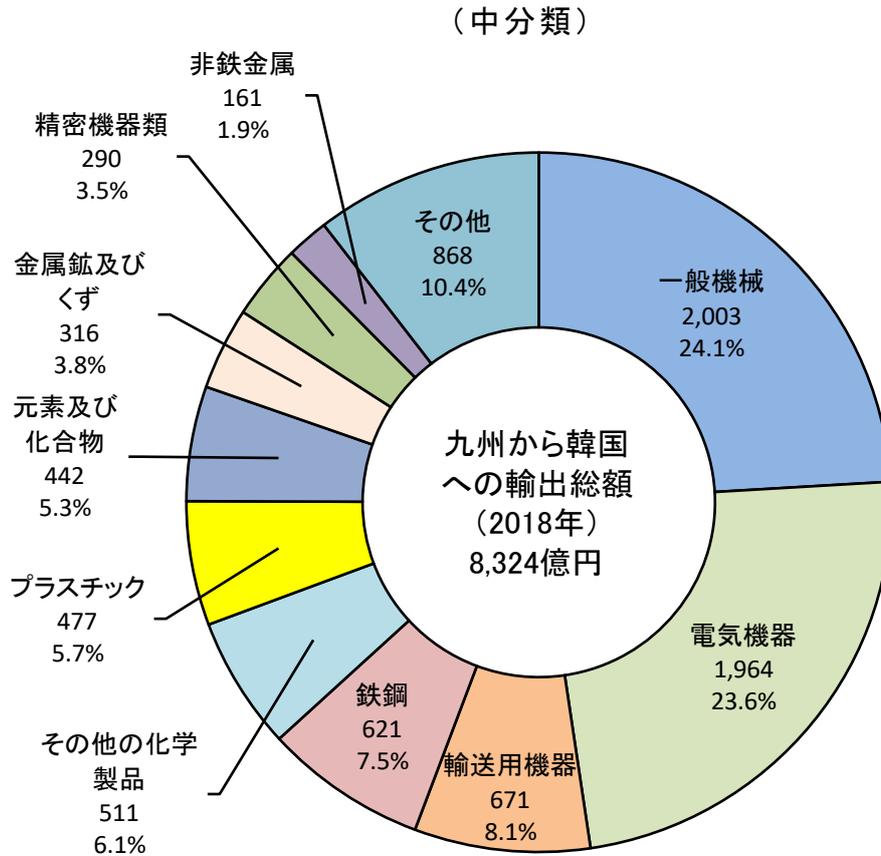
図表 2-1-2 九州の対韓国貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-1-3 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等製造装置	一般機械	1,611	19.4%	▲43.8%	25.6%
半導体等電子部品	電気機器	1,543	18.5%	▲29.6%	60.2%
自動車	輸送用機器	619	7.4%	22.5%	79.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	560	6.7%	▲11.8%	21.5%
有機化合物	元素及び化合物	343	4.1%	▲26.6%	11.3%
科学光学機器	精密機器類	289	3.5%	▲10.9%	11.6%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	281	3.4%	30.0%	16.7%
電池	電気機器	95	1.1%	33.6%	50.7%
無機化合物	元素及び化合物	92	1.1%	57.8%	7.6%
映像機器	電気機器	73	0.9%	▲9.4%	46.3%
その他		2,817	33.8%	-	-
総 額		8,324	100%	▲18.4%	14.4%

寄与度 (増加分)：自動車 (+1.1%)、鉄鋼くず (+0.6%) 等

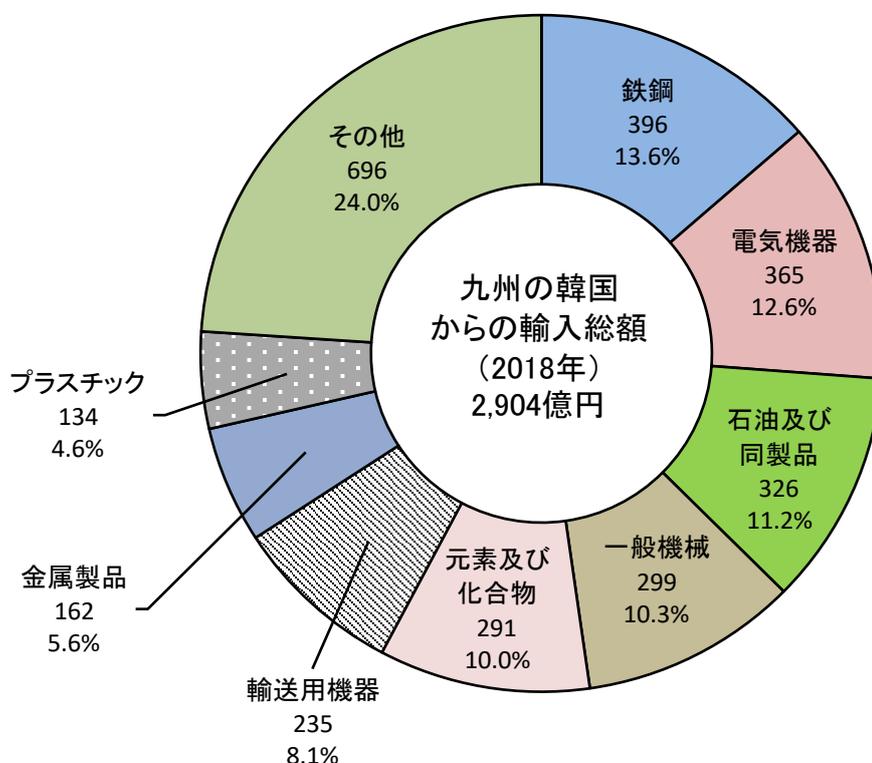
寄与度 (減少分)：半導体等製造装置 (▲12.3%)、半導体等電子部品 (▲6.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-4 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	345	11.9%	▲12.2%	14.5%
石油製品	石油及び同製品	326	11.2%	142.8%	6.0%
有機化合物	元素及び化合物	250	8.6%	111.9%	14.2%
自動車の部分品	輸送用機器	227	7.8%	▲10.7%	28.9%
半導体等電子部品	電気機器	93	3.2%	▲23.2%	3.8%
鉄鋼製構造物及び同建設材	金属製品	83	2.9%	▲34.9%	21.2%
半導体等製造装置	一般機械	59	2.0%	▲31.0%	10.3%
電気回路等の機器	電気機器	56	1.9%	12.5%	23.5%
野菜	果実及び野菜	53	1.8%	▲17.6%	16.8%
原動機	一般機械	51	1.8%	▲33.7%	12.1%
その他		1,360	46.8%	-	-
総額		2,904	100%	3.2%	8.2%

寄与度 (増加分) : 石油製品 (+6.8%)、有機化合物 (+4.7%) 等

寄与度 (減少分) : 鉄鋼のフラットロール製品 (▲1.7%)、鉄鋼製構造物及び同建設材 (▲1.6%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 九州と中国の貿易

2-1. 中国の経済概況

国名	中華人民共和国
面積	約960万km ² (日本の約26倍)
人口	約13.76億人
首都	北京
人種	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言語	漢語(中国語)
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの8.6%)、第二次産業(同39.8%)、第三次産業(同51.6%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.3	6.9	6.7	6.8	6.6
名目GDP総額	10億ドル	10,535	11,226	11,222	12,015	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	7,702	8,167	8,116	8,643	-
輸出額	億ドル	23,423	22,735	20,976	22,633	24,870
	前年比(%)	6.0	▲ 2.9	▲ 7.7	7.9	9.9
輸入額	億ドル	19,592	16,796	15,879	18,438	21,359
	前年比(%)	0.5	▲ 14.3	▲ 5.5	16.1	15.8
貿易収支	億ドル	3,831	5,939	5,097	4,196	3,511
対日貿易収支	億ドル	▲ 135	▲ 72	▲ 159	▲ 283	▲ 329
鉱工業生産指数	前年比(%)	8.3	6.1	6.0	6.6	6.2
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.1	4.0	3.9	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	2.0	1.4	2.0	1.6	2.1
直接投資受入額	億ドル	2,681	2,425	1,748	1,661	2,035 *
為替レート(1ドル)	人民元	6.14	6.23	6.65	6.76	6.62
為替レート(1人民元)	円	17.25	19.44	16.37	16.60	16.69

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

2-2. 九州と中国の貿易動向

●2018年の九州の対中国貿易額

輸出総額：1兆5,359億円（前年比18.7%増） → 2年連続のプラス

輸入総額：1兆162億円（前年比4.9%増） → 2年連続のプラス

差引額：5,207億円（前年比+1,955億円）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物

〈寄与度↑〉自動車（+6.9%）、半導体等製造装置（+6.6%）

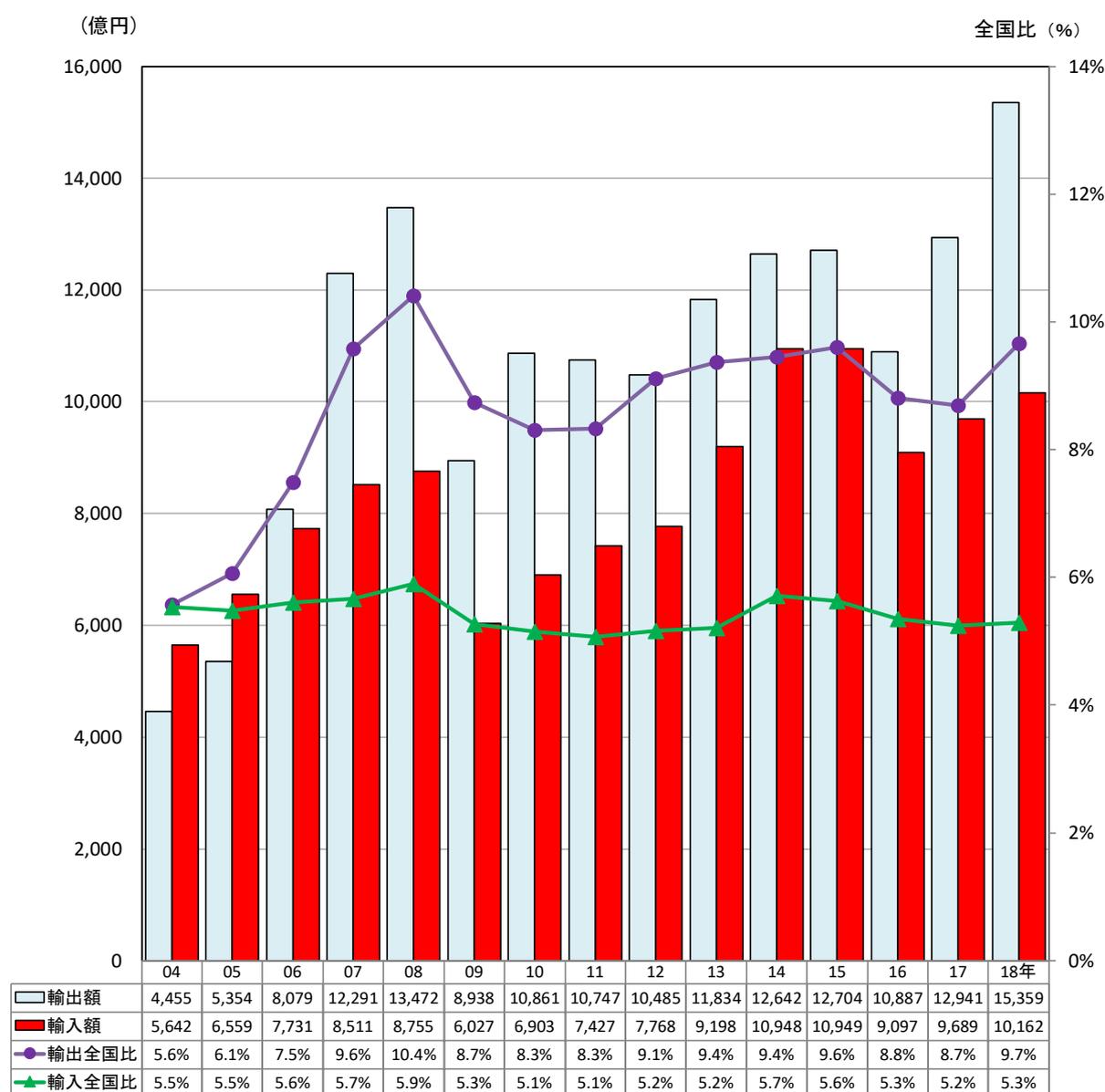
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲1.3%）、抗生物質製剤（▲0.5%）

●輸入品目（輸入額多い順）自動車の部分品、半導体等電子部品、有機化合物

〈寄与度↑〉無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）

〈寄与度↓〉電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）

図表 2-2-2 九州の対中国貿易額の推移

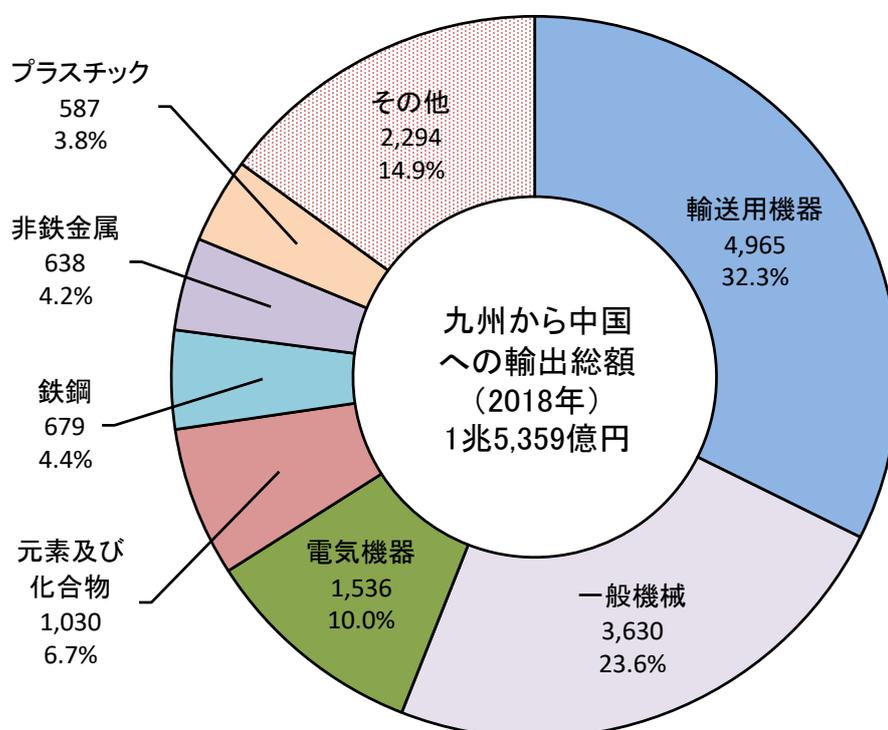


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-2-3 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	4,906	31.9%	22.4%	76.9%
半導体等製造装置	一般機械	2,270	14.8%	59.6%	21.0%
有機化合物	元素及び化合物	954	6.2%	8.4%	12.2%
半導体等電子部品	電気機器	696	4.5%	▲19.5%	6.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	616	4.0%	4.1%	15.6%
銅及び同合金	非鉄金属	587	3.8%	7.5%	23.9%
原動機	一般機械	547	3.6%	13.4%	10.6%
科学光学機器	精密機器類	216	1.4%	18.6%	2.6%
映像機器	電気機器	206	1.3%	96.1%	18.0%
電気回路等の機器	電気機器	169	1.1%	▲26.2%	2.8%
その他		4,191	27.3%	-	-
総 額		15,359	100%	18.7%	9.7%

寄与度 (増加分) : 自動車 (+6.9%)、半導体等製造装置 (+6.6%) 等

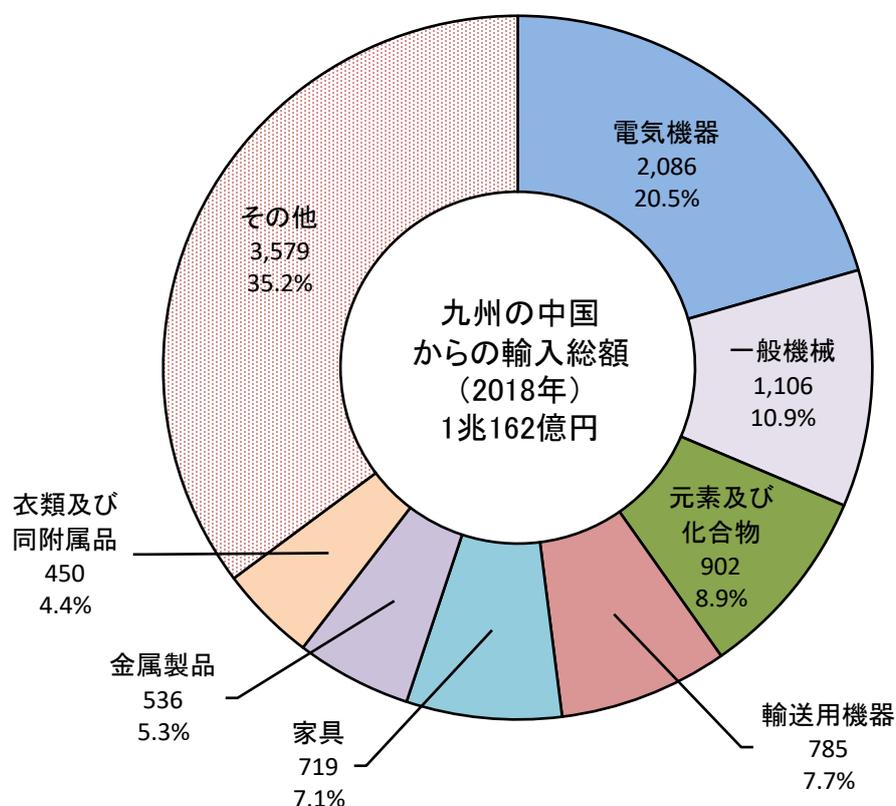
寄与度 (減少分) : 半導体等電子部品 (▲1.3%)、抗生物質製剤 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-4 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車の部分品	輸送用機器	627	6.2%	▲8.4%	17.8%
半導体等電子部品	電気機器	551	5.4%	0.8%	11.0%
有機化合物	元素及び化合物	452	4.4%	▲2.1%	11.6%
無機化合物	元素及び化合物	435	4.3%	71.6%	13.8%
電気回路等の機器	電気機器	280	2.8%	▲24.6%	10.0%
野菜	果実及び野菜	253	2.5%	5.1%	9.3%
家庭用電気機器	電気機器	245	2.4%	16.7%	5.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	243	2.4%	▲6.9%	2.6%
加熱用・冷却用機器	一般機械	219	2.2%	20.2%	7.5%
プラスチック製品	その他の雑製品	208	2.0%	3.4%	5.4%
その他		6,649	65.4%	-	-
総 額		10,162	100%	4.9%	5.3%

寄与度 (増加分)：無機化合物 (+1.9%)、石油製品 (+0.7%) 等

寄与度 (減少分)：電気回路等の機器 (▲0.9%)、自動車の部分品 (▲0.6%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

3. 九州と台湾の貿易

3-1. 台湾の経済概況

国・地域名	台湾
面積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人口	約2,359万人(2018年12月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言語	中国語、台湾語、客家語等
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-3-1 台湾のマクロ経済

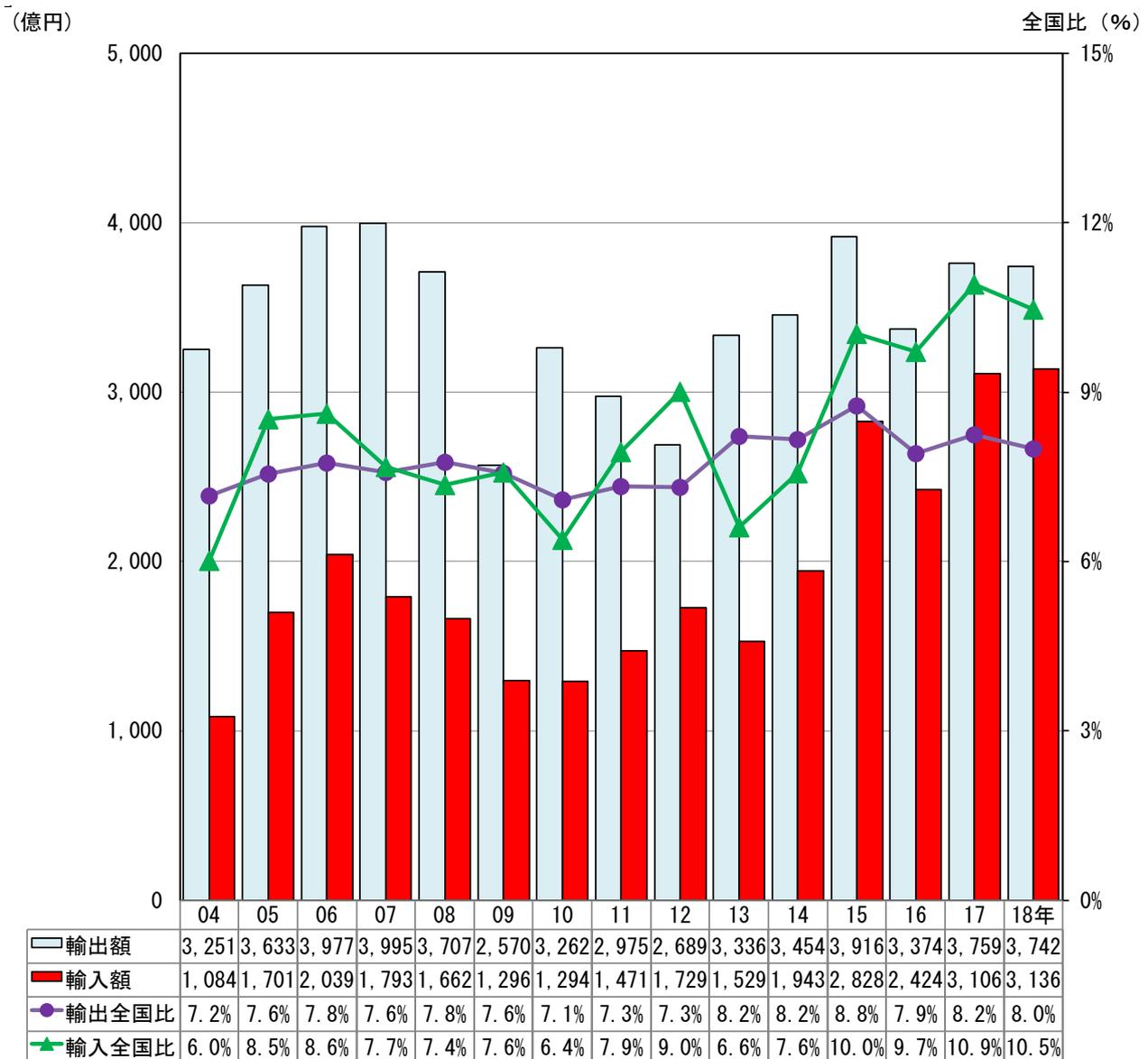
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.0	0.8	1.5	3.1	2.6
名目GDP総額	10億ドル	531	526	531	573	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	22,639	22,374	22,541	24,292	-
輸出額	億ドル	3,201	2,853	2,803	3,172	3,359
	前年比(%)	2.8	▲ 10.9	▲ 1.8	13.2	5.9
輸入額	億ドル	2,819	2,372	2,306	2,593	2,863
	前年比(%)	1.4	▲ 15.8	▲ 2.8	12.4	10.4
貿易収支	億ドル	382	481	498	580	496
対日貿易収支	億ドル	▲ 218	▲ 193	▲ 211	▲ 212	▲ 211
鉱工業生産指数	前年比(%)	6.4	▲ 1.3	2.0	5.0	3.6
失業率	(%)	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	1.2	▲ 0.3	1.4	0.6	1.3
直接投資受入額	億ドル	28	24	93	33	70*
為替レート(1ドル)	台湾元	30.37	31.91	32.33	30.44	30.16
為替レート(1台湾元)	円	3.49	3.79	3.37	3.68	3.66

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

3-2. 九州と台湾の貿易動向

- 2018年の九州の対台湾貿易額
 輸出総額：3,742億円（前年比0.4%減） → 2年ぶりのマイナス
 輸入総額：3,136億円（前年比1.0%増） → 2年連続のプラス
 差引額：606億円（前年比7.1%減）
- 輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、有機化合物
 〈寄与度↑〉自動車（+3.2%）、銅及び同合金（+1.0%）
 〈寄与度↓〉原動機（▲4.0%）、ポンプ及び遠心分離機（▲1.3%）
- 輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物
 〈寄与度↑〉有機化合物（+1.7%）、非鉄卑金属くず（+0.5%）
 〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲3.1%）、科学光学機器（▲0.8%）

図表 2-3-2 九州の対台湾貿易額の推移

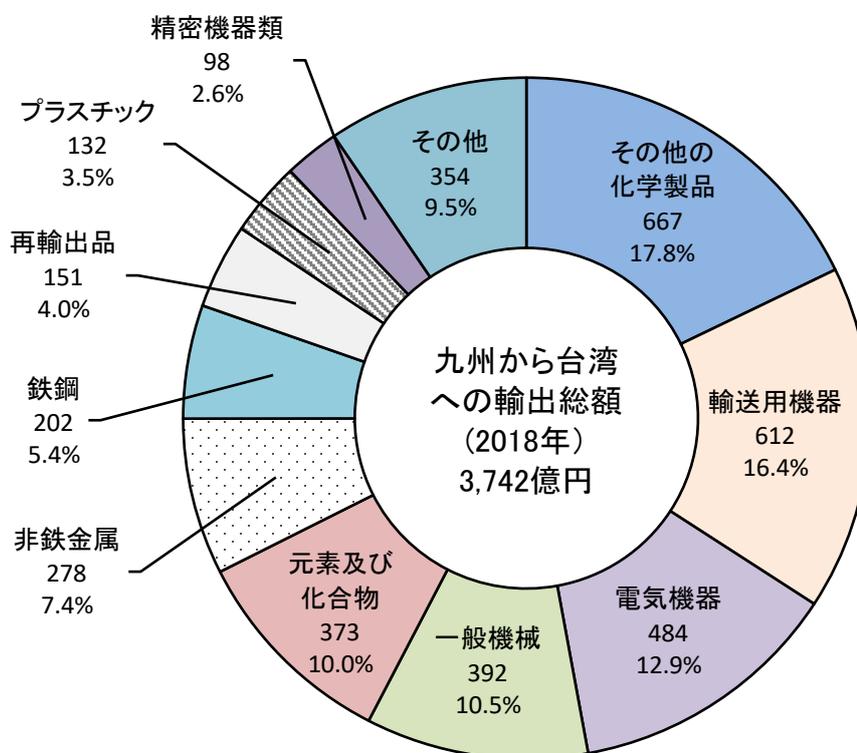


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-3-3 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	589	15.7%	25.4%	22.7%
半導体等電子部品	電気機器	359	9.5%	▲7.5%	5.0%
有機化合物	元素及び化合物	267	7.1%	1.7%	13.3%
銅及び同合金	非鉄金属	228	6.1%	19.6%	14.3%
半導体等製造装置	一般機械	194	5.2%	▲12.0%	4.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	139	3.7%	0.4%	20.4%
科学光学機器	精密機器類	98	2.6%	▲10.4%	7.4%
無機化合物	元素及び化合物	95	2.5%	▲2.0%	14.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	36	1.0%	▲57.0%	7.9%
ベアリング及び同部分品	一般機械	32	0.9%	6.1%	16.4%
その他		1,706	45.4%	-	-
総額		3,742	100.0%	▲0.4%	8.0%

寄与度 (増加分) : 自動車 (+3.2%)、銅及び同合金 (+1.0%) 等

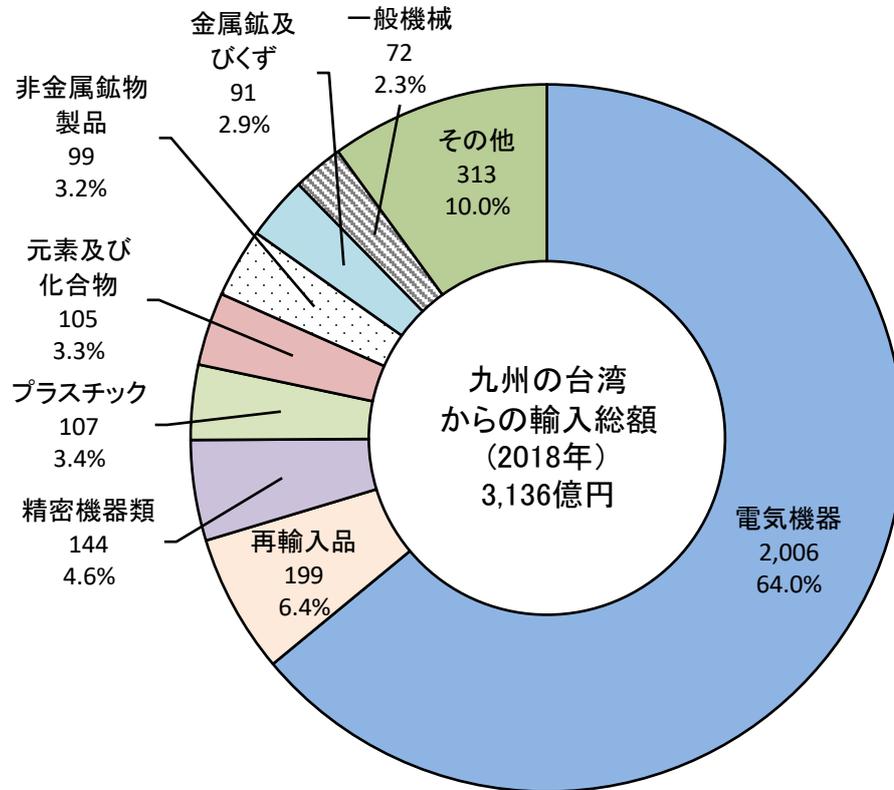
寄与度 (減少分) : 原動機 (▲4.0%)、ポンプ及び遠心分離機 (▲1.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-3-4 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,928	61.5%	▲4.8%	16.5%
科学光学機器	精密機器類	144	4.6%	▲15.5%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	93	3.0%	127.5%	18.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	75	2.4%	26.7%	40.3%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.7%	5.8%	6.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	22	0.7%	▲12.5%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	22	0.7%	7.5%	2.9%
重電機器	電気機器	18	0.6%	2.5%	9.6%
魚介類	魚介類及び同調整品	16	0.5%	54.6%	2.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	14	0.4%	▲17.6%	16.6%
その他		782	24.9%	-	-
総 額		3,136	100%	1.0%	10.5%

寄与度 (増加分) : 有機化合物 (+1.7%)、非鉄卑金属くず (+0.5%) 等

寄与度 (減少分) : 半導体等電子部品 (▲3.1%)、科学光学機器 (▲0.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

4. 九州と香港の貿易

4-1. 香港の経済概況

国・地域名	香港
面積	1,106km ² (東京都の約半分)
人口	約734万人(2016年)
人種	中国系(約91%)
言語	広東語、英語、中国語(マンダリン)ほか
宗教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政体	中華人民共和国香港特別行政区(Hong Kong Special Administrative Region: SAR)
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-4-1 香港のマクロ経済

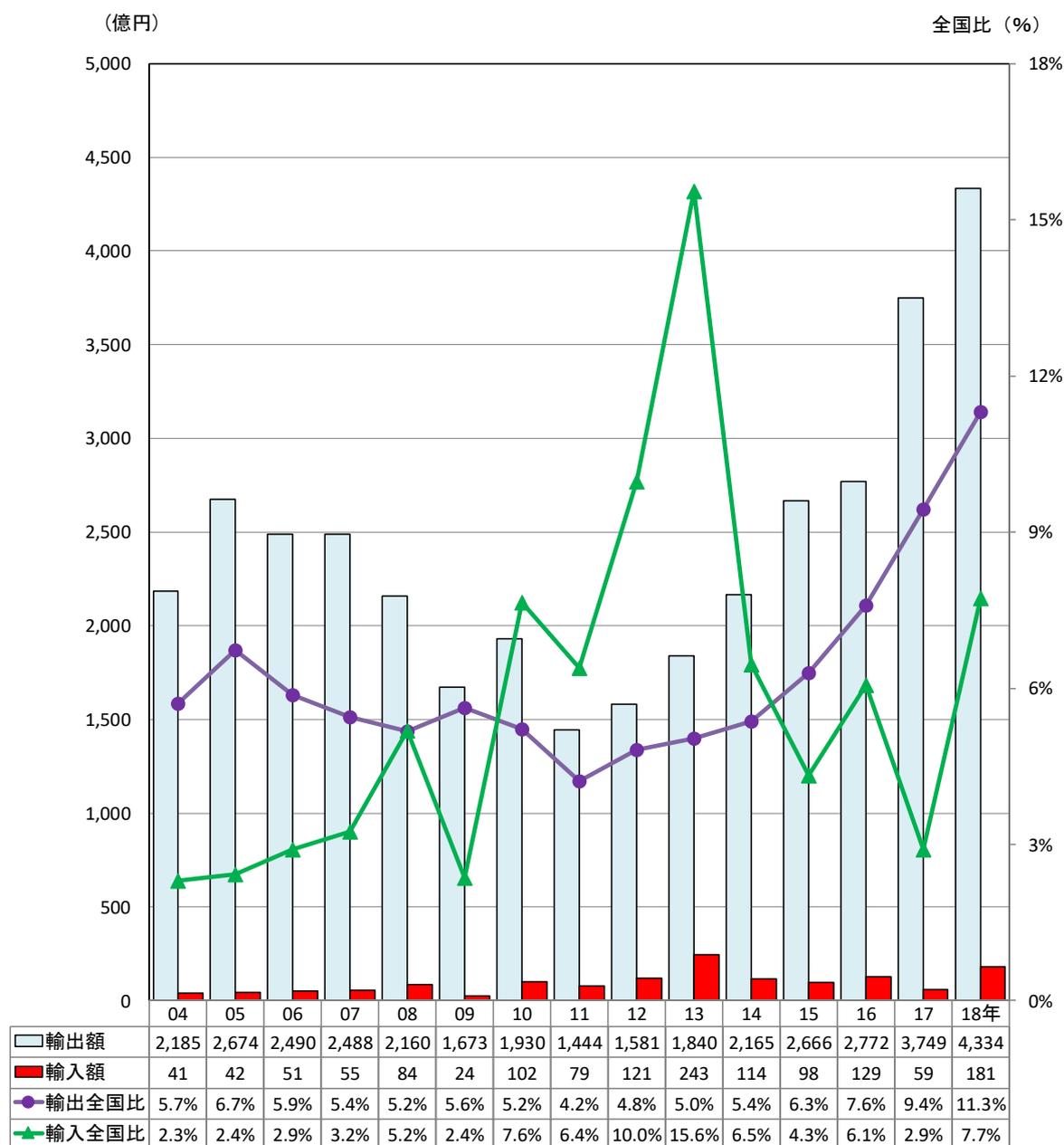
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.8	2.4	2.2	3.8	-
名目GDP総額	10億ドル	291	309	321	341	-
一人当たりGDP(名目)	ドル	40,182	42,322	43,499	46,080	-
輸出額	億ドル	4,740	4,655	4,626	4,976	5,312
	前年比(%)	3.2	▲ 1.8	▲ 0.6	7.6	6.7
輸入額	億ドル	5,449	5,226	5,170	5,595	6,029
	前年比(%)	4.0	▲ 4.1	▲ 1.1	8.2	7.8
貿易収支	億ドル	▲ 709	▲ 571	▲ 544	▲ 619	▲ 717
対日貿易収支	億ドル	▲ 203	▲ 202	▲ 185	▲ 192	-*
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 0.4	0.5	1.3
失業率	(%)	3.3	3.3	3.4	3.1	2.8
消費者物価指数	前年比(%)	4.4	3.0	2.4	1.5	2.4
直接投資受入額	億ドル	1,298	1,810	1,333	1,224	-*
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.75	7.75	7.76	7.79	7.84
為替レート(1香港ドル)	円	13.66	15.62	14.02	14.39	14.09

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*1はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

4-2. 九州と香港の貿易動向

- 2018年の九州の対香港貿易額
 輸出総額：4,334億円（前年比15.6%増） → 7年連続のプラス
 輸入総額：181億円（前年比205.2%増） → 2年ぶりのプラス
 差引額：4,152億円（前年比+12.5%）
- 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類
 〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+19.1%）、電気回路等の機器（+1.5%）
 〈寄与度↓〉船舶類（▲7.6%）、化粧品（▲0.3%）
- 輸入品目（輸入額多い順）魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず
 〈寄与度↑〉魚介類（+219.6%）、非鉄卑金属くず（+0.3%）
 〈寄与度↓〉鉄鋼くず（▲9.7%）、通信機（▲0.1%）

図表 2-4-2 九州の対香港貿易額の推移

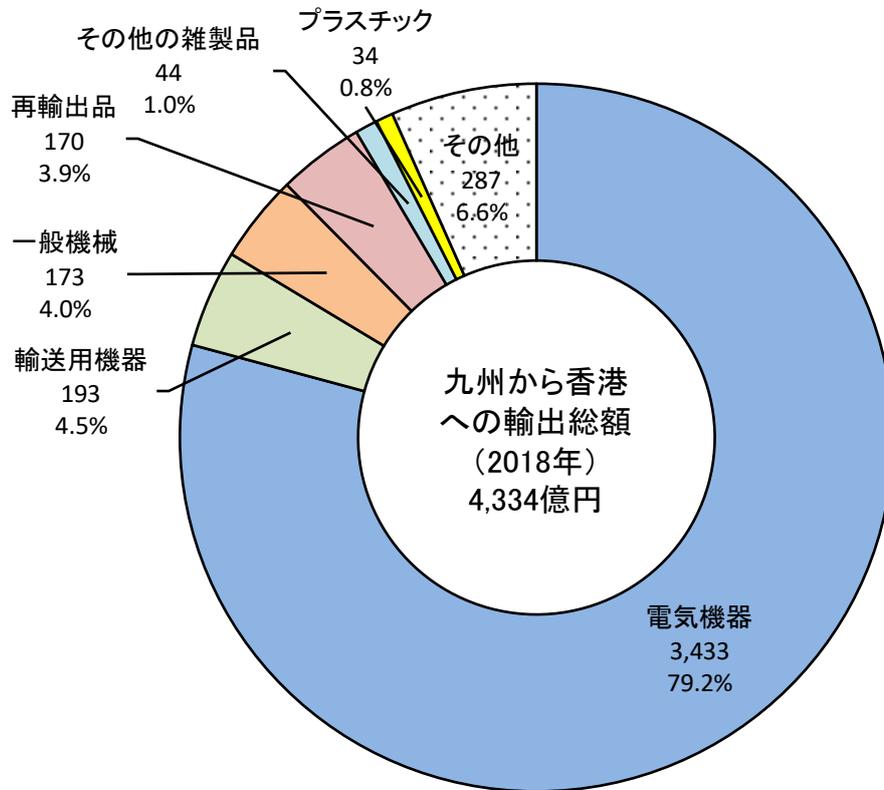


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-4-3 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	3,152	72.7%	29.4%	47.3%
電気回路等の機器	電気機器	187	4.3%	43.3%	8.1%
船舶類	輸送用機器	140	3.2%	▲66.9%	37.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	63	1.5%	▲6.1%	11.2%
自動車	輸送用機器	50	1.2%	45.0%	5.4%
映像機器	電気機器	36	0.8%	61.3%	16.2%
貴石等の製品類	その他の雑製品	27	0.6%	16.8%	2.5%
コンデンサー	電気機器	24	0.6%	4593.5%	1.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	22	0.5%	▲20.5%	40.9%
原動機	一般機械	21	0.5%	27695.4%	13.7%
その他		611	14.1%	-	-
総 額		4,334	100.0%	15.6%	11.3%

寄与度 (増加分) : 半導体等電子部品 (+19.1%)、電気回路等の機器 (+1.5%) 等

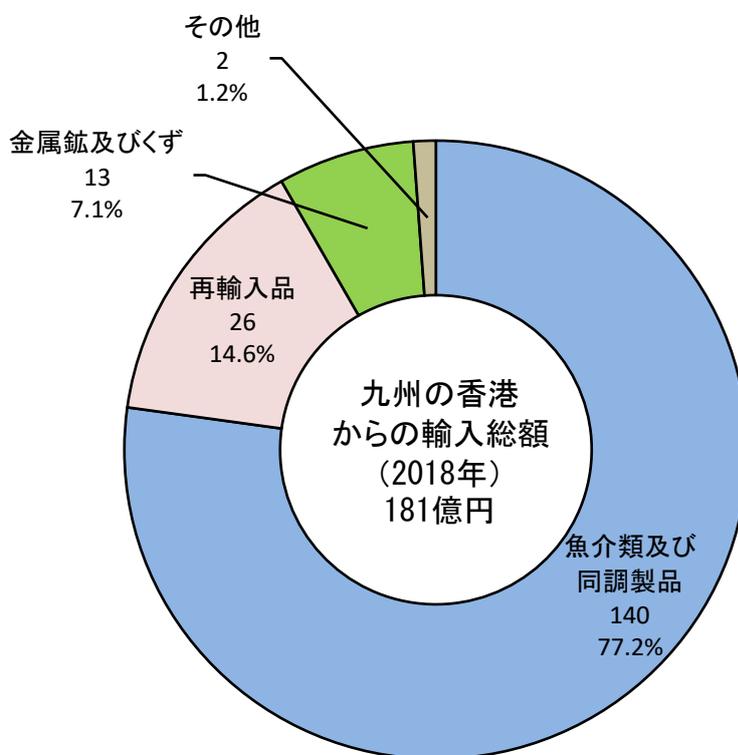
寄与度 (減少分) : 船舶類 (▲7.6%)、化粧品 (▲0.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-4 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
魚介類	魚介類及び同調製品	140	77.2%	1367.8%	66.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	5	3.0%	3.2%	18.1%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	3	1.6%	▲67.1%	41.0%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.6	0.3%	-	84.0%
自動車の部分品	電気機器	0.1	0.1%	-	14.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.1	0.1%	▲6.4%	1.9%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.1	0.0%	61.9%	1.5%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.1	0.0%	88.7%	1.3%
荷役機械	一般機械	0.1	0.0%	-	40.1%
ダイヤモンド	非金属鉱物製品	0.0	0.0%	582.1%	0.0%
その他		32.1	17.7%	-	-
総 額		181	100.0%	205.2%	7.7%

寄与度 (増加分)：魚介類 (+219.6%)、非鉄卑金属くず (+0.3%) 等

寄与度 (減少分)：鉄鋼くず (▲9.7%)、通信機 (▲0.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

5. 九州とASEANの貿易

5-1. ASEANの経済概況

名 称	東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations)
設 立	1967年8月8日(於:バンコク)
事 務 局	ジャカルタ 事務総長:リム・ジョクホイ(2018年~)
加 盟 国	10ヶ国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)

出所：日本 ASEAN センター「ASEAN 情報マップ」

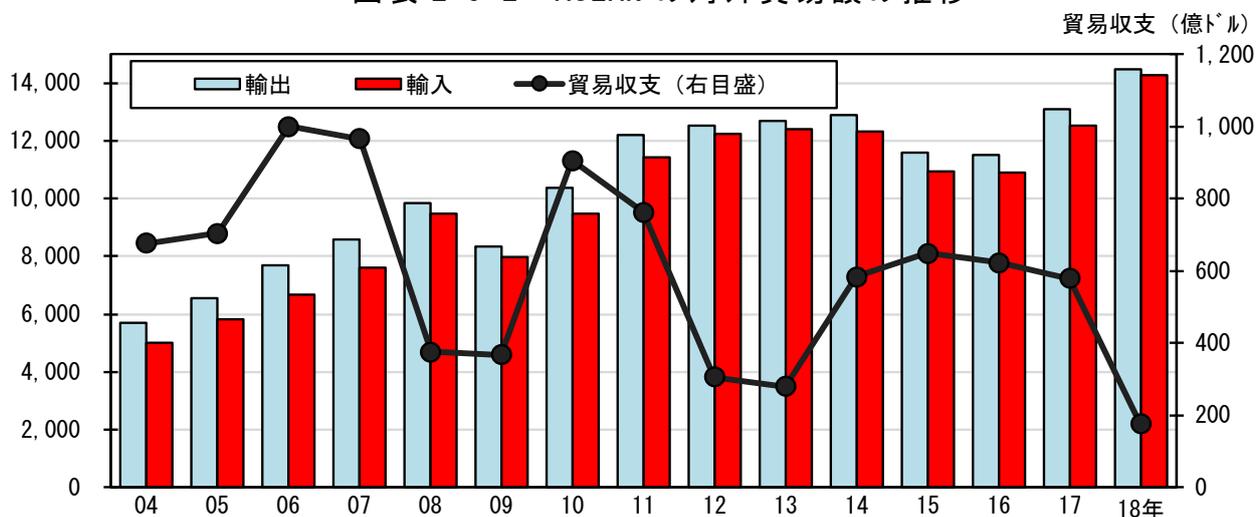
図表 2-5-1 世界の地域経済圏との比較 (2018年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,431	29,502	4,509	28,749
欧州連合 (EU)	28か国	51,193	187,085	36,545	128,785
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,824	235,320	47,230	61,267
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,830	26,897	9,017	6,404

出所：UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考：NAFTA 加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）、MERCOSUR 加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表 2-5-2 ASEANの対外貿易額の推移



出所：ジェトロ「ASEAN10ヶ国貿易統計」、UNCTADstat より九州経済産業局作成。

5-2. 九州とASEANの貿易動向

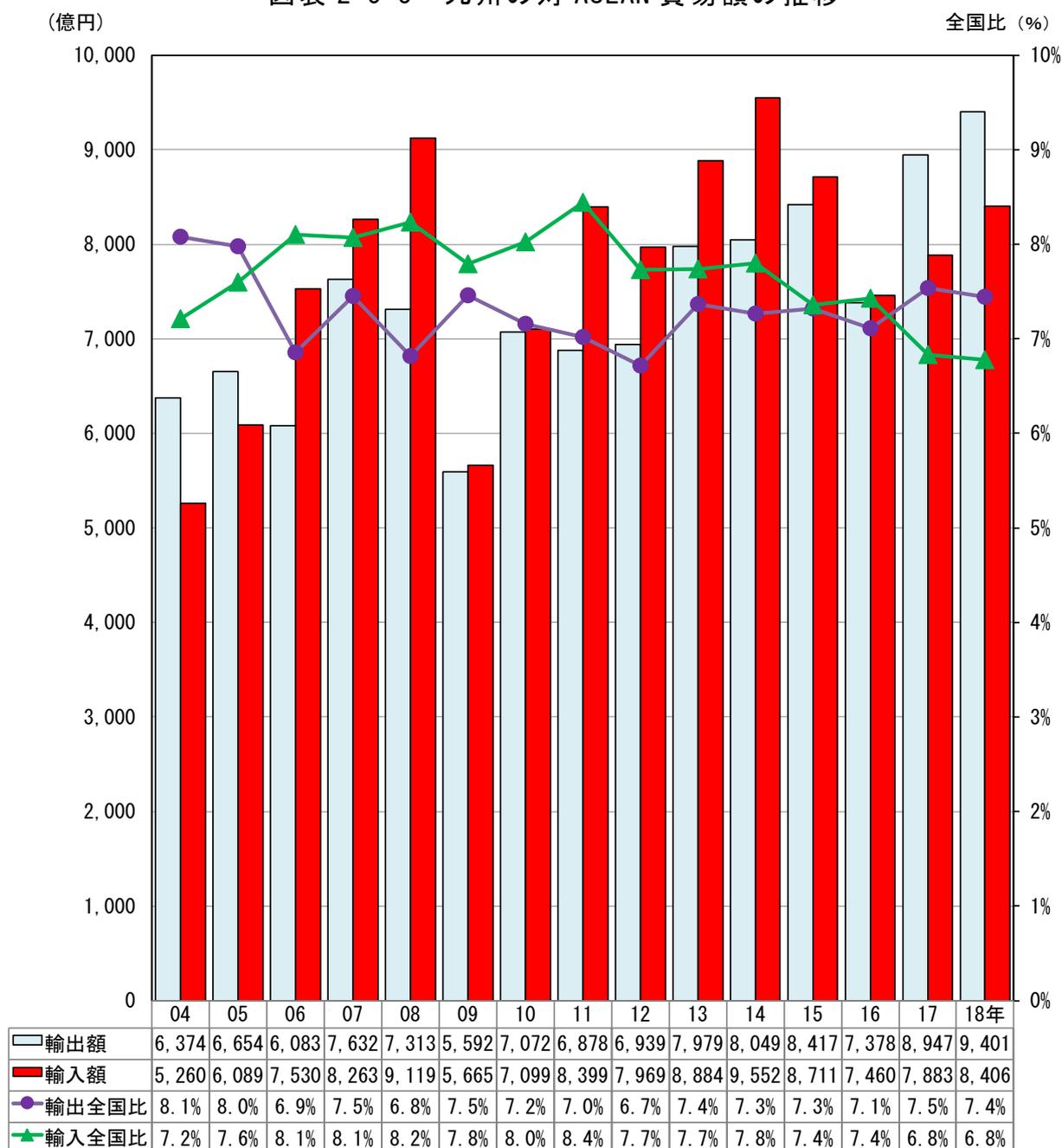
●2018年の九州の対ASEAN貿易額

輸出総額：9,401億円（前年比5.1%増） → 2年連続のプラス
 輸入総額：8,406億円（前年比6.6%増） → 2年連続のプラス
 差引額：995億円（前年比▲69億円） → 2年連続の輸出超過

●輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、金
 〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+2.1%）、半導体等電子部品（+1.7%）
 〈寄与度↓〉船舶類（▲3.5%）、荷役機械（▲0.7%）

●輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、石炭
 〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+5.0%）、石炭（+2.2%）
 〈寄与度↓〉石油ガス類（▲3.2%）、天然ゴム（▲1.4%）

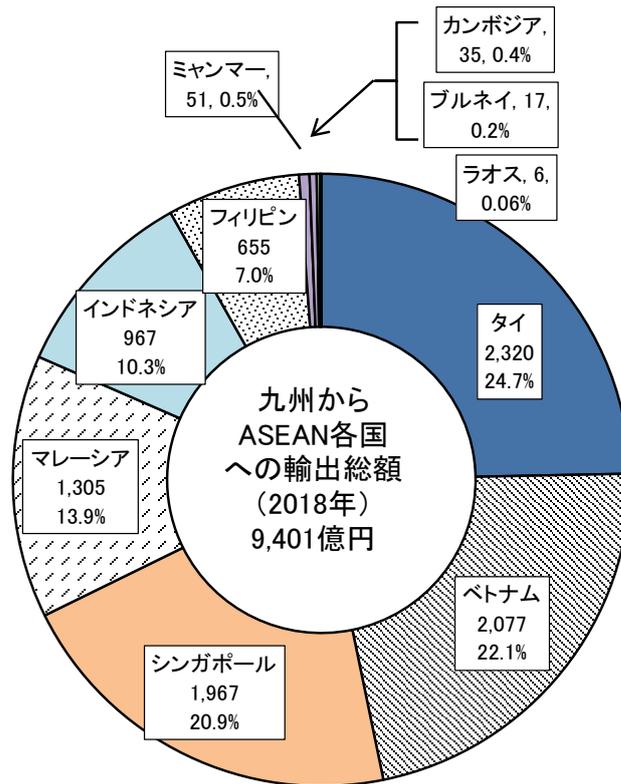
図表 2-5-3 九州の対ASEAN貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成。

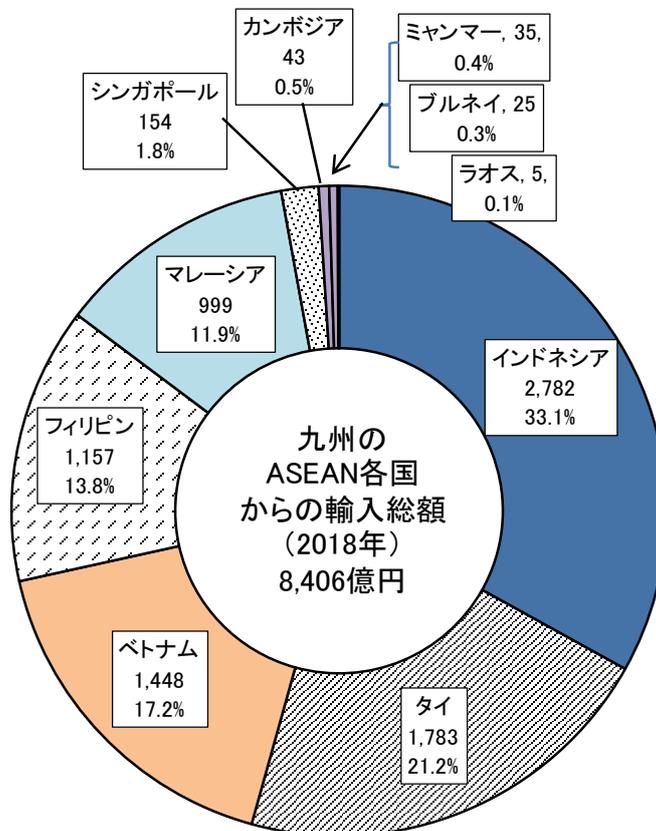
図表 2-5-4 九州から ASEAN への国別輸出額

(単位：億円、%)



図表 2-5-5 九州の ASEAN からの国別輸入額

(単位：億円、%)



図表 2-5-4~5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-6 全国の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2018 年）

（単位：億円、％）

国名	輸出				輸入			
	金額	構成比	伸び率	寄与度	金額	構成比	伸び率	寄与度
ベトナム	18,142	14.4%	7.5%	1.1%	23,352	18.8%	12.3%	2.2%
タイ	35,625	28.2%	7.9%	2.2%	27,707	22.3%	8.6%	1.9%
シンガポール	25,841	20.5%	1.7%	0.4%	10,760	8.7%	12.5%	1.0%
マレーシア	15,387	12.2%	7.5%	0.9%	20,910	16.9%	▲3.3%	▲0.6%
ブルネイ	110	0.1%	15.2%	0.01%	2,586	2.1%	34.2%	0.6%
フィリピン	12,432	9.8%	▲0.4%	▲0.0%	11,524	9.3%	5.1%	0.5%
インドネシア	17,431	13.8%	16.0%	2.0%	23,789	19.2%	6.6%	1.3%
カンボジア	466	0.4%	16.0%	0.1%	1,776	1.4%	25.4%	0.3%
ラオス	147	0.1%	12.8%	0.01%	172	0.1%	2.6%	0.004%
ミャンマー	766	0.6%	▲22.5%	▲0.2%	1,415	1.1%	18.3%	0.2%
ASEAN 計	126,345	100.0%	6.4%	6.4%	123,991	100.0%	7.4%	7.4%

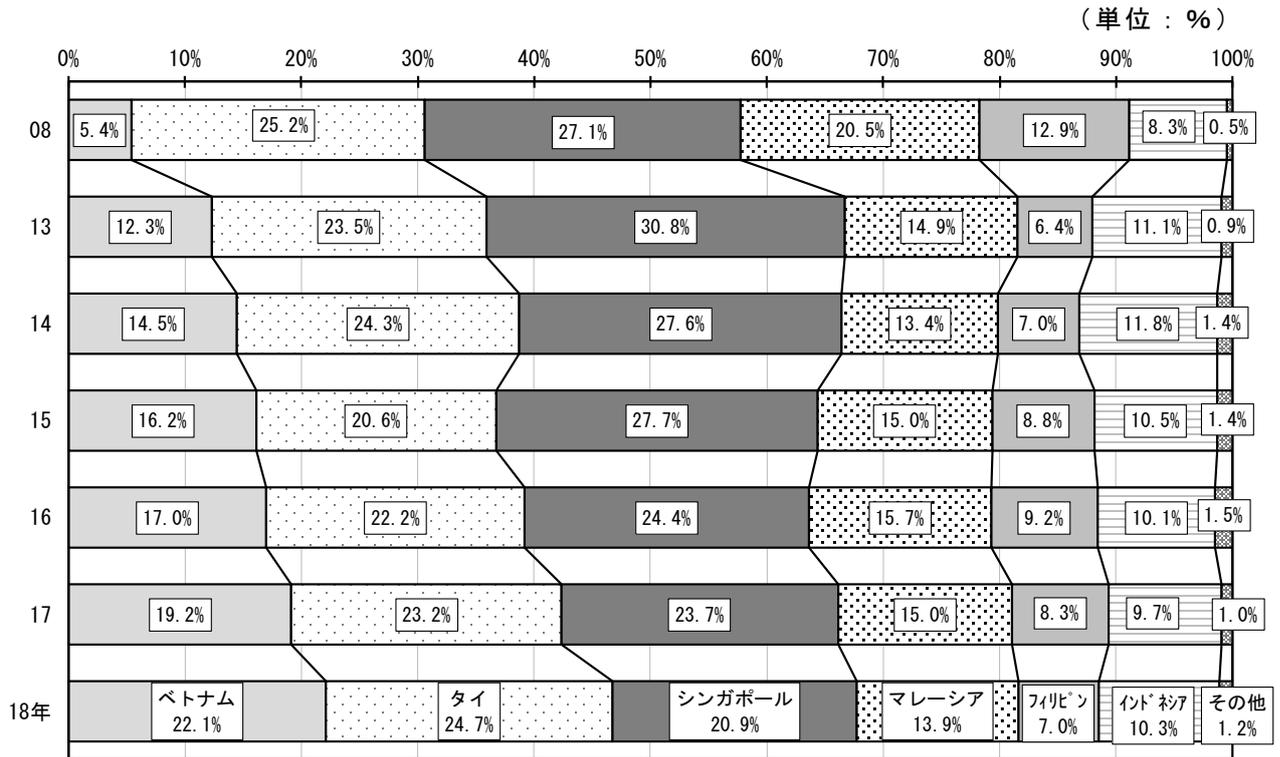
図表 2-5-7 九州の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2018 年）

（単位：億円、％）

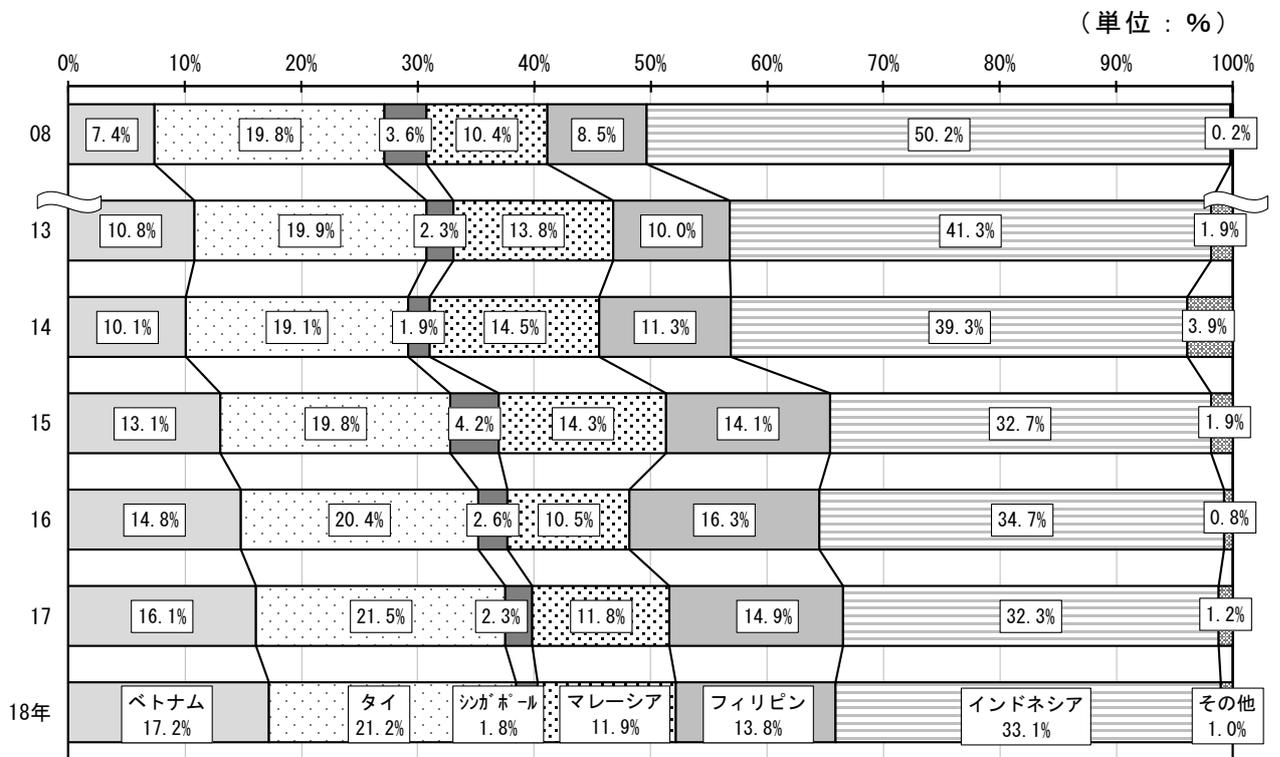
国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	2,077	22.1%	21.2%	4.1%	11.4%	1,448	17.2%	14.1%	2.3%	6.2%
タイ	2,320	24.7%	11.7%	2.7%	6.5%	1,783	21.2%	5.4%	1.2%	6.4%
シンガポール	1,967	20.9%	▲7.3%	▲1.7%	7.6%	154	1.8%	▲13.8%	▲0.3%	1.4%
マレーシア	1,305	13.9%	▲2.5%	▲0.4%	8.5%	999	11.9%	7.5%	0.9%	4.8%
ブルネイ	17	0.2%	103.8%	0.1%	15.6%	0.4	0.005%	▲98.5%	▲0.3%	0.01%
フィリピン	655	7.0%	▲11.6%	▲1.0%	5.3%	1,157	13.8%	▲1.5%	▲0.2%	10.0%
インドネシア	967	10.3%	11.6%	1.1%	5.5%	2,782	33.1%	9.4%	3.0%	11.7%
カンボジア	35	0.4%	27.4%	0.1%	7.5%	43	0.5%	26.7%	0.1%	2.4%
ラオス	6	0.06%	166.6%	0.04%	3.8%	5	0.06%	0.02%	0.00001%	2.8%
ミャンマー	51	0.5%	3.8%	0.02%	6.7%	35	0.4%	6.7%	0.03%	2.5%
ASEAN 計	9,401	100.0%	5.1%	5.1%	7.4%	8,406	100.0%	6.6%	6.6%	6.8%

図表 2-5-6～7 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-8 ASEAN 域内における九州の輸出相手国の推移



図表 2-5-9 ASEAN 域内における九州の輸入相手国の推移

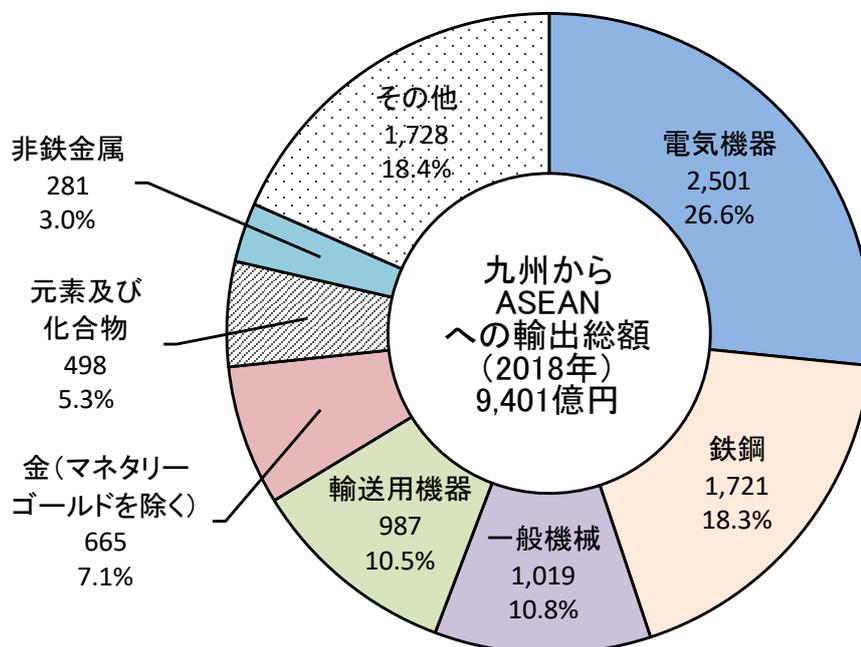


図表 2-5-8～9 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-10 九州から ASEAN への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



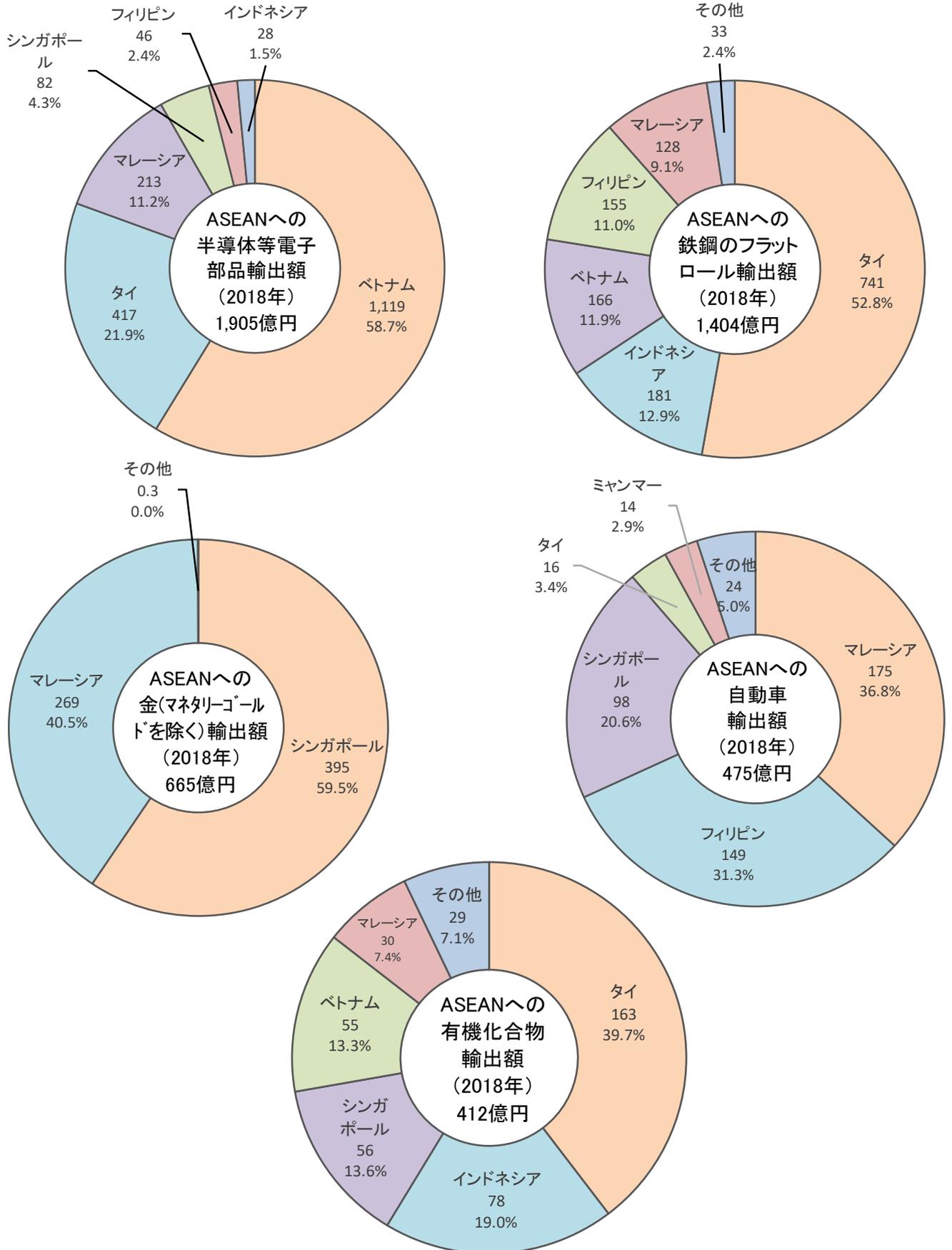
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,905	20.3%	8.8%	20.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,404	14.9%	15.9%	18.0%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	665	7.1%	▲2.9%	24.9%
自動車	輸送用機器	475	5.1%	1.9%	7.7%
有機化合物	元素及び化合物	412	4.4%	15.6%	24.3%
船舶類	輸送用機器	376	4.0%	▲45.3%	20.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	281	3.0%	10.5%	15.7%
原動機	一般機械	267	2.8%	111.0%	5.7%
事務用機器	一般機械	253	2.7%	▲5.6%	9.0%
映像機器	電気機器	202	2.1%	15.0%	53.5%
その他		3,161	33.6%	-	-
総 額		9,401	100.0%	5.1%	7.4%

寄与度 (増加分)：鉄鋼のフラットロール製品 (+2.1%)、半導体等電子部品 (+1.7%) 等
 寄与度 (減少分)：船舶類 (▲3.5%)、荷役機械 (▲0.7%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-11 九州から ASEAN への主要輸出品目に係る輸出相手国

(単位：億円、%)

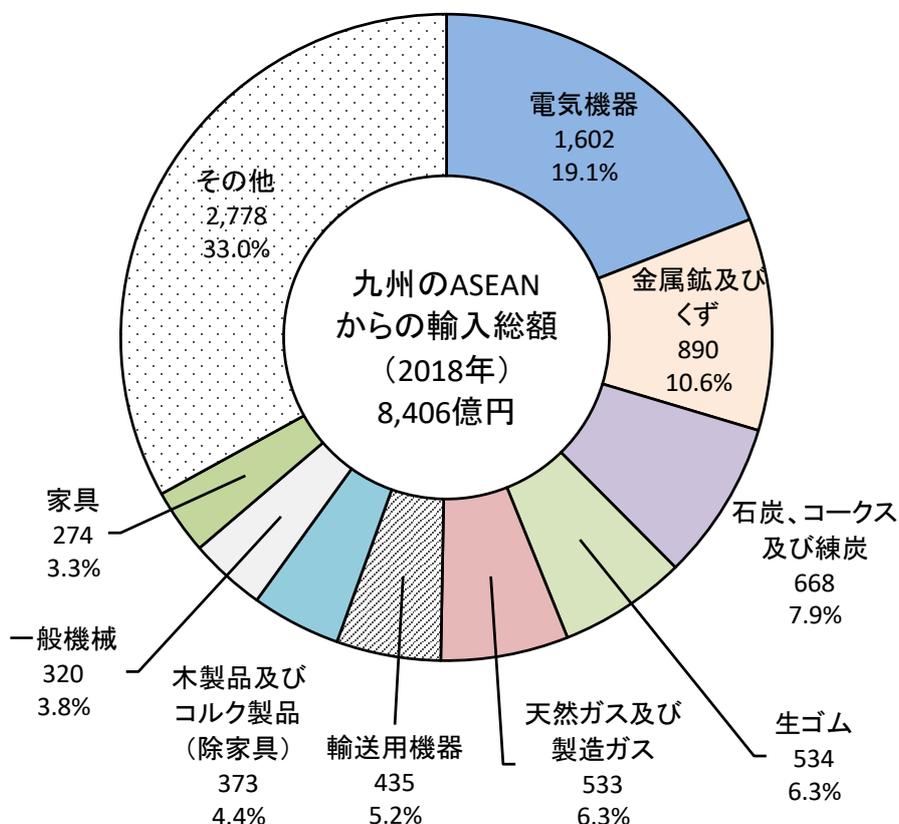


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

表 2-5-12 九州のASEANからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	881	10.5%	13.1%	17.0%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	760	9.0%	105.7%	19.8%
石炭	石炭、コークス及び練炭	668	7.9%	36.1%	18.4%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	533	6.3%	▲32.0%	4.6%
天然ゴム	生ゴム	507	6.0%	▲18.0%	42.0%
自動車の部分品	輸送用機器	390	4.6%	2.3%	17.6%
音響・映像機器 (含部品)	電気機器	221	2.6%	4.9%	7.8%
半導体等電子部品	電気機器	141	1.7%	1.0%	3.2%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品 (除家具)	133	1.6%	8.7%	14.7%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品 (除家具)	126	1.5%	9.6%	8.1%
その他		4,048	48.1%	-	-
	総額	8,406	100%	6.6%	6.8%

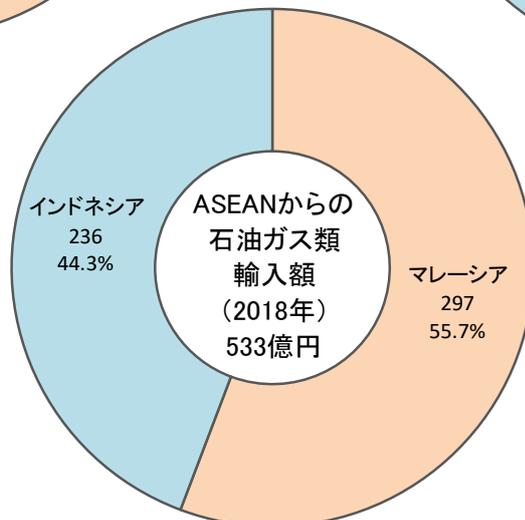
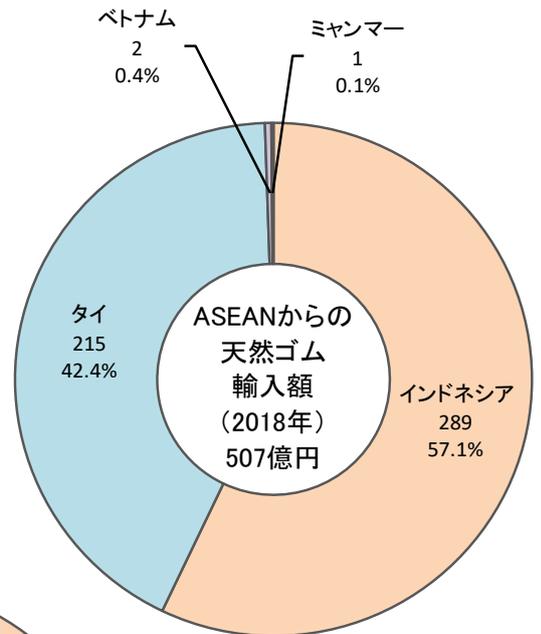
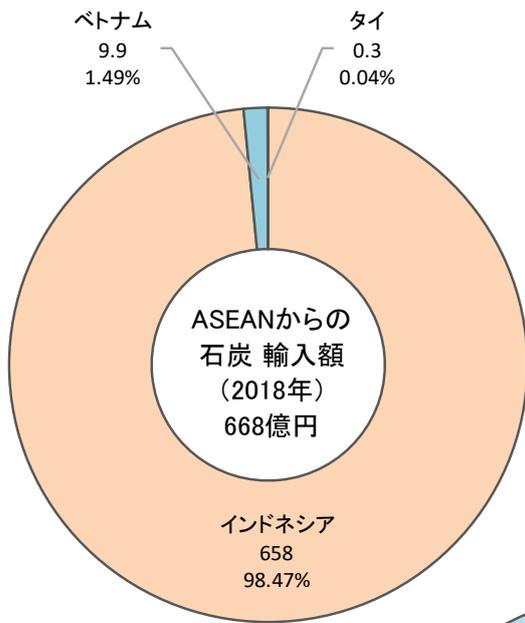
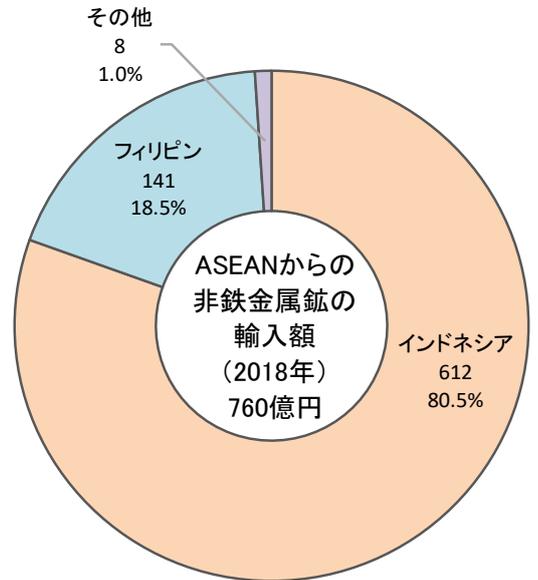
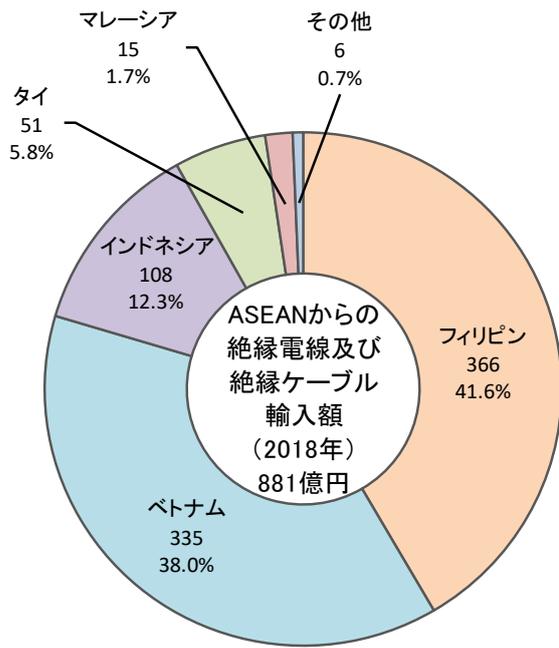
寄与度 (増加分) : 非鉄金属鉱 (+5.0%)、石炭 (+2.2%) 等

寄与度 (減少分) : 石油ガス類 (▲3.2%)、天然ゴム (▲1.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-13 九州の ASEAN からの主要輸入品目に係る輸入相手国

(単位：億円、%)



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

6. 九州とベトナムの貿易

6-1. ベトナムの経済概況

国名	ベトナム社会主義共和国
面積	32万9,241km ²
人口	約9,370万人(2017年、越統計総局)
首都	ハノイ
人種	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言語	ベトナム語
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業、鉱業、工業

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-1 ベトナムのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.0	6.7	6.2	6.8	7.1
名目GDP総額	億ドル	1,862	1,932	2,053	2,238	2,450 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,052	2,109	2,215	2,389	2,590 *
輸出額	億ドル	1,502	1,620	1,766	2,151	2,432
	前年比(%)	13.8	7.9	9.0	21.8	13.0
輸入額	億ドル	1,478	1,656	1,748	2,130	2,363
	前年比(%)	12.0	12.0	5.6	21.9	10.9
貿易収支	億ドル	24	▲ 36	18	21	68
対日貿易収支	億ドル	18	▲ 1	▲ 4	▲ 1	▲ 3 *
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	5.8	10.1	7.2	9.5	10.2
失業率	(%)	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1
消費者物価上昇率	(%)	4.1	0.6	2.7	3.5	3.5
直接投資受入額	億ドル	219	241	269	371	364 *
為替レート(1ドル)	ドン	21,148	21,677	21,932	22,370	22,602 *

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」より九州経済産業局作成。

6-2. 九州とベトナムの貿易動向

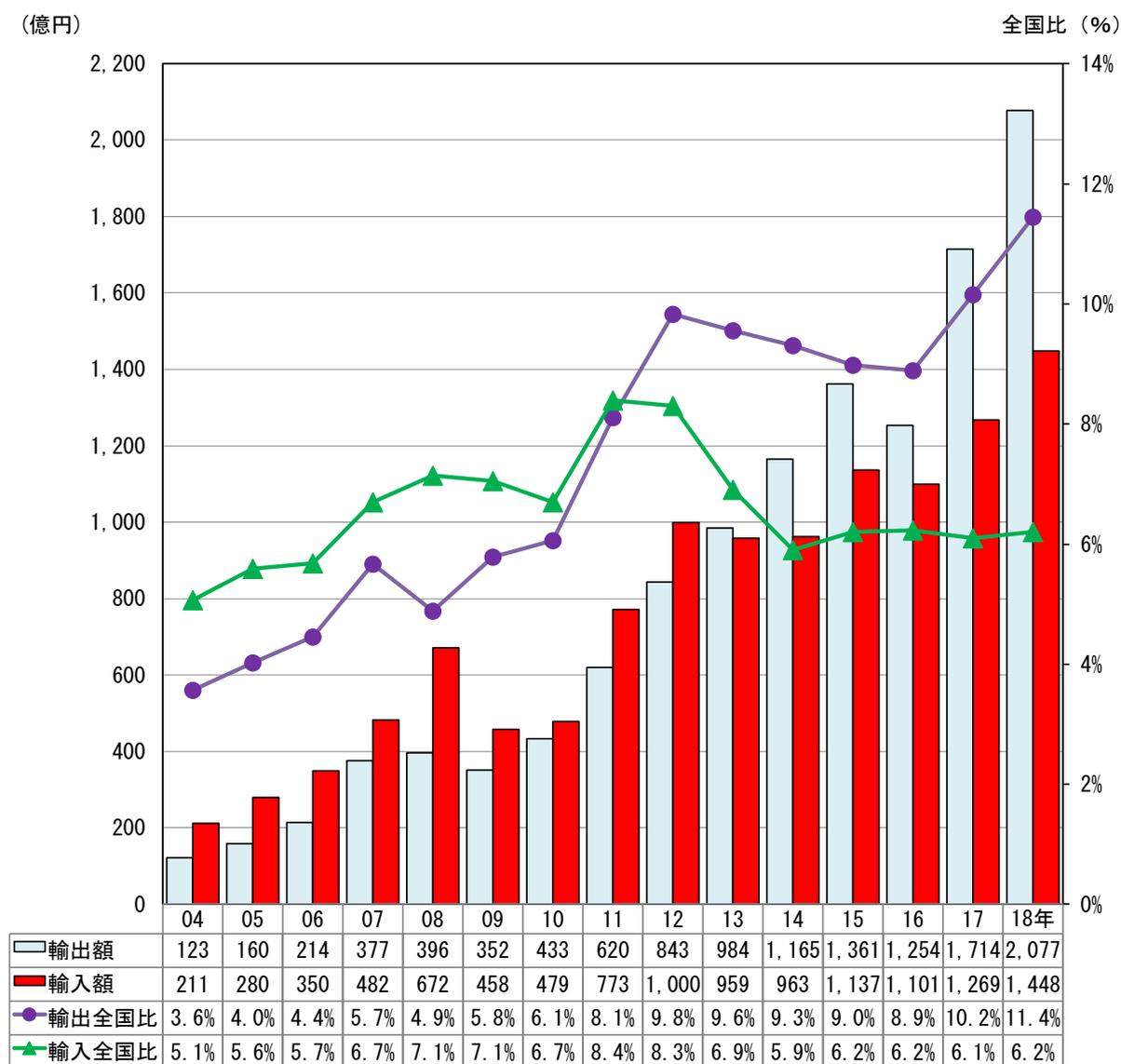
● 2018年の九州の対ベトナム貿易額

輸出総額：2,077億円（前年比21.2%増） → 2年連続のプラス
 輸入総額：1,448億円（前年比14.1%増） → 2年連続のプラス
 差引額：629億円（前年比18.2%増） → 6年連続の輸出超過

● 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、銅及び同合金
 〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+16.3%）、鉄鋼のフラットロール製品（+2.4%）
 〈寄与度↓〉船舶類（▲2.2%）、電気回路等の機器（▲1.3%）

● 輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等、メリヤス編み及びクロセ編み衣類
 〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+3.3%）、パルプウッド等（+1.2%）
 〈寄与度↓〉重電機器（▲0.5%）、コック・弁類（▲0.4%）

図表 2-6-2 九州の対ベトナム貿易額の推移

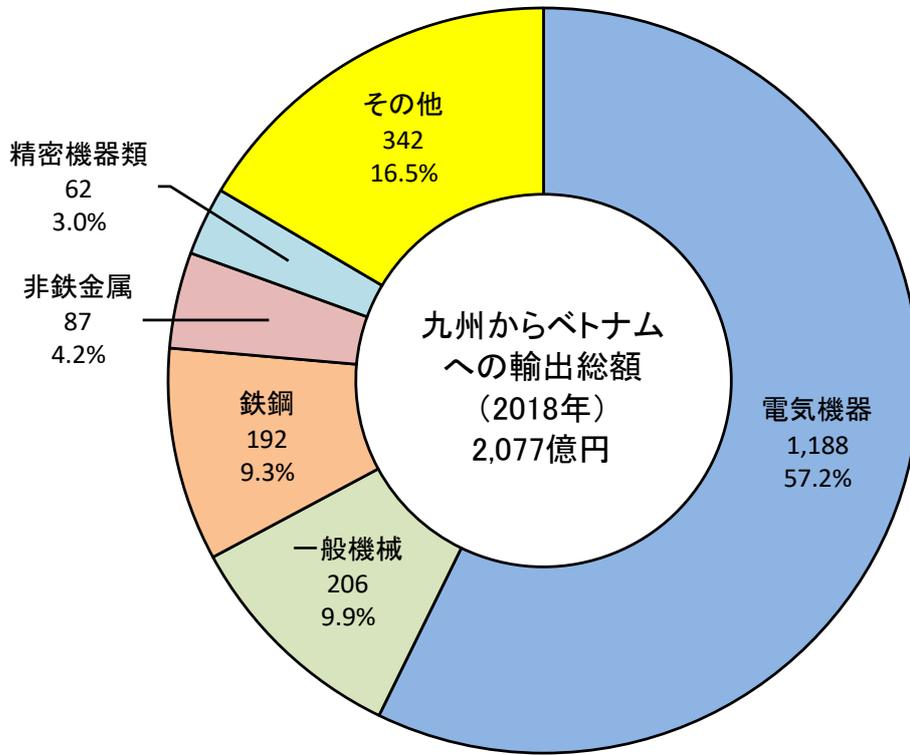


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-6-3 九州からベトナムへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
半導体等電子部品	電気機器	1,119	53.9%	33.3%	67.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	166	8.0%	33.6%	12.5%
銅及び同合金	非鉄金属	86	4.1%	54.2%	22.3%
事務用機器	一般機械	71	3.4%	▲1.1%	9.3%
科学光学機器	精密機器類	62	3.0%	4.9%	11.9%
有機化合物	元素及び化合物	55	2.6%	13.9%	24.7%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	45	2.2%	211.7%	7.7%
荷役機械	一般機械	45	2.1%	▲10.2%	21.4%
魚介類	魚介類及び同調製品	34	1.6%	▲24.1%	21.0%
電気回路等の機器	電気機器	31	1.5%	▲42.6%	2.6%
その他		365	17.5%	-	-
総 額		2,077	100%	21.2%	11.4%

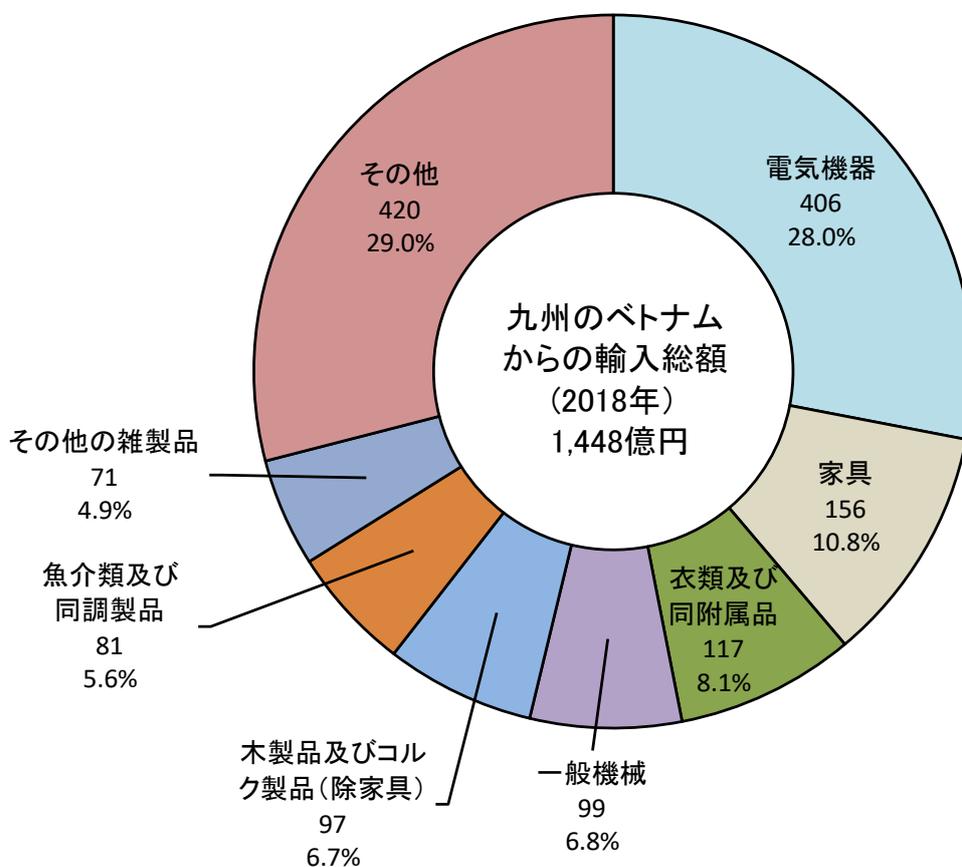
寄与度 (増加分) : 半導体等電子部品 (+16.3%)、鉄鋼のフラットロール製品 (+2.4%) 等
 寄与度 (減少分) : 船舶類 (▲2.2%)、電気回路等の機器 (▲1.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-4 九州のベトナムからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	335	23.1%	14.0%	14.4%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	87	6.0%	22.3%	15.2%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	76	5.3%	▲5.1%	3.4%
プラスチック製品	その他の雑製品	56	3.9%	29.9%	7.6%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	43	3.0%	▲7.1%	8.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	38	2.6%	▲0.6%	6.0%
合金鉄	鉄鋼	33	2.3%	26.2%	44.4%
衣類	衣類及び同附属品	32	2.2%	7.4%	1.5%
自動車の部分品	輸送用機器	32	2.2%	38.8%	5.6%
原動機	一般機械	31	2.2%	32.2%	26.2%
その他		685	47.3%	-	-
総 額		1,448	100.0%	14.1%	6.2%

寄与度 (増加分) : 絶縁電線及び絶縁ケーブル (+3.3%)、パルプウッド等 (+1.2%) 等
 寄与度 (減少分) : 重電機器 (▲0.5%)、コック・弁類 (▲0.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

7. 九州とタイの貿易

7-1. タイの経済概況

国名	タイ王国
面積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人口	6,891万人(2017年)(タイ国勢調査)
首都	バンコク
人種	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言語	タイ語
宗教	仏教 94%、イスラム教 5%
政体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-7-1 タイのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.0	3.1	3.4	4.0	4.1
名目GDP総額	10億ドル	407	401	412	455	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	5,933	5,831	5,970	6,591	—
輸出額	億ドル	2,275	2,143	2,154	2,366	2,524
	前年比(%)	▲ 0.5	▲ 5.8	0.5	9.9	6.7
輸入額	億ドル	2,277	2,027	1,942	2,215	2,492
	前年比(%)	▲ 9.1	▲ 11.0	▲ 4.2	14.1	12.5
貿易収支	億ドル	▲ 3	117	212	151	33
対日貿易収支	億ドル	▲ 138	▲ 112	▲ 102	▲ 97	▲ 103 *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 4.0	0.0	1.4	1.8	3.6
失業率	(%)	0.8	0.9	1.0	1.2	3.5
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	1.9	▲ 0.9	0.2	0.7	1.1
直接投資受入額	億ドル	37	86	31	79	134 *
為替レート(1ドル)	バーツ	32.48	34.25	35.30	33.94	32.31
為替レート(1バーツ)	円	3.26	3.53	3.08	3.31	3.42

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(J-FILE)より九州経済産業局作成。

7-2. 九州とタイの貿易動向

●2018年の九州の対タイ貿易額

輸出総額：2,320億円（前年比11.7%増） → 2年連続のプラス

輸入総額：1,783億円（前年比5.4%増） → 2年連続のプラス

差引額：537億円（前年比39.7%増）

●輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+5.1%）、有機化合物（+1.9%）

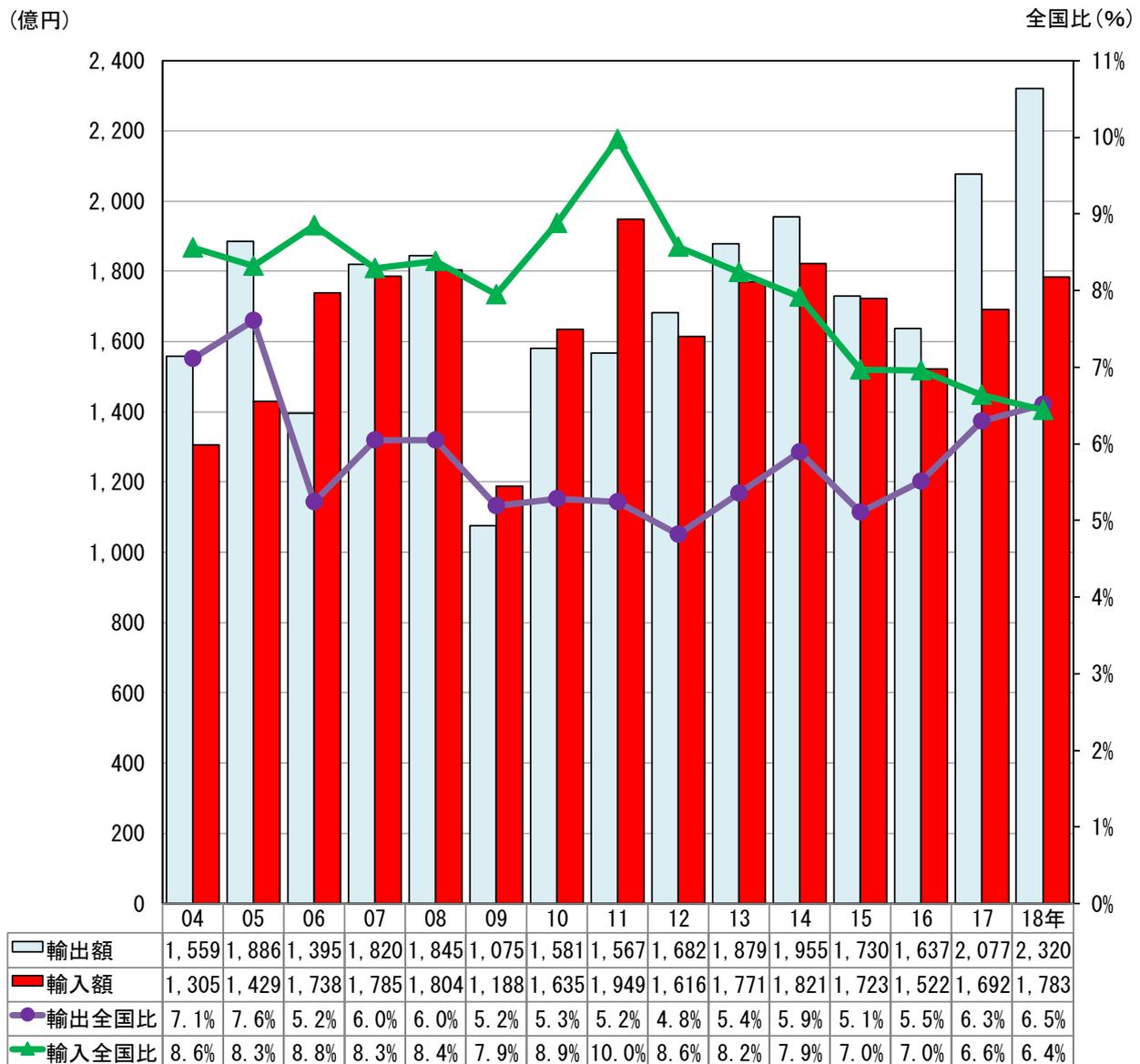
〈寄与度↓〉科学光学機器（▲1.2%）、半導体等電子部品（▲0.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）天然ゴム、自動車の部分品、音響・映像機器（含む部品）

〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.2%）、石油製品（+1.1%）

〈寄与度↓〉天然ゴム（▲2.9%）、米（▲0.5%）

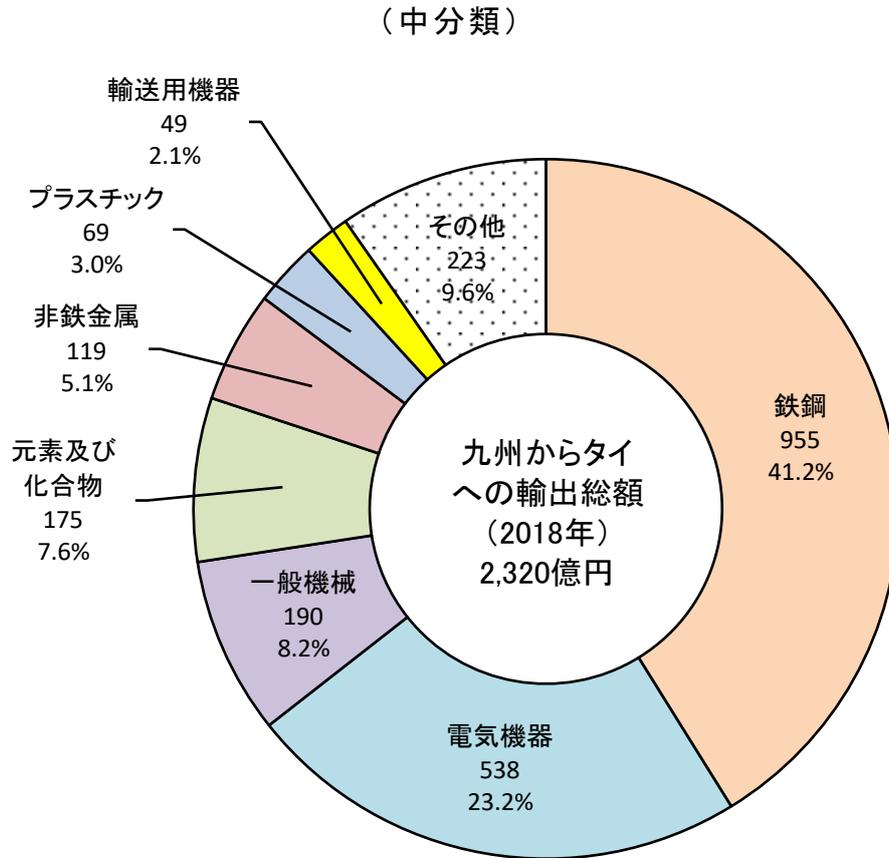
図表 2-7-2 九州の対タイ貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-7-3 九州からタイへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	741	31.9%	16.7%	21.4%
半導体等電子部品	電気機器	417	18.0%	▲2.9%	17.6%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	193	8.3%	11.2%	20.5%
有機化合物	元素及び化合物	163	7.0%	32.9%	32.2%
銅及び同合金	非鉄金属	99	4.3%	15.0%	10.0%
音響・映像機器の部分品	電気機器	39	1.7%	632.2%	20.9%
科学光学機器	精密機器類	35	1.5%	▲40.6%	4.8%
魚介類	魚介類および同調整品	29	1.3%	99.0%	13.6%
建設用・鉱山用機械	一般機器	23	1.0%	6.3%	12.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	22	1.0%	41.4%	2.3%
その他		558	24.0%	-	-
総 額		2,320	100.0%	11.7%	6.5%

寄与度 (増加分)：鉄鋼のフラットロール製品 (+5.1%)、有機化合物 (+1.9%) 等

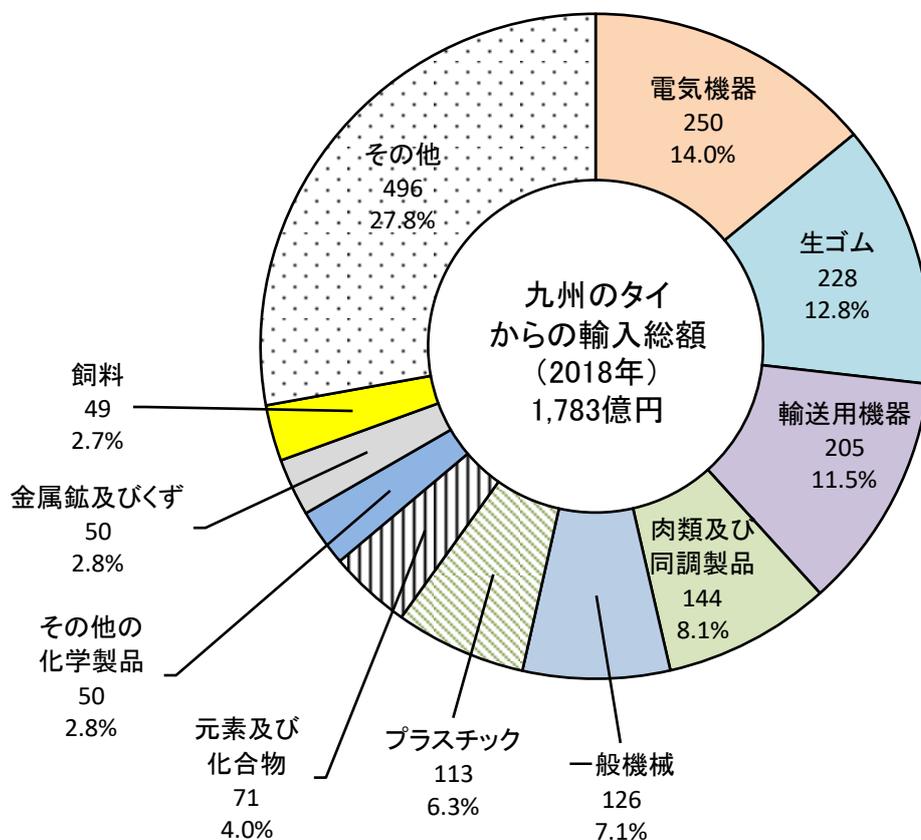
寄与度 (減少分)：科学光学機器 (▲1.2%)、半導体等電子部品 (▲0.6%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-7-4 九州のタイからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
天然ゴム	生ゴム	215	12.0%	▲18.8%	55.0%
自動車の部分品	輸送用機器	193	10.8%	▲2.6%	19.0%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	66	3.7%	▲9.0%	6.1%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	51	2.9%	67.8%	12.0%
無機化合物	元素及び化合物	42	2.4%	46.1%	28.8%
ポリエチレン	プラスチック	41	2.3%	26.3%	11.4%
電気計測機器	電気機器	38	2.1%	11.8%	9.3%
合成樹脂	プラスチック	38	2.1%	50.8%	7.9%
米	穀物及び同調製品	37	2.1%	▲18.7%	29.3%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	35	2.0%	▲5.7%	11.8%
その他		1,027	60.7%	-	-
総額		1,783	100.0%	5.4%	6.4%

寄与度 (増加分) : 絶縁電線及び絶縁ケーブル (+1.2%)、石油製品 (+1.1%) 等

寄与度 (減少分) : 天然ゴム (▲2.9%)、米 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

8. 九州とシンガポールの貿易

8-1. シンガポールの経済概況

国名	シンガポール共和国
面積	約720km ² (東京23区と同程度)
人口	約561万人(うちシンガポール人・永住者は397万人)(2017年6月)
人種	中華系74%、マレー系13%、インド系9%、(2017年6月)
言語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-8-1 シンガポールのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.1	2.5	2.8	3.9	3.2
名目GDP総額	10億ドル	312	304	310	324	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	56,959	54,940	55,241	57,713	—
輸出額	億ドル	4,152	3,577	3,380	3,729	4,120
	前年比(%)	▲ 1.1	▲ 13.8	▲ 5.5	10.3	10.5
輸入額	億ドル	3,777	3,080	2,919	3,274	3,708
	前年比(%)	▲ 2.7	▲ 18.5	▲ 5.2	12.1	13.3
貿易収支	億ドル	375	498	460	455	411
対日貿易収支	億ドル	▲ 34	▲ 33	▲ 47	▲ 33	—*
製造業生産指数	前年比(%)	2.7	▲ 5.1	3.7	10.4	7.2
失業率	(%)	2.0	1.9	2.1	2.2	2.1
消費者物価指数	前年比(%)	1.0	▲ 0.5	▲ 0.5	0.6	0.4
直接投資受入額	億ドル	695	706	743	636	—*
為替レート(1ドル)	Sドル	1.27	1.38	1.38	1.38	1.35
為替レート(1Sドル)	円	83.62	88.04	78.75	81.23	81.87

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

8-2. 九州とシンガポールの貿易動向

●2018年の九州の対シンガポール貿易額

輸出総額：1,967億円（前年比7.3%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額：154億円（前年比13.8%減） → 3年連続のマイナス

差引額：1,813億円（前年比▲131億円） → 前年比▲6.7%

●輸出品目（輸出額多い順）金（マネタリーゴールドを除く）、船舶類、映像機器

〈寄与度↑〉有機化合物（+1.2%）、映像機器（+0.9%）

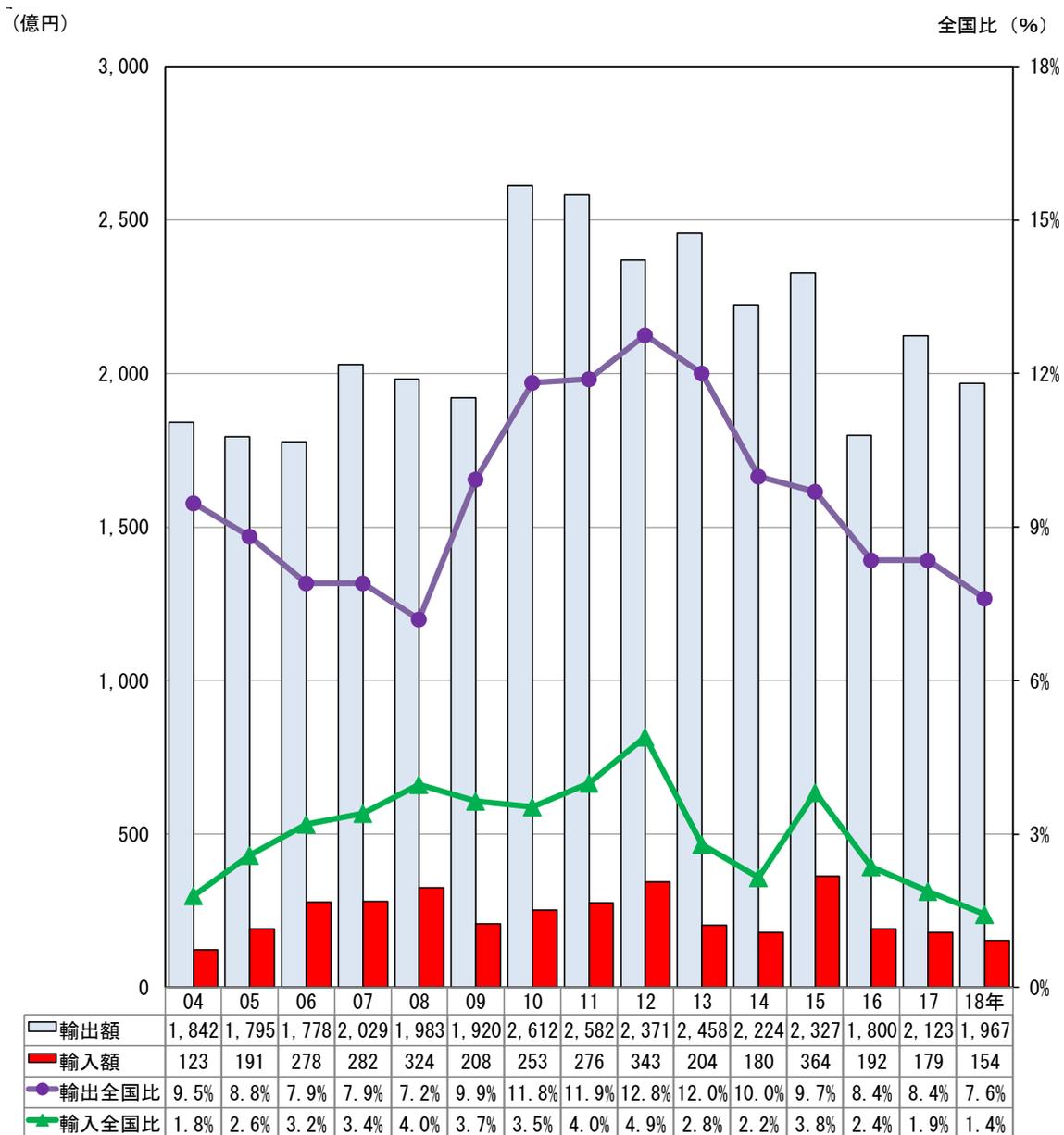
〈寄与度↓〉船舶類（▲11.2%）、半導体等電子部品（▲2.8%）

●輸入品目（輸入額多い順）有機化合物、科学光学機器、非鉄卑金属くず

〈寄与度↑〉有機化合物（+4.5%）、半導体等製造装置（+4.2%）

〈寄与度↓〉石油製品（▲23.8%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（▲1.4%）

図表 2-8-2 九州の対シンガポール貿易額の推移

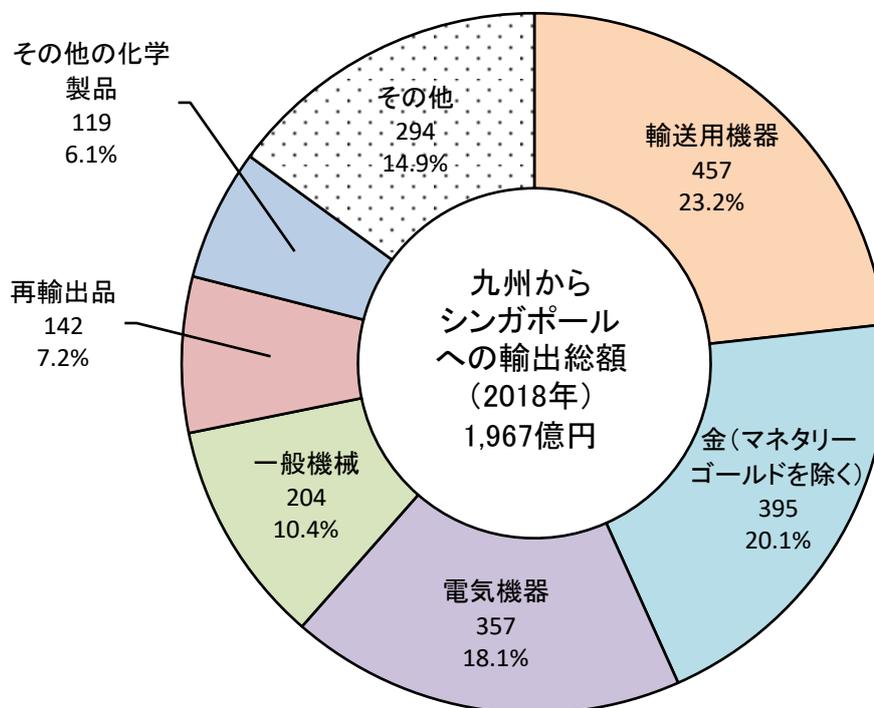


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-8-3 九州からシンガポールへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	395	20.1%	▲0.1%	20.8%
船舶類	輸送用機器	370	18.0%	▲40.2%	21.2%
映像機器	電気機器	188	9.6%	11.2%	76.9%
事務用機器	一般機械	163	8.3%	5.4%	23.8%
自動車	輸送用機器	98	5.0%	▲8.1%	9.6%
半導体等電子部品	電気機器	82	4.2%	▲41.6%	3.8%
有機化合物	元素及び化合物	56	2.8%	81.3%	20.2%
音響・映像機器の部分品	電気機器	45	2.3%	▲34.7%	65.5%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	44	2.2%	▲30.2%	40.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	28	1.4%	6.7%	8.1%
その他		515	26.2%	-	-
総 額		1,967	100%	▲7.3%	7.6%

寄与度 (増加分)：有機化合物 (+1.2%)、映像機器 (+0.9%) 等

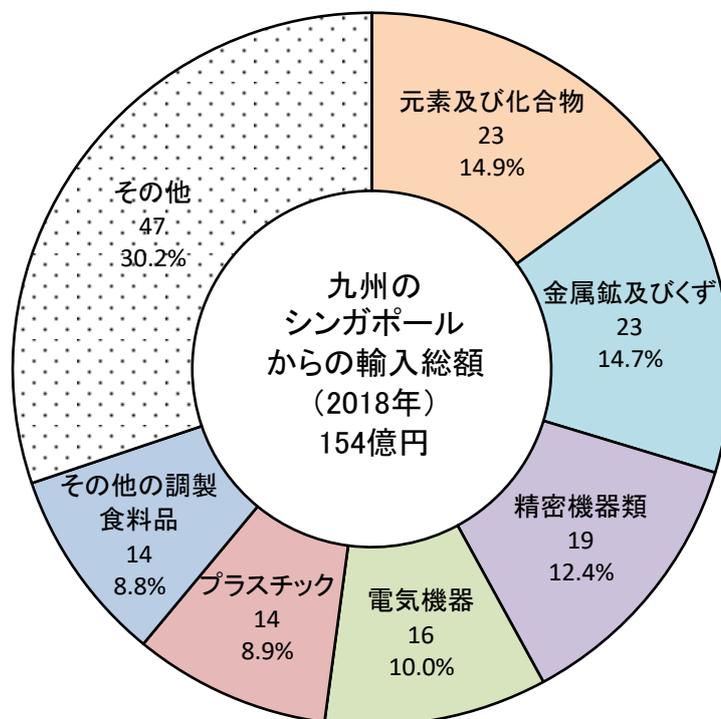
寄与度 (減少分)：船舶類 (▲11.2%)、半導体等電子部品 (▲2.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-8-4 九州のシンガポールからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
有機化合物	元素及び化合物	22	14.2%	58.7%	2.7%
科学光学機器	精密機器類	19	12.4%	10.6%	2.2%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	16	10.3%	▲4.5%	20.0%
半導体等電子部品	電気機器	14	8.8%	▲9.9%	1.7%
合成ゴム	生ゴム	13	8.6%	▲9.9%	25.6%
半導体等製造装置	一般機械	12	7.6%	172.5%	0.7%
合成樹脂	プラスチック	7	4.3%	7.9%	3.9%
ポリエチレン	プラスチック	2	1.5%	13.3%	12.4%
石油製品	石油及び同製品	2	1.0%	▲96.6%	0.3%
電気回路等の機器	電気機器	1	0.8%	101.5%	4.0%
その他		47	30.5%	-	-
総 額		154	100%	▲13.8%	1.4%

寄与度 (増加分) : 有機化合物 (+4.5%)、半導体等製造装置 (+4.2%) 等

寄与度 (減少分) : 石油製品 (▲23.8%)、絶縁電線及び絶縁ケーブル (▲1.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

9. 九州とマレーシアの貿易

9-1. マレーシアの経済概況

国名	マレーシア
面積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人口	約3,200万人(2017年マレーシア統計局)
首都	クアラルンプール
人種	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注:マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-9-1 マレーシアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.0	5.1	4.2	5.9	4.7
名目GDP総額	10億ドル	338	297	297	315	354 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	11,014	9,516	9,397	9,833	10,942 *
輸出額	億ドル	2,340	1,992	1,900	2,178	2,475 *
	前年比(%)	2.4	▲ 14.9	▲ 4.6	14.7	13.6 *
輸入額	億ドル	2,090	1,761	1,687	1,948	2,176 *
	前年比(%)	1.4	▲ 15.7	▲ 4.2	15.5	11.7 *
貿易収支	億ドル	252	234	213	229	—
対日貿易収支	億ドル	85	49	15	26	14 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	5.2	4.7	4.1	4.3	3.1
失業率	(%)	2.9	3.2	3.5	3.4	3.3
消費者物価上昇率	前年比(%)	3.1	2.1	2.1	3.8	1.0
直接投資受入額	億ドル	1,167	1,686	2,118	1,591	1,352 *
為替レート(1ドル)	リンギ	3.27	3.91	4.15	4.30	4.04
為替レート(1リンギ)	円	32.37	30.99	26.23	26.08	27.37

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

9-2. 九州とマレーシアの貿易動向

●2018年の九州の対マレーシア貿易額

輸出総額：1,305億円（前年比2.5%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額：999億円（前年比7.5%増） → 2年連続のプラス

差引額：306億円（前年比25.3%減）

●輸出品目（輸出額多い順）金（マネタリーゴールドを除く）、半導体等電子部品、自動車（寄与度↑）自動車（+8.8%）、石油製品（+4.1%）

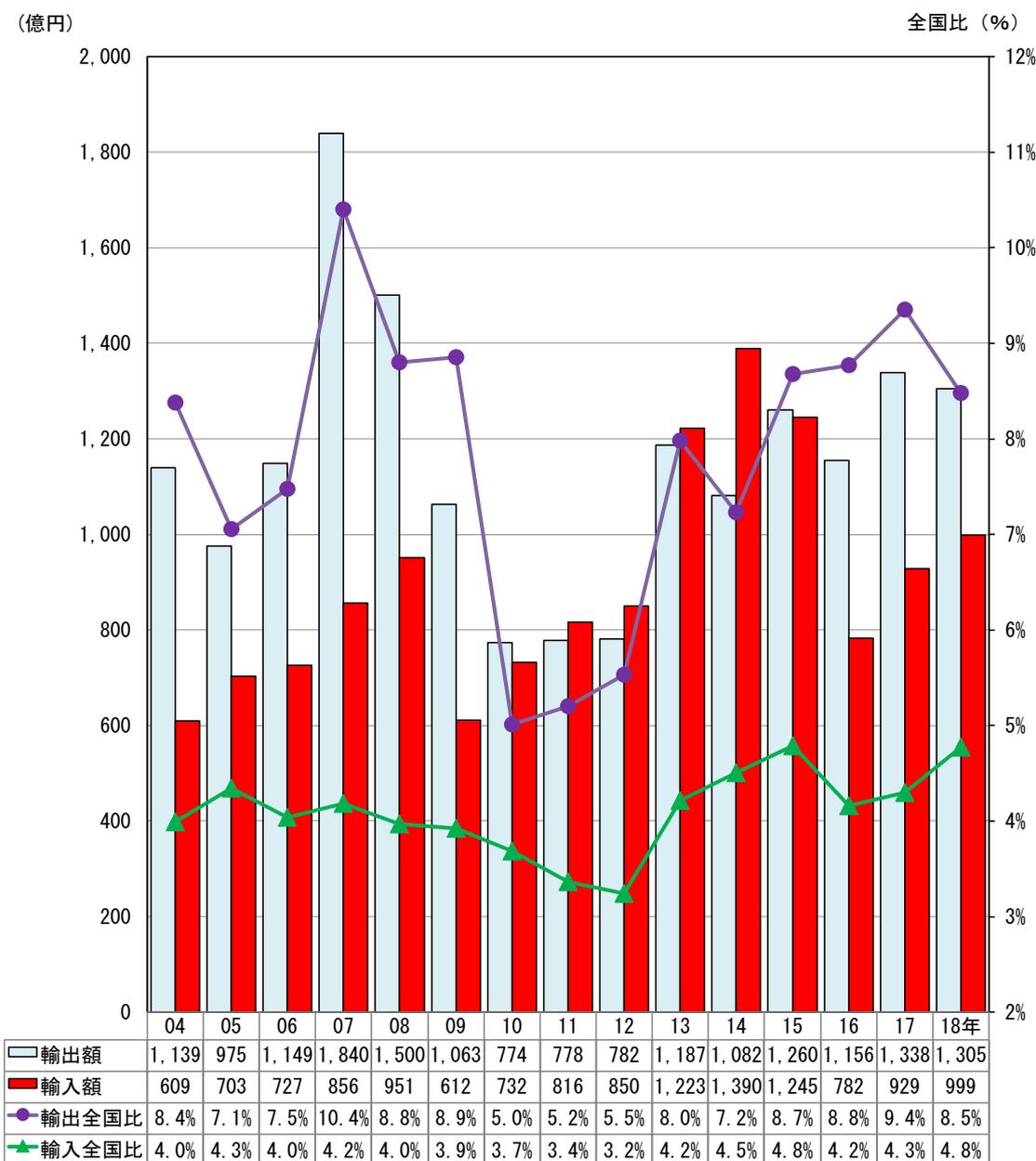
（寄与度↓）荷役機械（▲6.6%）、半導体等電子部品（▲4.1%）

●輸入品目（輸入額多い順）天然ガス及び製造ガス、木製品及びコルク製品（除家具）

（寄与度↑）音響・映像機器（含部品）（+1.8%）、合金鉄（+1.6%）

（寄与度↓）石油ガス類（▲2.3%）、自動車の部分品（▲0.4%）

図表 2-9-2 九州の対マレーシア貿易額の推移

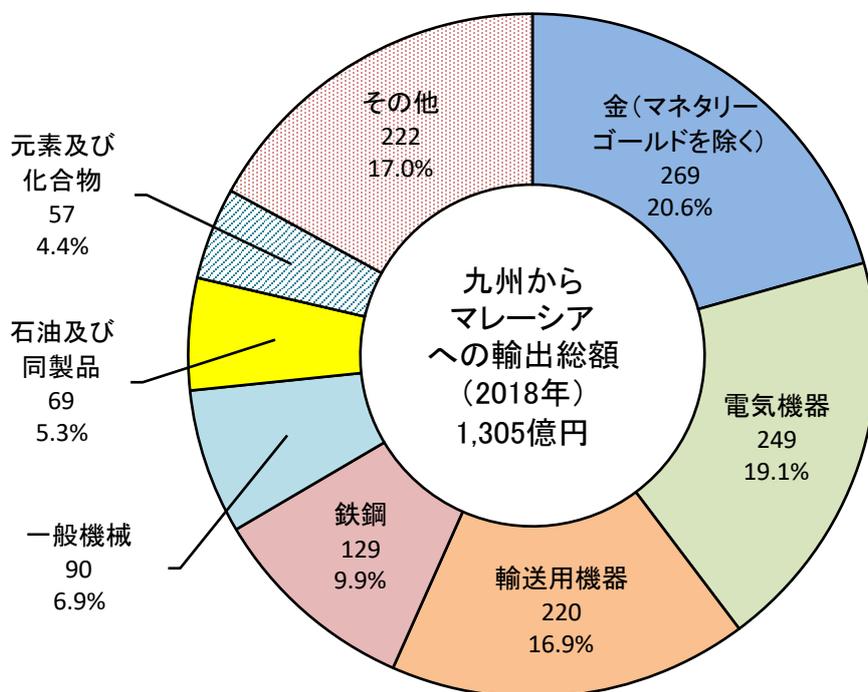


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-9-3 九州からマレーシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	269	20.6%	▲6.7%	78.1%
半導体等電子部品	電気機器	213	16.3%	▲20.4%	10.9%
自動車	輸送用機器	175	13.4%	208.1%	13.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	128	9.8%	8.3%	15.5%
石油製品	石油及び同製品	69	5.3%	386.9%	12.8%
自動車の部分品	生ゴム	42	3.2%	▲20.1%	5.1%
塗料類	輸送用機器	31	2.3%	23.7%	27.3%
ガラス及び同製品	元素及び化合物	30	2.3%	3.0%	24.0%
有機化合物	元素及び化合物	30	2.3%	▲6.1%	17.5%
原動機	染料・なめし剤及び着色剤	28	2.2%	▲0.9%	8.0%
その他		289	22.1%	-	-
総 額		1,305	100.0%	▲2.5%	8.5%

寄与度 (増加分) : 自動車 (+8.8%)、石油製品 (+4.1%) 等

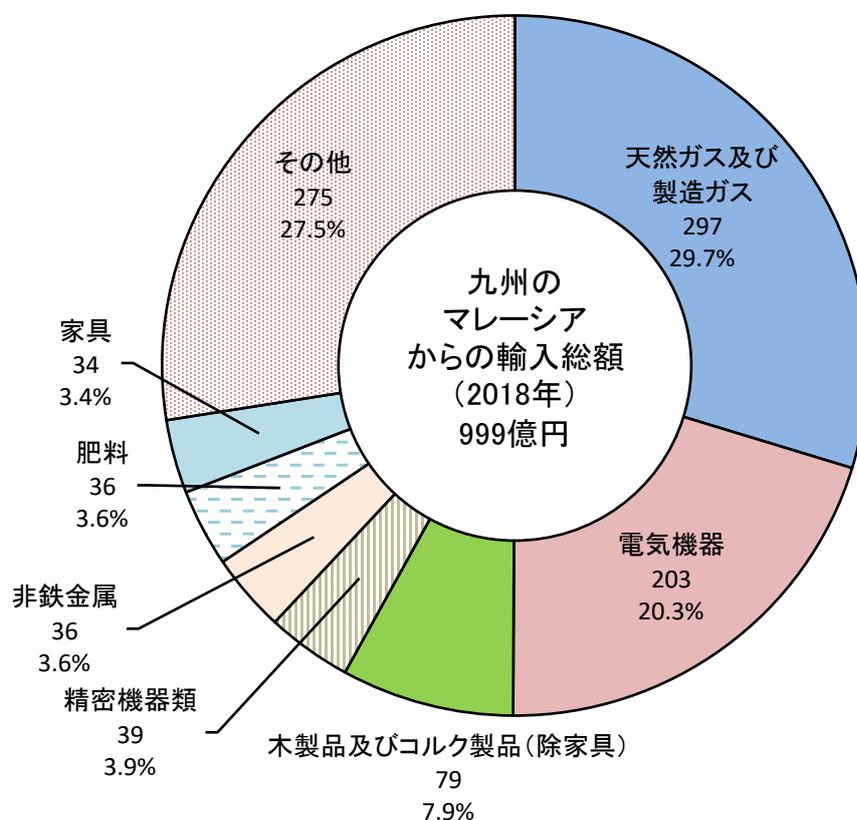
寄与度 (減少分) : 荷役機械 (▲6.6%)、半導体等電子部品 (▲4.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-9-4 九州のマレーシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	297	29.7%	▲6.8%	4.9%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	65	6.6%	11.7%	9.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	62	6.2%	37.8%	6.4%
半導体等電子部品	電気機器	52	5.2%	36.5%	3.3%
通信機	電気機器	41	4.1%	▲4.7%	5.4%
科学光学機器	精密機器類	39	3.9%	▲7.7%	9.0%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	29	2.9%	20.3%	22.1%
合金鉄	鉄鋼	27	2.7%	124.7%	11.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	26	2.6%	111.4%	10.5%
自動車の部分品	輸送用機器	18	1.8%	▲16.8%	30.7%
その他		343	34.3%	-	-
総 額		999	100.0%	7.5%	4.8%

寄与度 (増加分)：音響・映像機器 (含部品) (+1.8%)、合金鉄 (+1.6%) 等

寄与度 (減少分)：石油ガス類 (▲2.3%)、自動車の部分品 (▲0.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

10. 九州とフィリピンの貿易

10-1. フィリピンの経済概況

国名	フィリピン共和国
面積	29万9,404km ² (日本の約8割)。7,109の島々がある。
人口	約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
首都	マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
人種	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。
政体	立憲共和制
主要産業	農林水産業(全就業人口の約27%が従事)(2016年1月) 近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含めたサービス業が大きく成長(全就業人口の約56%が従事)(2016年1月)

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-1 フィリピンのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.1	6.1	6.9	6.7	6.2
名目GDP総額	10億ドル	285	293	305	314	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,849	2,883	2,953	2,989	—
輸出額	億ドル	621	588	574	687	675
	前年比(%)	9.5	▲ 5.3	▲ 2.4	19.7	▲ 1.8
輸入額	億ドル	654	711	841	961	1,089
	前年比(%)	4.8	8.7	18.3	14.2	13.4
貿易収支	億ドル	▲ 33	▲ 122	▲ 267	▲ 274	▲ 414
対日貿易収支	億ドル	86	53	21	▲ 3	▲ 5*
製造業生産指数	前年比(%)	6.2	▲ 4.4	6.6	▲ 1.4	7.8
失業率	(%)	7.2	6.6	6.1	5.7	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	3.6	0.7	1.3	2.9	5.2
直接投資受入額	億ドル	42	54	46	21	34*
為替レート(1ドル)	ペソ	44.40	45.50	47.49	50.40	52.66
為替レート(1ペソ)	円	2.39	2.66	2.29	2.23	2.10

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

10-2. 九州とフィリピンの貿易動向

●2018年の九州の対フィリピン貿易額

輸出総額： 655億円（前年比11.6%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額： 1,157億円（前年比1.5%減） → 3年連続のマイナス

差引額： ▲502億円（前年比▲68億円） → 7年連続の輸入超過

●輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、自動車、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+3.5%）、荷役機械（+1.4%）

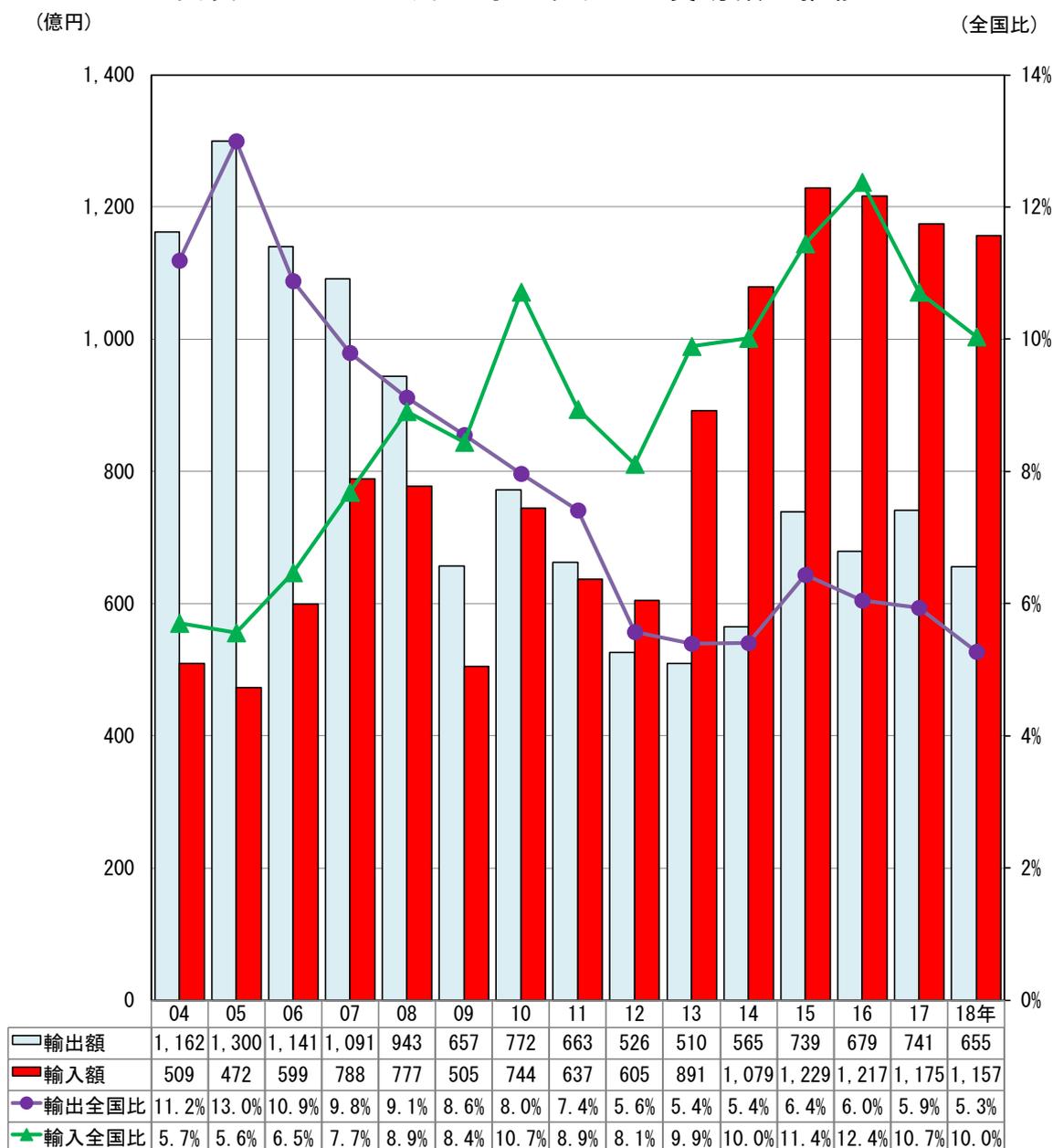
〈寄与度↓〉船舶類（▲4.9%）、自動車（▲4.9%）

●輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実

〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+4.3%）、木製建具及び建築用木工品（+1.2%）

〈寄与度↓〉事務用機器（▲3.0%）、重電機器（▲2.5%）

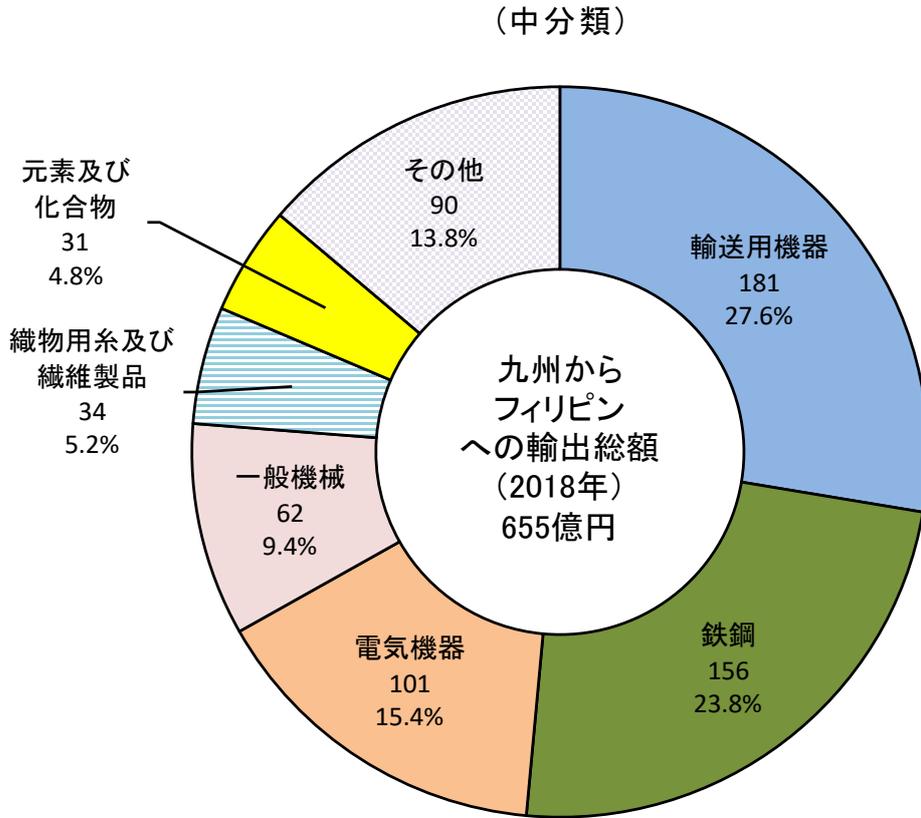
図表 2-10-2 九州の対フィリピン貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-10-3 九州からフィリピンへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	155	23.6%	20.3%	33.4%
自動車	輸送用機器	149	22.7%	▲19.6%	10.1%
半導体等電子部品	電気機器	46	7.1%	▲8.9%	4.9%
織物用系	織物用系及び繊維製品	30	4.6%	▲8.9%	82.0%
有機化合物	元素及び化合物	28	4.3%	▲6.6%	17.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	22	3.3%	51.3%	7.2%
船舶類	輸送用機器	21	3.2%	▲63.3%	17.5%
セメント	非金属鉱物製品	15	2.2%	▲42.3%	71.2%
荷役機械	一般機械	14	2.1%	310.4%	8.9%
プラスチック製品	その他の雑製品	9	1.3%	6.0%	6.1%
その他		167	25.5%	-	-
総額		655	100.0%	▲11.6%	5.3%

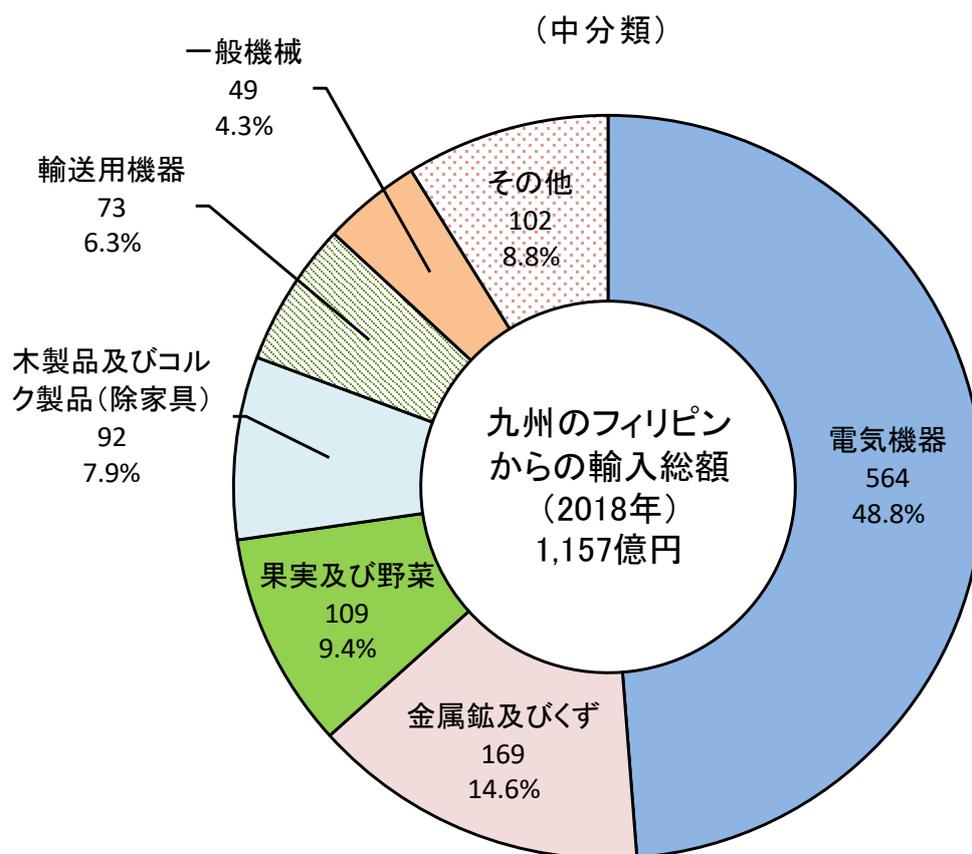
寄与度 (増加分)：鉄鋼のフラットロール製品 (+3.5%)、荷役機械 (+1.4%) 等

寄与度 (減少分)：船舶類 (▲4.9%)、自動車 (▲4.9%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-4 九州のフィリピンからの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	366	31.6%	1.9%	29.5%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	141	12.2%	56.4%	11.6%
果実	果実及び野菜	109	9.4%	5.4%	10.4%
木製建具及び建築用木工品	木製品及びコルク製品(除家具)	90	7.7%	18.3%	9.2%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	68	5.9%	▲9.4%	22.1%
自動車の部分品	輸送用機器	65	5.6%	▲0.1%	27.5%
半導体等電子部品	電気機器	37	3.2%	▲18.9%	4.1%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	37	3.2%	19.2%	24.3%
通信機	電気機器	29	2.5%	33.8%	6.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	26	2.3%	▲14.6%	21.4%
その他		189	16.3%	-	-
総 額		1,157	100.0%	▲1.5%	10.0%

寄与度 (増加分)：非鉄金属鉱 (+4.3%)、木製建具及び建築用木工品 (+1.2%) 等
 寄与度 (減少分)：事務用機器 (▲3.0%)、重電機器 (▲2.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

11. 九州とインドネシアの貿易

11-1. インドネシアの経済概況

国名	インドネシア共和国
面積	約192万km ² (日本の約5倍)
人口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首都	ジャカルタ(人口1,017万人:2015年、インドネシア政府統計)
人種	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2016年、宗教省統計)
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(19.9%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(12.8%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(15.8%) 鉱業(8.1%):LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.5%)、運輸・通信(9.1%)、金融・保険(4.2%)、 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2018年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-11-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.0	4.9	5.0	5.1	5.2
名目GDP総額	10億ドル	891	861	932	1,015	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,534	3,369	3,604	3,876	—
輸出額	億ドル	1,760	1,504	1,452	1,688	1,802
	前年比(%)	▲ 3.6	▲ 14.6	▲ 3.4	16.3	6.7
輸入額	億ドル	1,782	1,427	1,357	1,570	1,887
	前年比(%)	▲ 4.5	▲ 19.9	▲ 4.9	15.7	20.2
貿易収支	億ドル	▲ 22	77	95	118	▲ 85
対日貿易収支	億ドル	61	48	31	26	15*
製造業生産指数	前年比(%)	4.8	4.8	4.0	4.3	4.2
失業率	(%)	5.9	6.2	5.6	5.5	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	6.4	6.4	3.5	3.8	3.2
直接投資受入額	億ドル	285	293	290	322	293*
為替レート(1ドル)	ルピア	11,865.21	13,389.41	13,308.33	13,380.83	14,236.94
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

11-2. 九州とインドネシアの貿易動向

●2018年の九州の対インドネシア貿易額

輸出総額： 967億円（前年比11.6%増） → 2年連続のプラス

輸入総額： 2,782億円（前年比9.4%増） → 4年ぶりのプラス

差引額： ▲1,814億円（前年比▲138億円）

●輸出品目（輸出額多い順）原動機、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉原動機（+16.7%）、構造物及び同建築材（+1.6%）

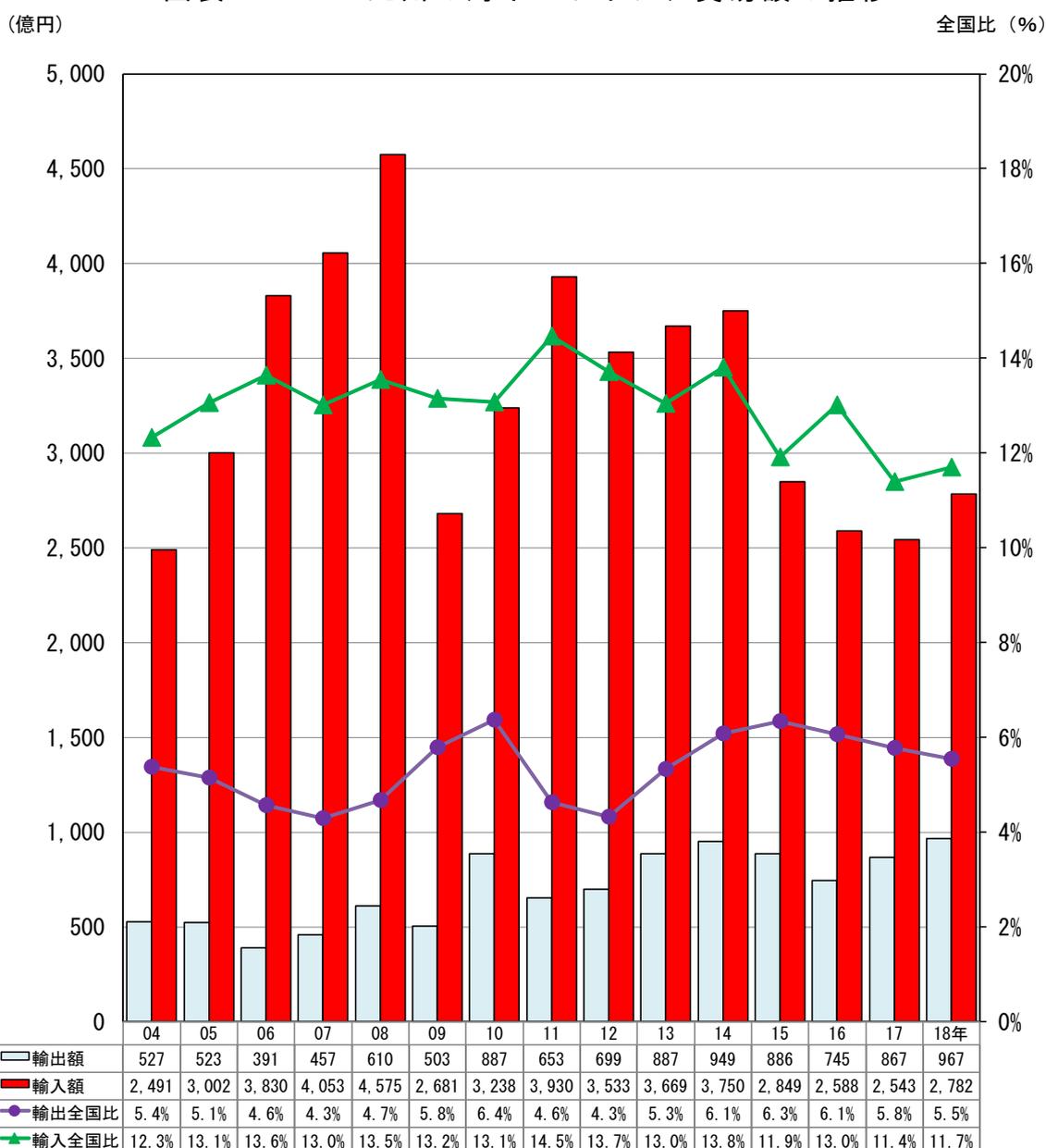
〈寄与度↓〉自動車（▲4.9%）、科学光学機器（▲1.9%）

●輸入品目（輸入額多い順）石炭、非鉄金属鉱、天然ゴム

〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.2%）、石油製品（+1.1%）

〈寄与度↓〉天然ゴム（▲2.9%）、米（▲0.5%）

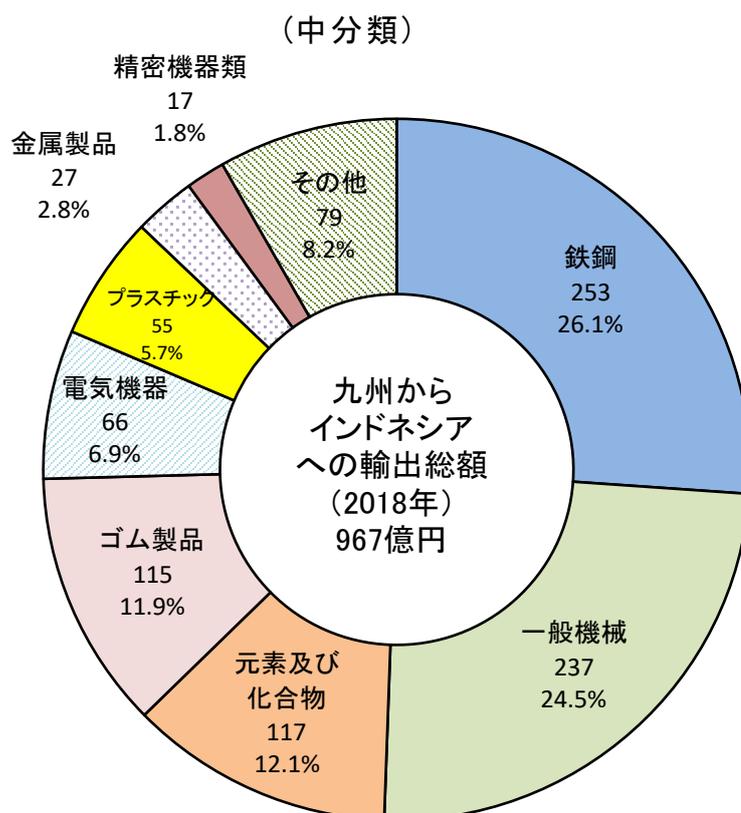
図表 2-11-2 九州の対インドネシア貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-11-3 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
原動機	一般機械	205	21.2%	236.8%	13.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	181	18.7%	1.7%	13.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	113	11.7%	▲7.1%	43.8%
有機化合物	元素及び化合物	78	8.1%	▲12.8%	22.6%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	60	6.2%	7.7%	15.8%
無機化合物	元素及び化合物	39	4.0%	15.6%	24.5%
半導体等電子部品	電気機器	28	2.9%	17.7%	10.4%
構造物及び同建設材	金属製品	22	2.3%	173.3%	58.5%
科学光学機器	精密機器類	17	1.8%	▲48.1%	10.3%
通信機	電気機器	12	1.3%	▲41.2%	18.6%
その他		211	21.8%	-	-
総 額		967	100.0%	11.6%	5.5%

寄与度 (増加分)：原動機 (+16.7%)、構造物及び同建設材 (+1.6%) 等

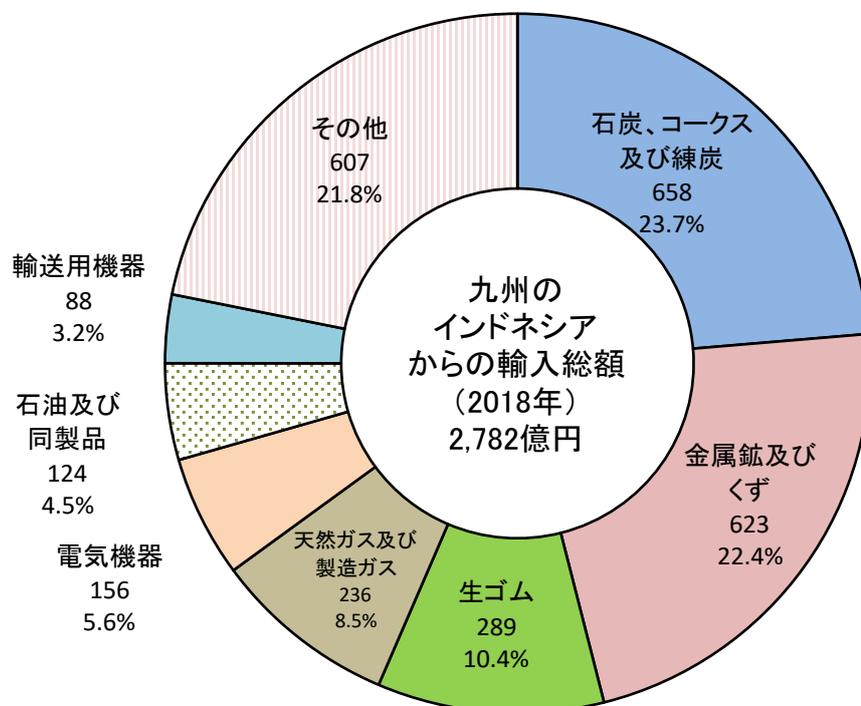
寄与度 (減少分)：自動車 (▲4.9%)、科学光学機器 (▲1.9%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-11-4 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	658	23.7%	34.0%	18.8%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	612	22.0%	120.6%	23.8%
天然ゴム	生ゴム	289	10.4%	▲17.4%	37.0%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	236	8.5%	▲46.3%	8.0%
原油及び粗油	石油及び同製品	124	4.5%	▲15.4%	18.2%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	108	3.9%	52.8%	10.4%
自動車の部分品	輸送用機器	83	3.0%	11.8%	25.1%
すず及び同合金	非鉄金属	65	2.3%	2.7%	20.3%
魚介類	業界類及び同調製品	57	2.0%	▲30.7%	11.0%
植物性油かす	飼料	55	2.0%	91.4%	50.5%
その他		495	17.8%	-	-
総 額		2,782	100.0%	9.4%	11.7%

寄与度 (増加分)：非鉄金属鉱 (+13.2%)、石炭 (+6.6%) 等

寄与度 (減少分)：石油ガス類 (▲8.0%)、天然ゴム (▲2.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

12. 九州とミャンマーの貿易

12-1. ミャンマーの経済概況

国名	ミャンマー連邦共和国
面積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首都	ネーピードー
人種	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政体	大統領制、共和制
主要産業	農業、天然ガス、製造業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-12-1 ミャンマー経済

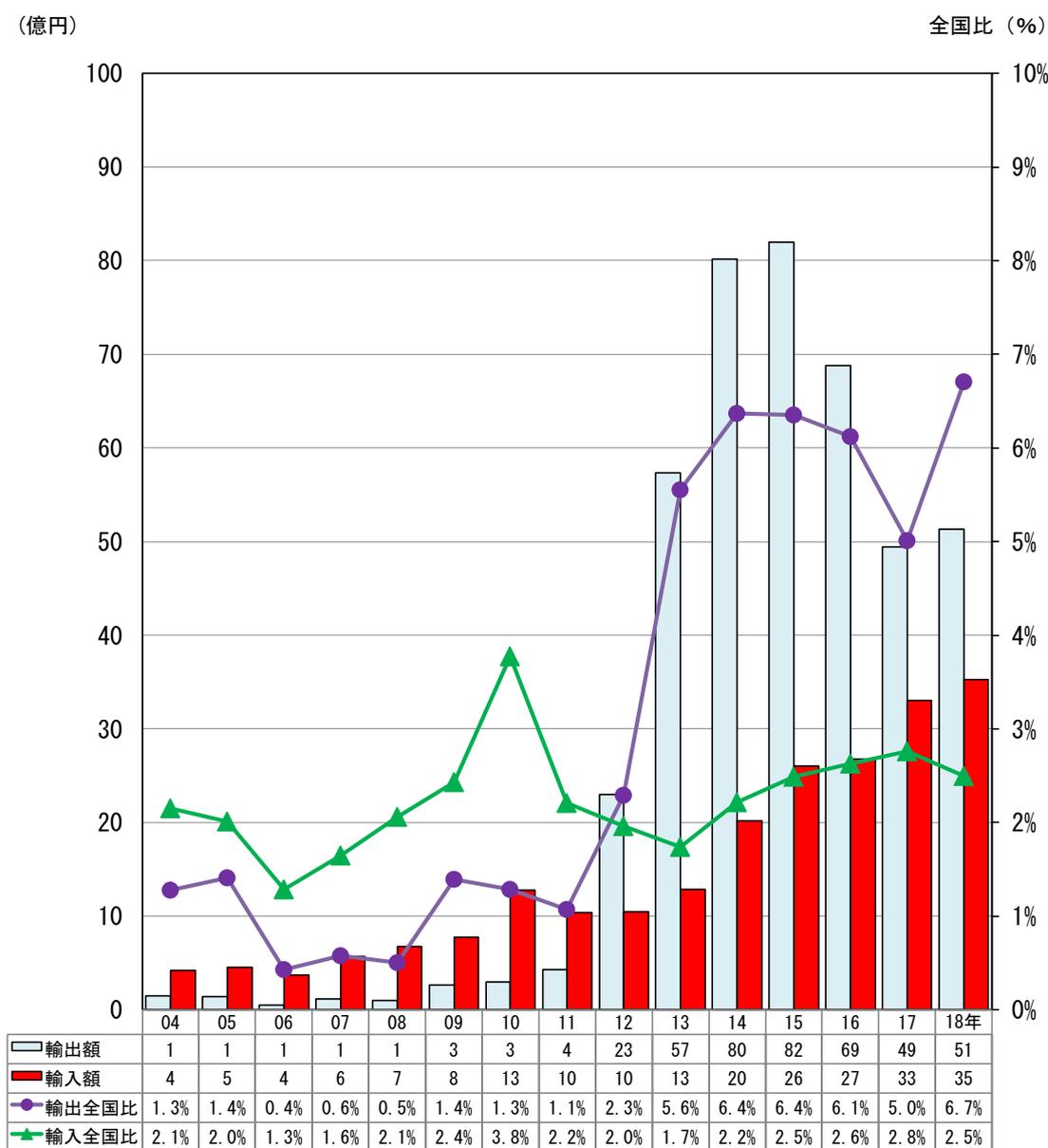
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	8.2	7.5	5.2	6.3	6.7
名目GDP総額	10億ドル	63.3	63.2	60.5	61.4	68.6
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,231	1,219	1,157	1,166	1,298
輸出額	億ドル	114.1	114.4	118.4	138.9	167.8
	前年比(%)	▲ 0.4	0.2	3.5	17.4	20.8
輸入額	億ドル	163.4	169.9	157.2	192.5	194.4
	前年比(%)	34.9	4.0	▲ 7.5	22.5	1.0
貿易収支	億ドル	▲ 49.3	▲ 55.6	▲ 38.8	▲ 53.6	▲ 26.6
対日貿易収支	億ドル	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 5.9	▲ 1.5	6.9
消費者物価上昇率	(%)	5.1	9.5	7.0	4.6	6.9
失業率	(%)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
直接投資受入額	億ドル	21.75	40.84	32.78	40.02	—
為替レート(1ドル)	チャット	984.35	1162.62	1234.87	1360.36	1429.81

出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

12-2. 九州とミャンマーの貿易動向

- 2012年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。
- 2018年の九州の対ミャンマー貿易額
 - 輸出総額： 51億円（前年比3.8%増） → 3年ぶりのプラス
 - 輸入総額： 35億円（前年比6.7%増） → 6年連続のプラス
 - 差引額： 16億円（前年から横ばい） → 7年連続の輸出超過
- 輸出品目（輸出額多い順）荷役機械、自動車、鉄鋼のフラットロール製品
 - 〈寄与度↑〉荷役機械（+45.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）
 - 〈寄与度↓〉自動車（▲45.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲2.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜
 - 〈寄与度↑〉衣類（+4.5%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（+1.4%）
 - 〈寄与度↓〉天然ゴム（▲1.4%）、野菜（▲1.0%）

図表 2-12-2 九州の対ミャンマー貿易額の推移

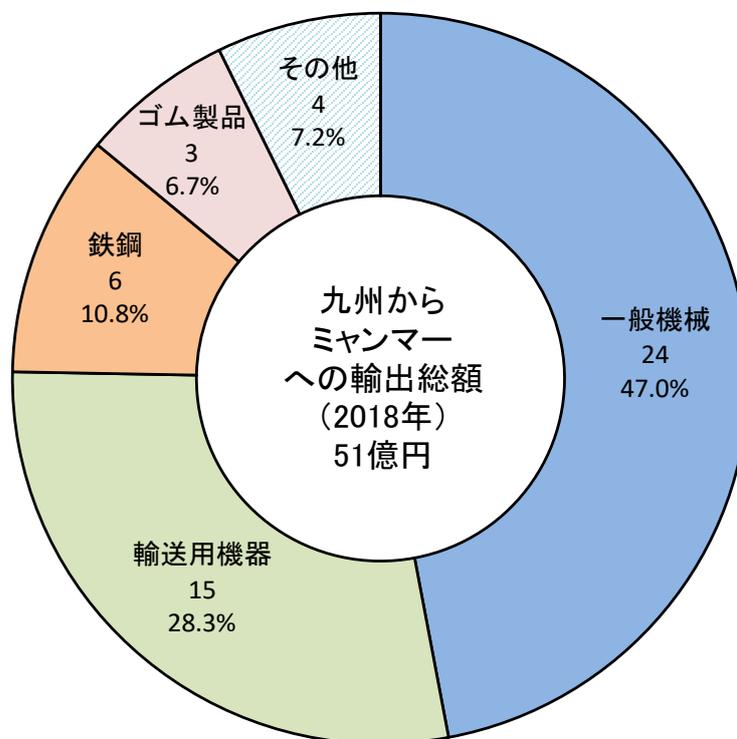


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-12-3 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
荷役機械	一般機械	23	44.1%	28175.8%	63.2%
自動車	輸送用機器	14	27.0%	▲62.0%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	6	10.8%	269.2%	28.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	3.4	6.7%	▲28.6%	48.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.9	1.7%	379.4%	3.3%
二輪自動車類	輸送用機器	0.6	1.2%	64.1%	6.0%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.5	1.0%	873.2%	7.3%
映像機器	電気機器	0.4	0.8%	43.6%	7.4%
有機化合物	元素及び化合物	0.4	0.7%	▲72.4%	26.6%
紙及び板紙	紙類及び同製品	0.3	0.6%	▲16.0%	2.1%
その他		3	5.4%	-	-
総 額		51	100.0%	3.8%	6.7%

寄与度 (増加分)：荷役機械 (+45.6%)、鉄鋼のフラットロール製品 (+8.1%) 等

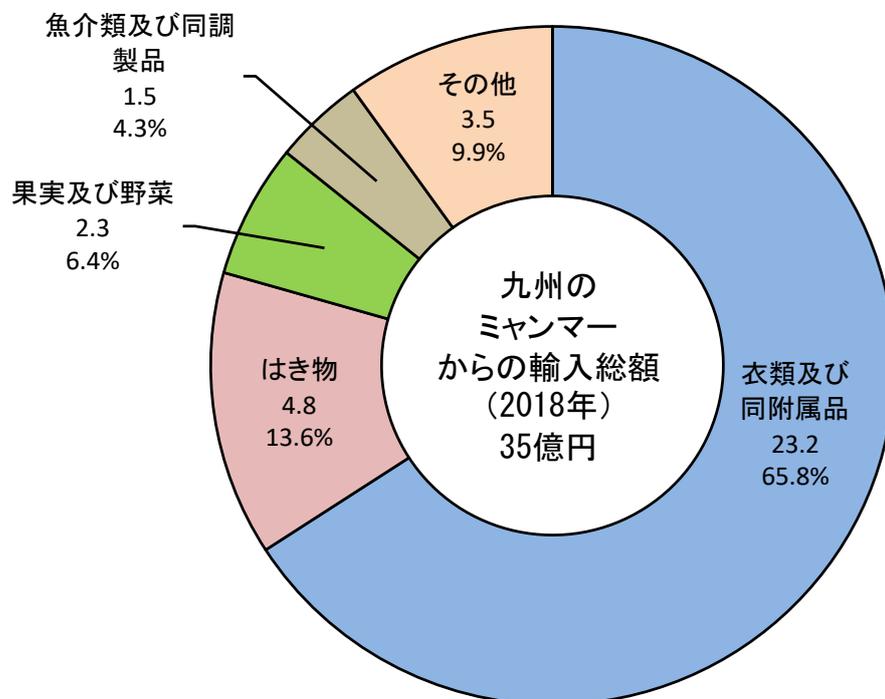
寄与度 (減少分)：自動車 (▲45.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ (▲2.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-4 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
衣類	衣類及び同附属品	19.6	55.5%	8.2%	2.5%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	3.7	10.4%	0.5%	1.7%
野菜	果実及び野菜	2.3	6.4%	▲12.7%	6.7%
魚介類	魚介類及び同調製品	1.2	3.5%	39.0%	2.3%
その他		8.5	24.2%	-	-
総 額		35	100%	6.7%	2.5%

寄与度 (増加分)：衣類 (+4.5%)、魚介類の粉、ミール及びペレット (+1.4%) 等

寄与度 (減少分)：天然ゴム (▲1.4%)、野菜 (▲1.0%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

13. 九州とインドの貿易

13-1. インドの経済概況

国名	インド
面積	328万7,469km ² (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人口	12億1,057万人(2011年国勢調査) 人口増加率17.68%(2011年国勢調査)
首都	ニューデリー
人種	インド・アリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-13-1 インドのマクロ経済

	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
実質GDP成長率	前年比(%)	6.4	7.4	8.0	8.2	7.2
名目GDP総額	10億ドル	1,857	2,039	2,102	2,274	2,602
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,486	1,610	1,639	1,749	1,976
輸出額	億ドル	3,144	3,104	2,623	2,759	3,034
	前年比(%)	4.7	▲ 1.3	▲ 15.5	5.2	10.0
輸入額	億ドル	4,502	4,480	3,810	3,844	4,647
	前年比(%)	▲ 8.3	▲ 0.5	▲ 15.0	0.9	20.9
貿易収支	億ドル	▲ 1,358	▲ 1,377	▲ 1,187	▲ 1,085	▲ 1,613
対日貿易収支	億ドル	▲ 27	▲ 47	▲ 52	▲ 59	▲ 62 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.3	4.0	3.3	4.6	4.4
失業率	(%)	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6 *
消費者物価指数(全国)	前年比(%)	9.4	5.8	4.9	4.5	3.6
直接投資受入額	億ドル	308	353	449	422	394 *
為替レート(1ドル)	ルピー	58.60	61.03	64.15	67.20	65.12
為替レート(1ルピー)	円	1.67	1.74	1.89	1.62	1.72

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

13-2. 九州とインドの貿易動向

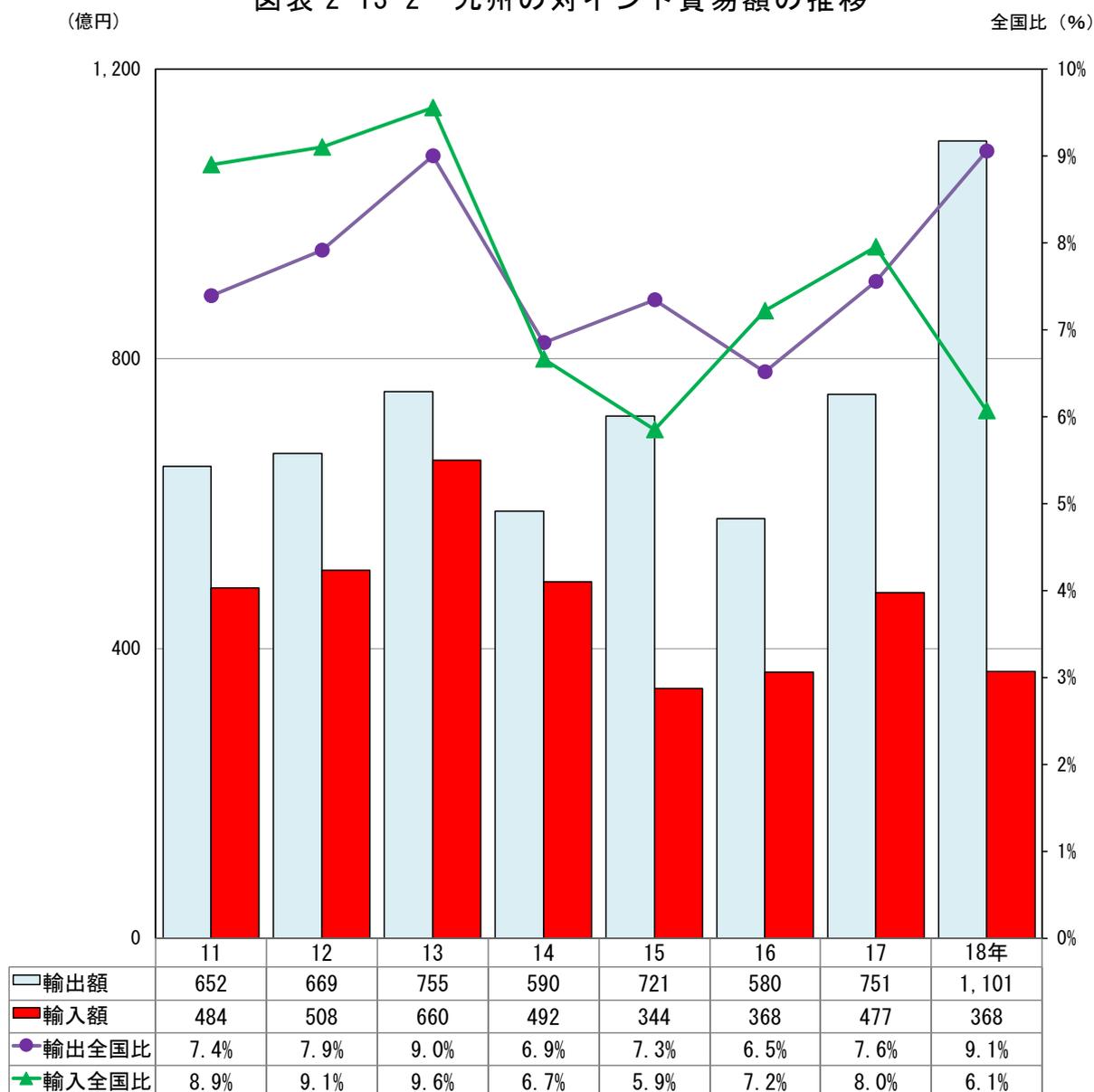
● 2018年の九州の対インド貿易額

輸出総額：1,101億円（前年比46.6%増） → 2年連続のプラス
 輸入総額：368億円（前年比22.8%減） → 3年ぶりのマイナス
 差引額：732億円（前年比+459億円） → 前年比59.5%増、過去最大

● 輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、銅及び同合金、コークス
 〈寄与度↑〉銅及び同合金（+22.8%）、石油製品（+9.8%）
 〈寄与度↓〉コークス（▲3.3%）、加熱用・冷却用機器（▲1.1%）

● 輸入品目（輸入額多い順）石油製品、植物性油かす、魚介類
 〈寄与度↑〉アルミニウム及び同合金（+2.3%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（+1.0%）
 〈寄与度↓〉石油製品（▲23.1%）、植物性油かす（▲4.3%）

図表 2-13-2 九州の対インド貿易額の推移

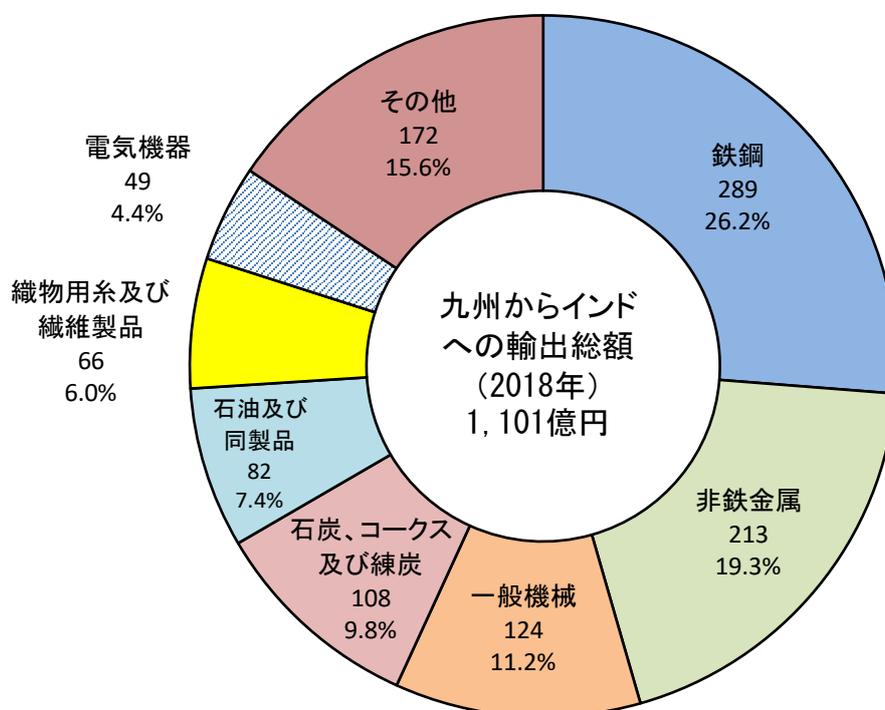


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-3 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	225	20.4%	19.7%	22.1%
銅及び同合金	非鉄金属	210	19.1%	439.7%	41.9%
コークス	石炭、コークス及び練炭	108	9.8%	▲18.8%	76.7%
石油製品	石油及び同製品	82	7.4%	928.8%	57.2%
織物用系	織物用系及び繊維製品	62	5.6%	3.9%	77.3%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	55	5.0%	141.9%	72.1%
原動機	一般機械	46	4.1%	▲13.4%	9.8%
有機化合物	元素及び化合物	37	3.3%	2.7%	8.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	28	2.6%	39.0%	65.0%
金属加工機械	一般機械	28	2.6%	63.9%	3.9%
その他		221	20.1%	-	-
総 額		1,101	100.0%	46.6%	9.1%

寄与度 (増加分) : 銅及び同合金 (+22.8%)、石油製品 (+9.8%) 等

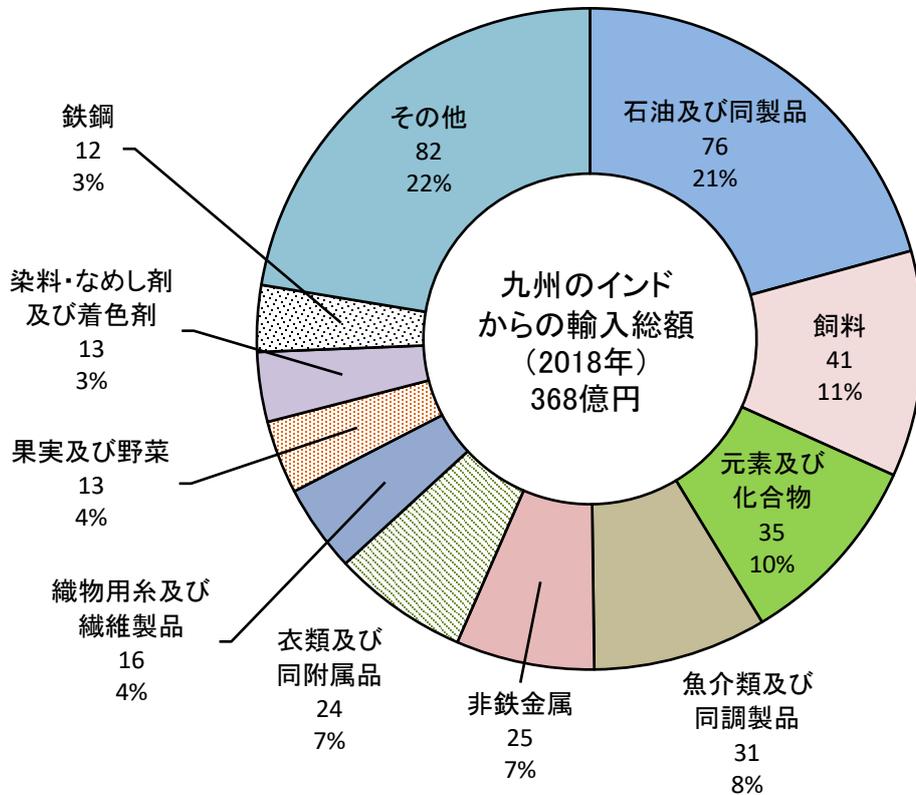
寄与度 (減少分) : コークス (▲3.3%)、加熱用・冷却用機器 (▲1.1%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-4 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石油製品	石油及び同製品	76	20.7%	▲59.1%	8.2%
植物性油かす	飼料	33	9.1%	▲38.1%	46.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	31	8.4%	▲3.5%	6.6%
有機化合物	元素及び化合物	27	7.3%	13.4%	3.7%
衣類	衣類及び同附属品	23	6.1%	13.1%	10.6%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	13	3.6%	490.3%	5.8%
果実	果実及び野菜	13	3.5%	20.5%	12.3%
有機合成染料及びレーキ顔料	染料・なめし剤及び着色剤	12	3.3%	63.1%	14.0%
合金鉄	鉄鋼	12	3.2%	▲9.3%	4.3%
綿花	織物用繊維及びくず	11	2.9%	19.7%	63.8%
その他		117	31.8%	-	-
総 額		368	100.0%	▲22.8%	6.1%

寄与度 (増加分) : アルミニウム及び同合金 (+2.3%)、

魚介類の粉、ミール及びペレット (+1.0%) 等

寄与度 (減少分) : 石油製品 (▲23.1%)、植物性油かす (▲4.3%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

14 九州とEUの貿易

14-1. EUの概況

名 称	欧州連合 (European Union)
設 立	1993年11月
体 制	欧州理事会: 常任議長 ドナルド・トゥスク(Donald Tusk) 前ポーランド首相 EU理事会: 半年交替の輪番制議長国閣僚(2019年前半ルーマニア、2019年後半フィンランド)
加 盟 国	28ヶ国: フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、英国、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア(但し、英国については、2016年6月の国民投票の結果を受け、離脱に向けて交渉中)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

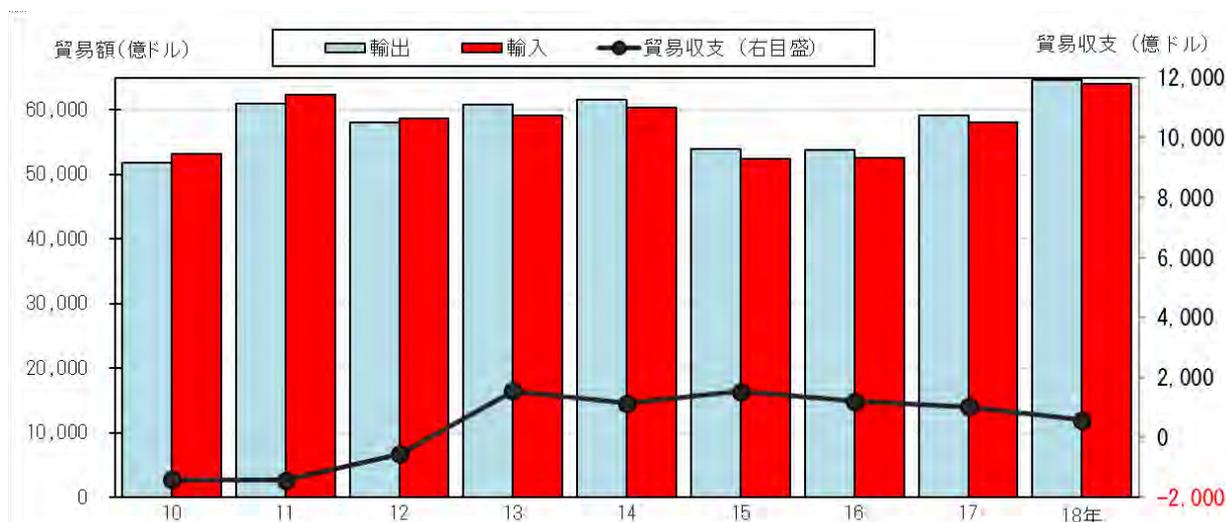
図表 2-14-1 世界の地域経済圏との比較（2018年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,431	29,502	4,509	28,749
欧州連合 (EU)	28か国	51,193	187,085	36,545	128,785
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,824	235,320	47,230	61,267
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,830	26,897	9,017	6,404

出所：UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考：NAFTA加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）、MERCOSUR加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表 2-14-2 EUの対外貿易額の推移



出所：UNCTADstat より、九州経済産業局作成。

14-2. 九州とEUの貿易動向

● 2018年の九州の対EU貿易額

輸出総額：5,160億円（前年比12.2%減） → 5年ぶりのマイナス

輸入総額：1,788億円（前年比12.3%増） → 2年連続のプラス

差引額：3,372億円（前年比▲912億円）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、二輪自動車類、船舶類、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉二輪自動車類品（+2.6%）、映像機器（+2.1%）

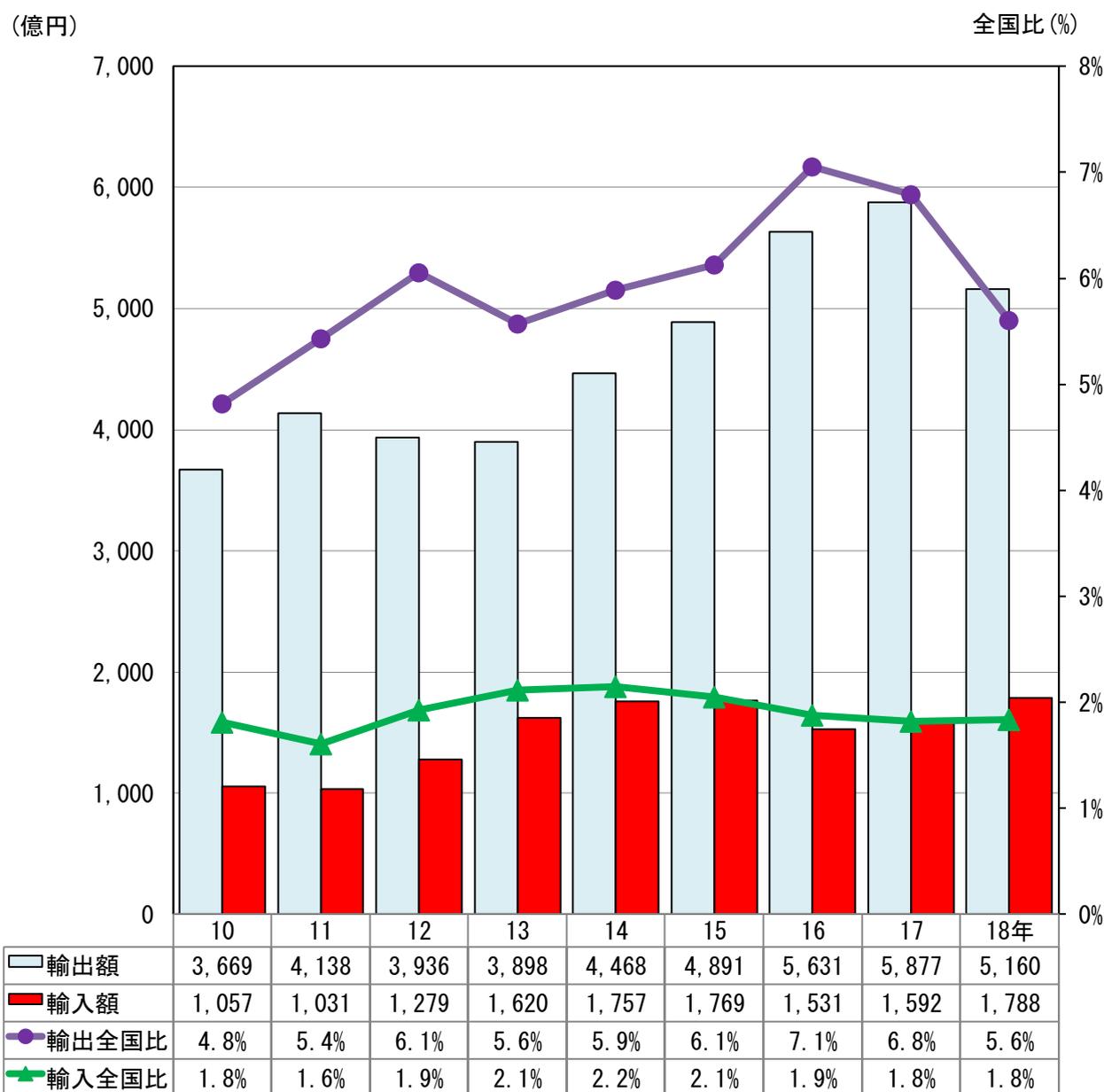
〈寄与度↓〉自動車（▲15.6%）、船舶類（▲6.8%）

● 輸入品目（輸入額多い順）航空機類、原動機、自動車の部分品、銅及び同合金

〈寄与度↑〉航空機類（+10.3%）、銅及び同合金（+4.6%）

〈寄与度↓〉原動機（▲8.8%）、電気計測機器（▲2.5%）

図表 2-14-3 九州の対EU貿易額の推移

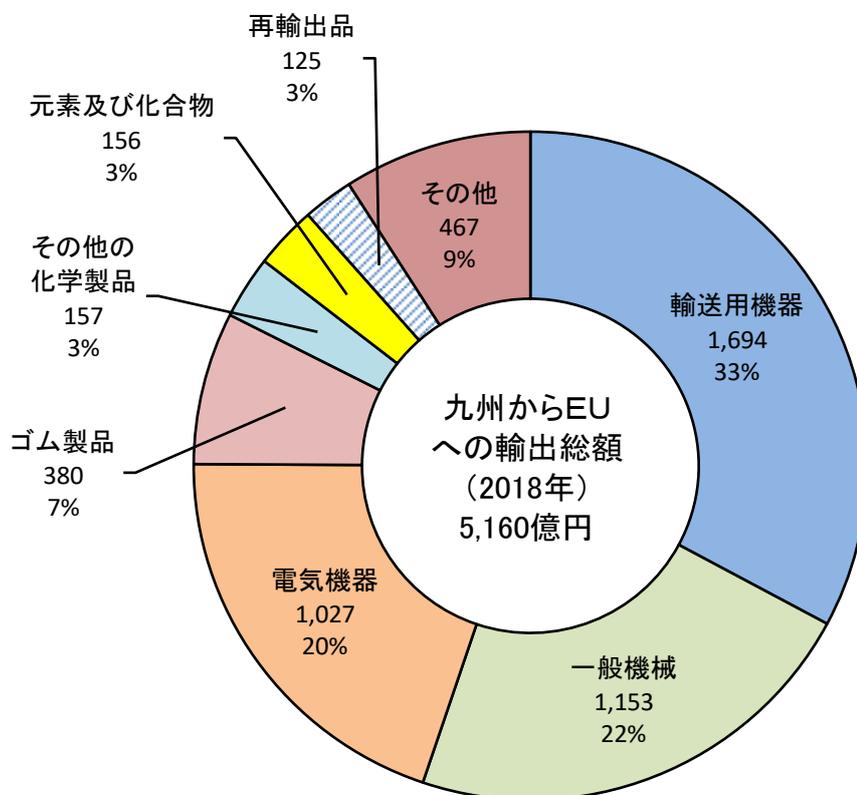


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-4 九州から EU への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



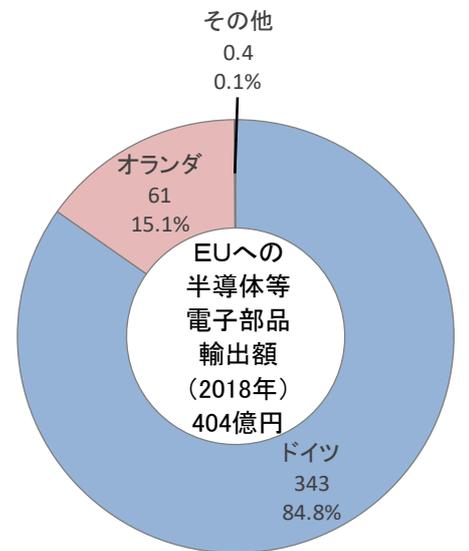
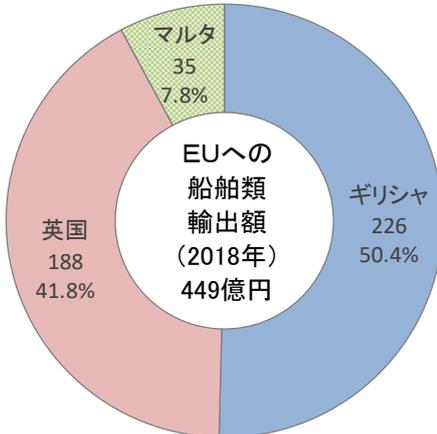
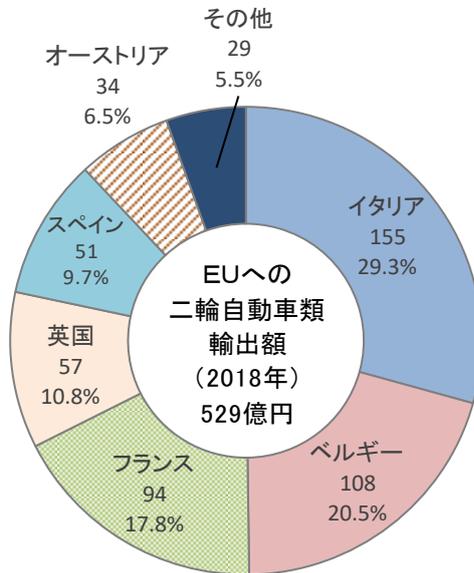
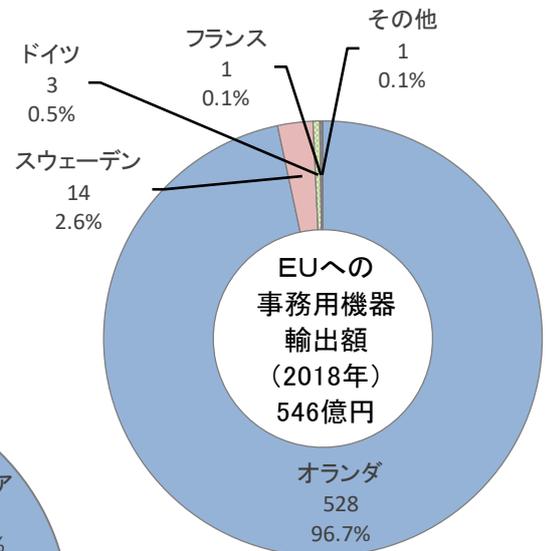
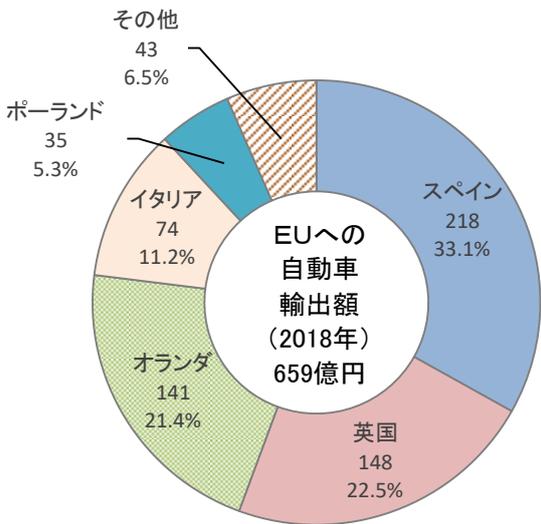
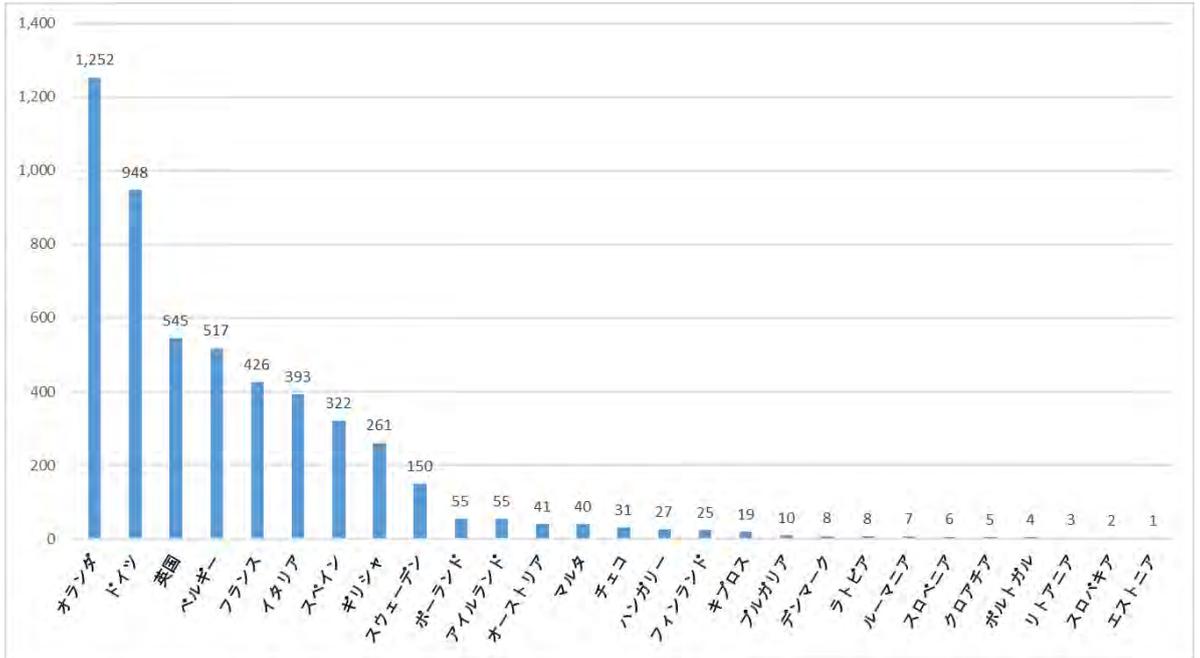
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	659	12.8%	▲58.1%	4.8%
事務用機器	一般機械	546	10.6%	9.5%	14.4%
二輪自動車類	輸送用機器	529	10.2%	41.1%	30.8%
船舶類	輸送用機器	449	8.7%	▲47.1%	33.4%
半導体等電子部品	電気機器	404	7.8%	▲5.7%	20.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	369	7.1%	20.6%	46.5%
映像機器	電気機器	313	6.1%	64.9%	35.7%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	193	3.7%	33.2%	8.8%
自動車用等の電気機器	電気機器	147	2.9%	—	10.9%
有機化合物	元素及び化合物	117	2.3%	▲2.8%	4.5%
その他		1,433	27.8%	—	—
総計		5,160	100.0%	▲12.2%	5.6%

寄与度 (増加分)：二輪自動車類 (+2.6%)、映像機器 (+2.1%) 等

寄与度 (減少分)：自動車 (▲15.6%)、船舶類 (▲6.8%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

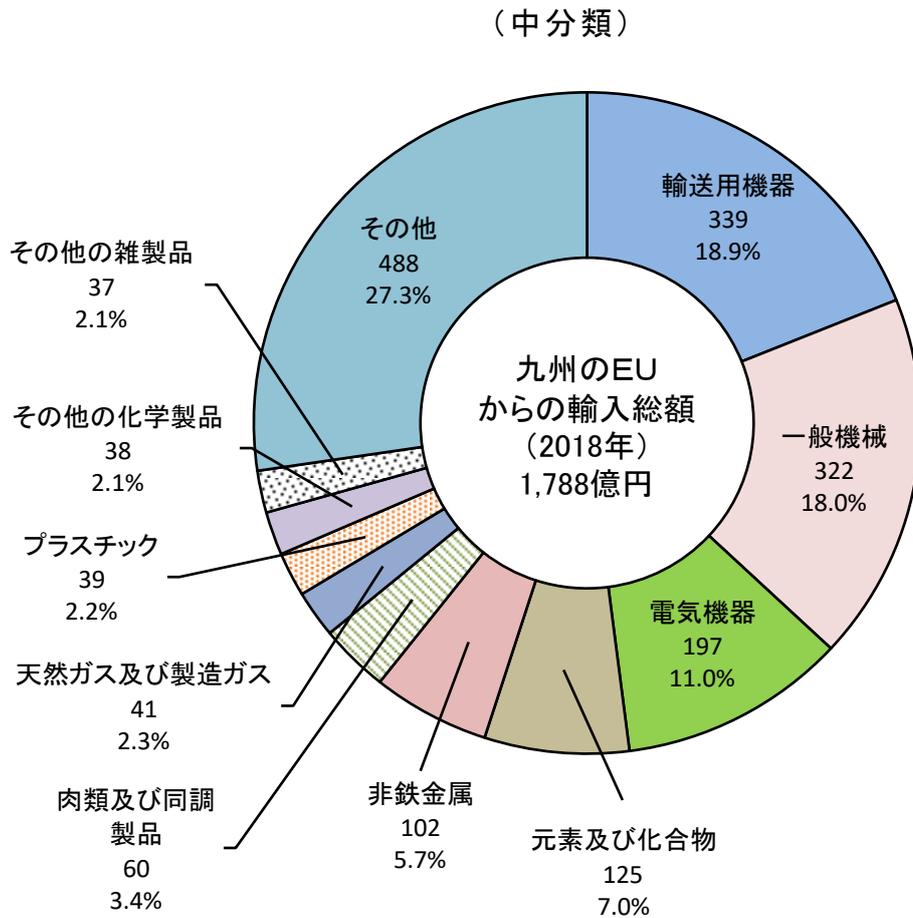
図表 2-14-5 九州から EU への国別輸出額



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-6 九州の EU からの輸入品目

(単位：億円、%)



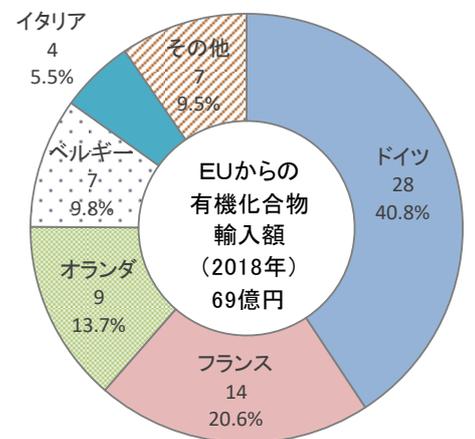
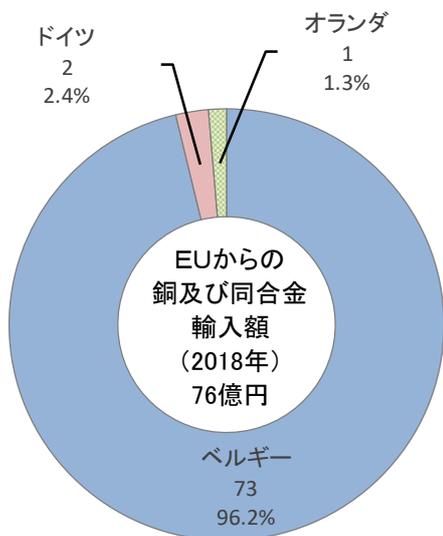
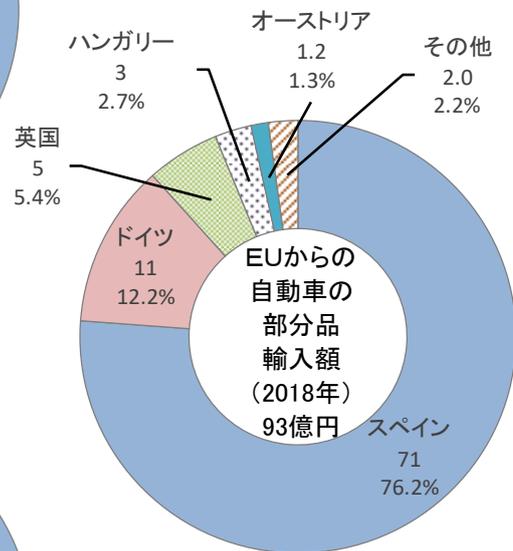
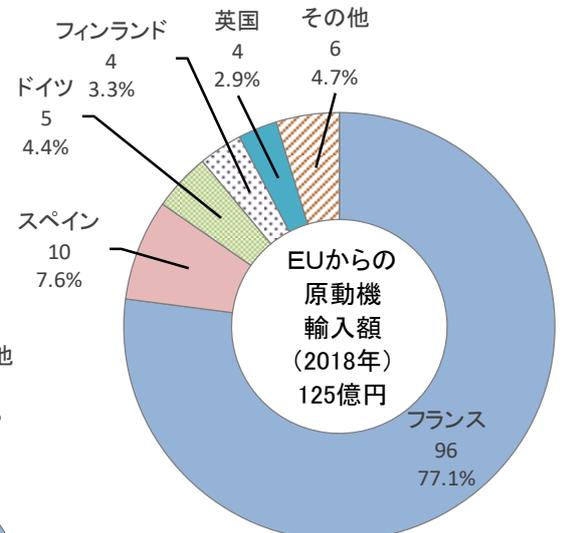
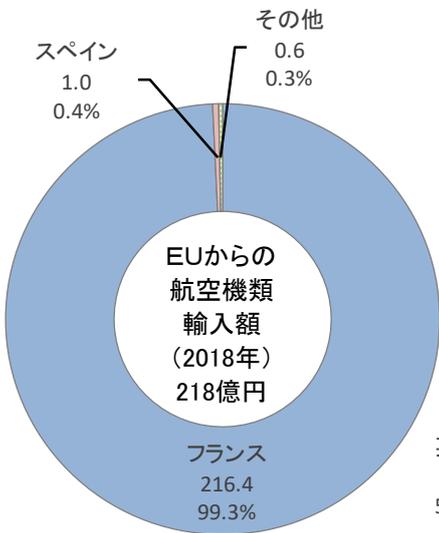
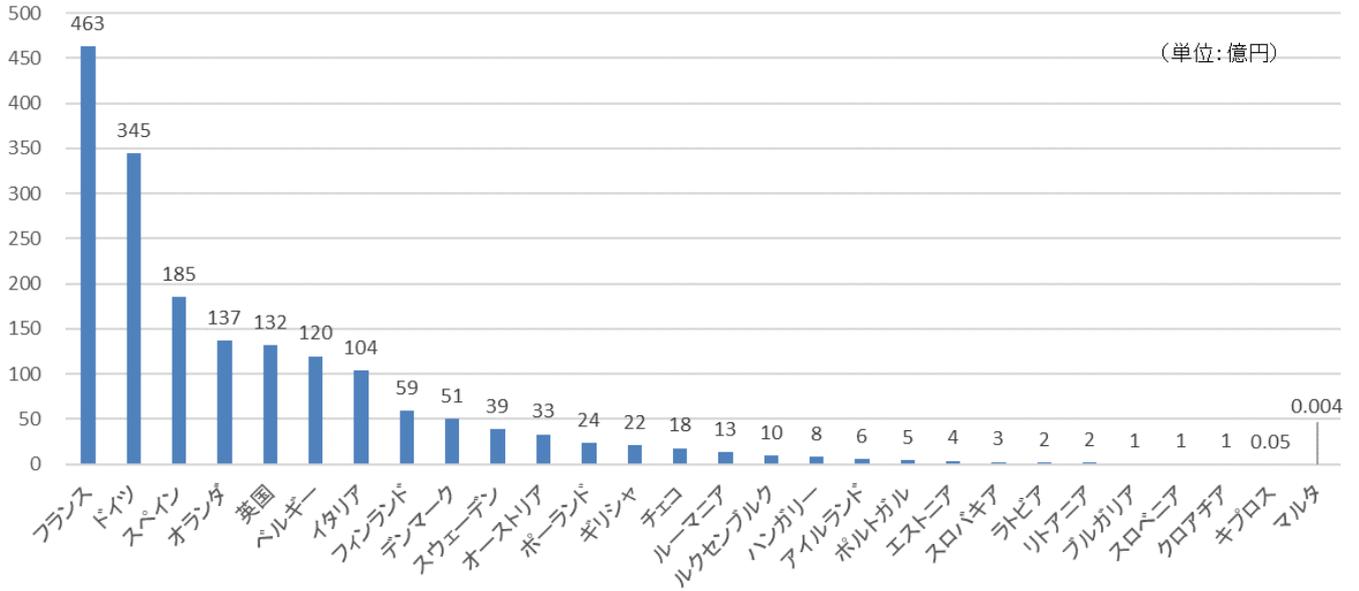
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
航空機類	輸送用機器	218	12.2%	304.8%	12.4%
原動機	一般機械	125	7.0%	▲52.8%	1.8%
自動車の部分品	輸送用機器	93	5.2%	13.1%	6.1%
銅及び同合金	非鉄金属	76	4.2%	3297.9%	58.0%
有機化合物	元素及び化合物	69	3.9%	19.7%	1.4%
電気計測機器	電気機器	61	3.4%	▲39.2%	2.9%
無機化合物	元素及び化合物	56	3.1%	25.0%	7.1%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	54	3.0%	1.3%	1.6%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	41	2.3%	-	8.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	40	2.3%	▲7.0%	2.3%
その他		955	53.4%	-	-
総 額		1,788	100%	12.3%	1.8%

寄与度 (増加分)：航空機類 (+10.3%)、銅及び同合金 (+4.6%) 等

寄与度 (減少分)：原動機 (▲8.8%)、電気計測機器 (▲2.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-7 九州の EU からの国別輸入額



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

14-3. 九州と英国の貿易動向

● 2018年の九州の対英国貿易額

輸出総額：545億円（前年比38.6%減） → 6年ぶりのマイナス

輸入総額：132億円（前年比4.1%減） → 3年連続のマイナス

差引額：413億円（前年比34.0%減）

● 輸出品目（輸出額多い順）船舶類、自動車、二輪自動車類

〈寄与度↑〉船舶類（+8.7%）、二輪自動車類（+2.1%）

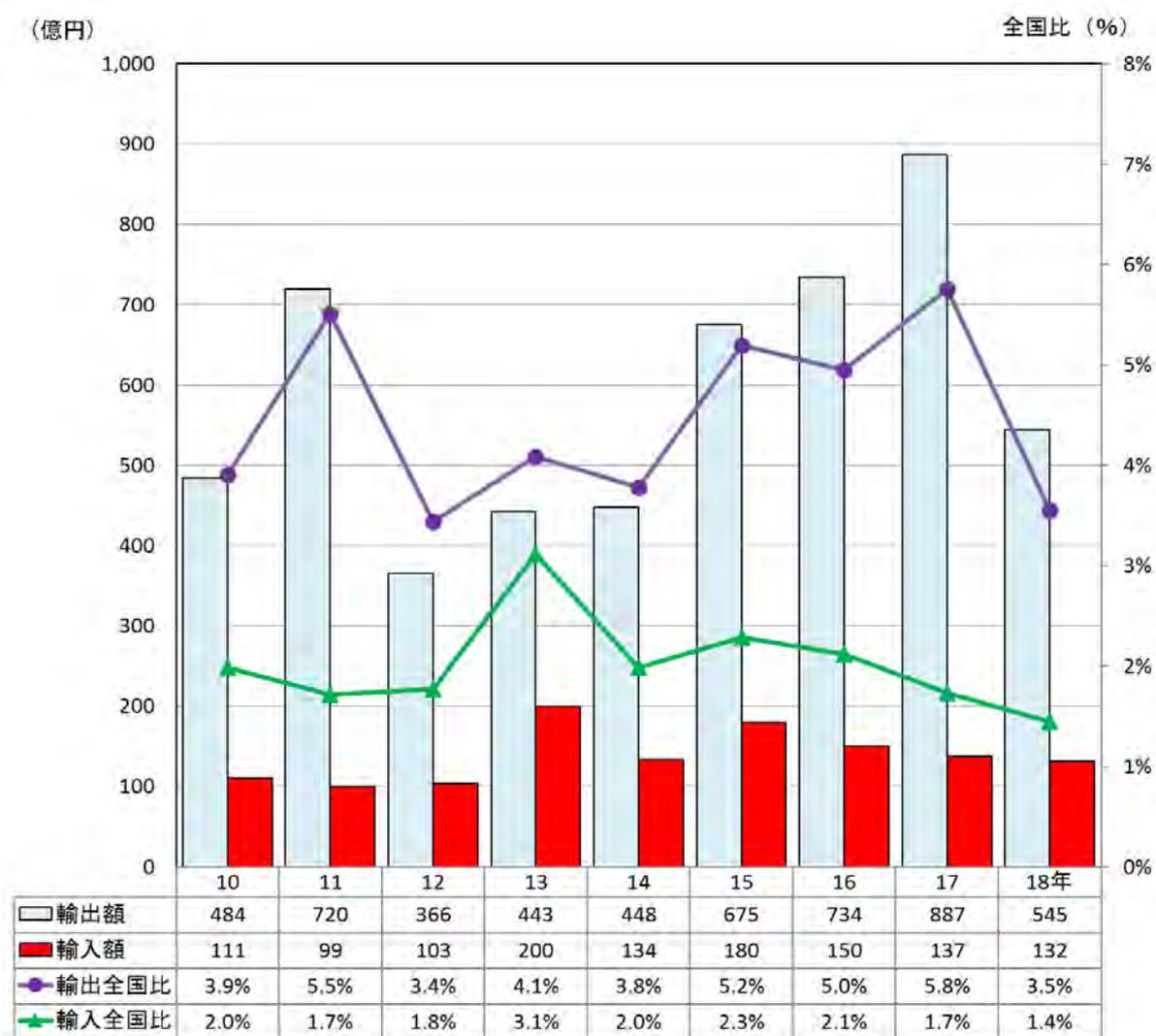
〈寄与度↓〉自動車（▲51.6%）、無機化合物（▲0.2%）

● 輸入品目（輸入額多い順）自動車、電気計測機器、音響・映像機器（含部品）

〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+5.4%）、自動車（+4.7%）

〈寄与度↓〉電気計測機器（▲18.3%）、自動車の部分品（▲3.4%）

図表 2-14-8 九州の対英国貿易額の推移

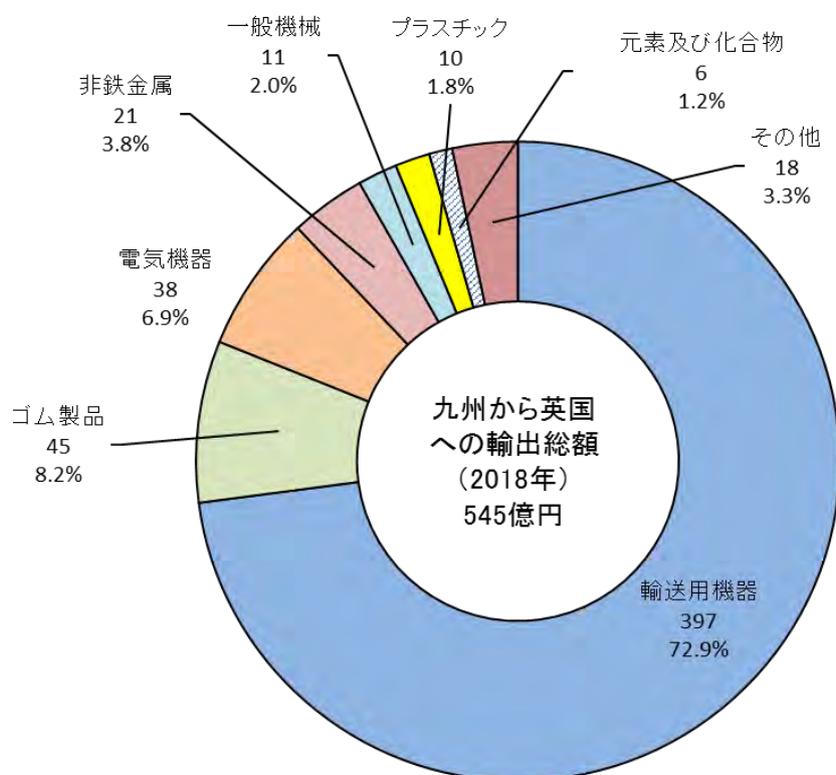


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-9 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
船舶類	輸送用機器	188	34.5%	70.3%	87.5%
自動車	輸送用機器	148	27.2%	▲75.5%	5.8%
二輪自動車類	輸送用機器	57	10.5%	49.3%	63.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	44	8.1%	18.1%	46.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	21	3.8%	9.8%	8.7%
チタン及び同合金	非鉄金属	18	3.4%	1.3%	49.3%
電気回路等の機器	電気機器	7	1.2%	265.6%	2.9%
有機化合物	元素及び化合物	6	1.1%	87.6%	2.2%
鉄道用車両	輸送用機器	4	0.7%	▲26.3%	0.4%
加熱用・冷却用機器	一般機械	4	0.7%	46.5%	2.1%
その他		49	9.0%	-	-
総計		545	100%	▲38.6%	3.5%

寄与度 (増加分)：船舶類 (+8.7%)、二輪自動車類 (+2.1%) 等

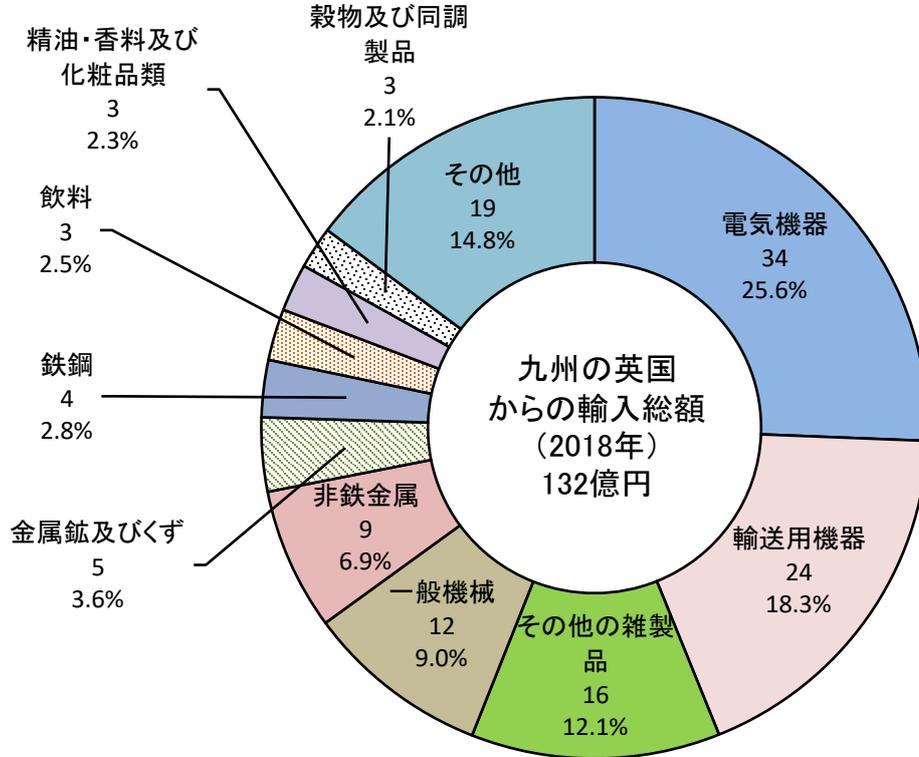
寄与度 (減少分)：自動車 (▲51.6%)、無機化合物 (▲0.2%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-10 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	16	12.4%	65.7%	1.0%
電気計測機器	電気機器	13	9.9%	▲65.8%	4.2%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	10	7.2%	339.6%	11.5%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	8	6.1%	▲21.2%	9.6%
自動車の部分品	輸送用機器	5	3.8%	▲48.0%	6.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	4	3.0%	269.8%	17.1%
原動機	一般機械	4	2.8%	▲25.6%	0.3%
美術品・収集品及びこつとう	その他の雑製品	4	2.8%	19685.2%	8.4%
合金鉄	鉄鋼	4	2.7%	49.4%	22.9%
アルコール飲料	飲料	3	2.5%	▲10.5%	1.0%
その他		62	46.8%	-	-
総 額		132	100%	▲4.1%	1.4%

寄与度 (増加分) : 音響・映像機器 (含部品) (+5.4%)、自動車 (+4.7%) 等

寄与度 (減少分) : 電気計測機器 (▲18.3%)、自動車の部分品 (▲3.4%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

15. 九州と米国の貿易

15-1. 米国の経済概況

国名	アメリカ合衆国
面積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万24平方マイル)
人口	3億875万人(2010年4月 米国国勢局)
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語(法律上の定めはない)
宗教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-15-1 米国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.5	2.9	1.6	2.2	2.9
名目GDP総額	10億ドル	17,522	18,219	18,707	19,485	20,501
一人当たりGDP(名目)	ドル	54,952	56,718	57,815	59,792	—
輸出額	億ドル	23,767	22,667	22,158	23,511	25,000
	前年比(%)	3.6	▲ 4.6	▲ 2.2	6.1	6.3
輸入額	億ドル	28,662	27,652	27,178	29,033	31,210
	前年比(%)	4.0	▲ 3.5	▲ 1.7	6.8	7.5
貿易収支	億ドル	▲ 4,896	▲ 4,985	▲ 5,020	▲ 5,523	▲ 6,210
対日貿易収支	億ドル	▲ 676	▲ 691	▲ 688	▲ 689	▲ 676
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.1	▲ 1.0	▲ 1.9	1.6	4.0
失業率	(%)	6.2	5.3	4.9	4.4	3.9
消費者物価	前年比(%)	1.6	0.1	1.3	2.1	2.4
直接投資受入額	億ドル	2,017	4,676	4,718	2,773	2,536*
為替レート(1ドル)	円	105.94	121.04	108.79	112.17	110.42

出所：内閣府「海外経済データ 一月次アップデート」（平成31年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）から九州経済産業局作成。

15-2. 九州と米国の貿易動向

● 2018年の九州の対米貿易額

輸出総額：9,405億円（前年比15.7%減） → 3年ぶりのマイナス

輸入総額：4,477億円（前年比34.6%増） → 2年連続のプラス

差引額：4,928億円（前年比▲2,902億円）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉映像機器（+1.1%）、二輪自動車類（+1.0%）

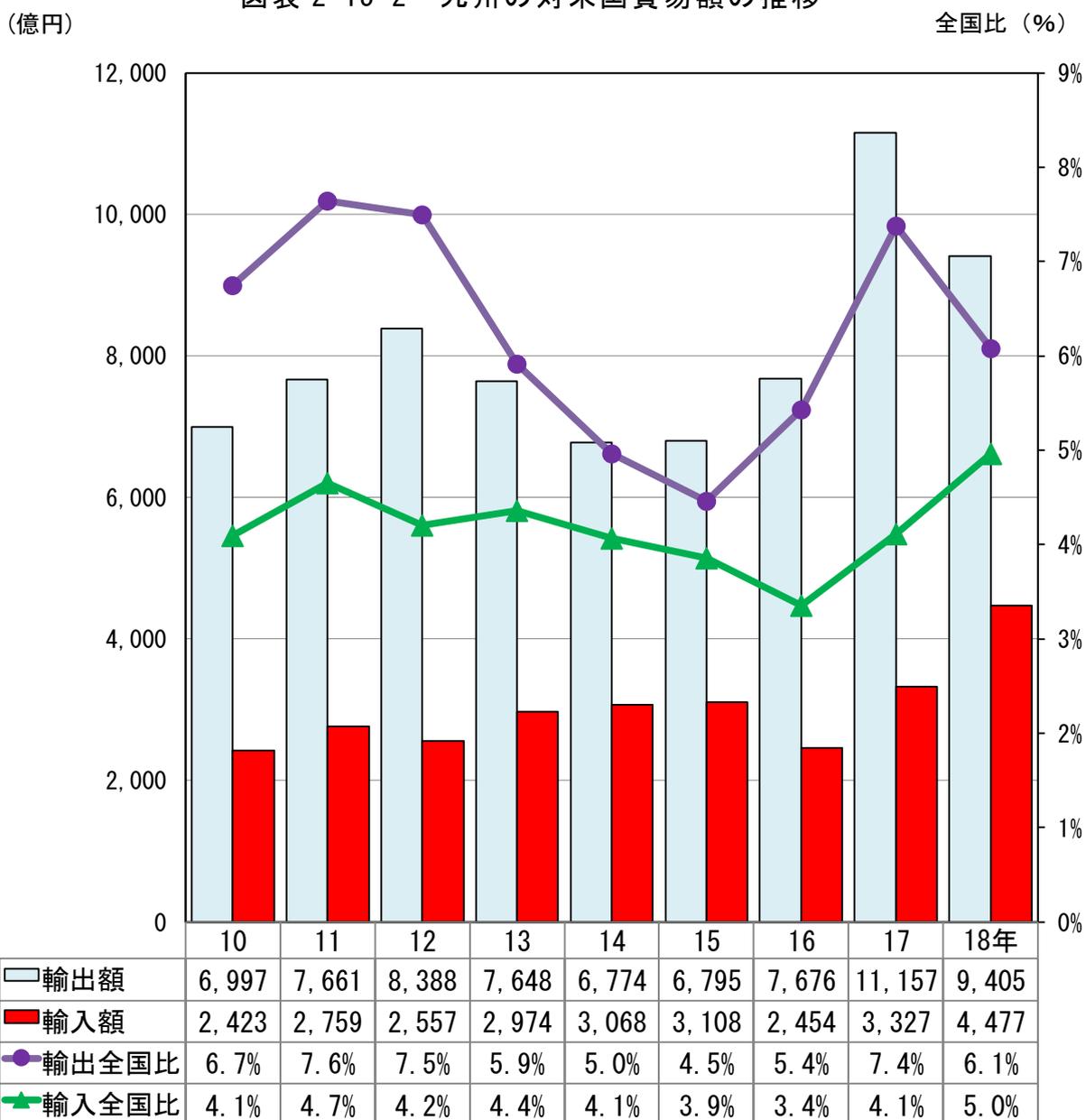
〈寄与度↓〉自動車（▲16.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.0%）

● 輸入品目（輸入額多い順）とうもろこし、原油及び粗油、石油ガス類

〈寄与度↑〉原油及び粗油（+15.0%）、とうもろこし（+6.0%）

〈寄与度↓〉米（▲1.0%）、電気計測機器（▲0.5%）

図表 2-15-2 九州の対米貿易額の推移

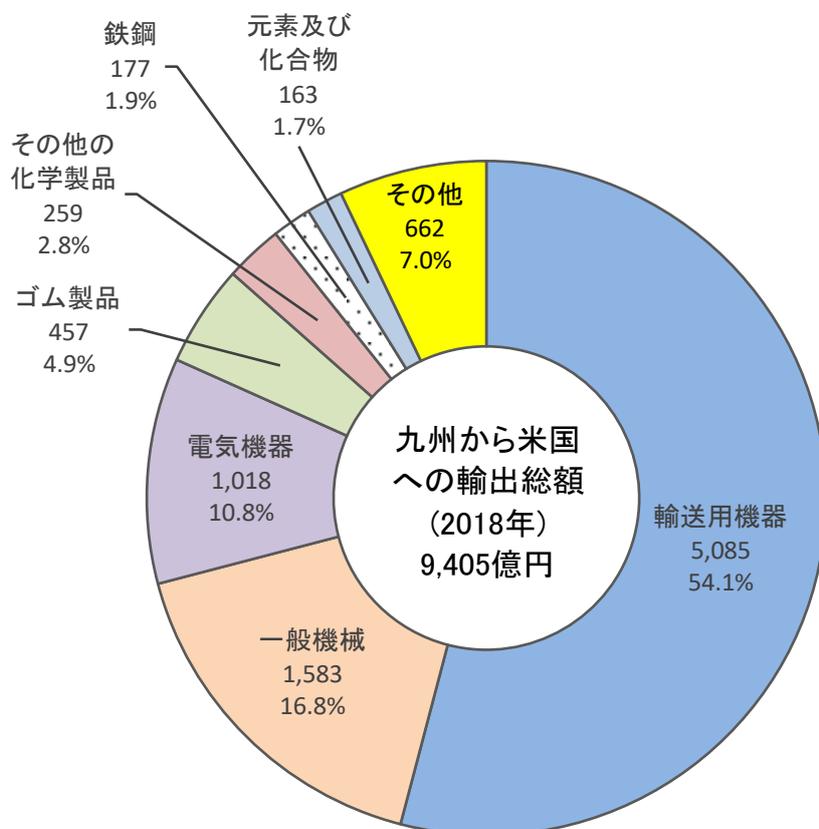


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-3 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	4,508	47.9%	▲29.2%	10.0%
事務用機器	一般機械	570	6.1%	7.6%	15.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	412	4.4%	11.6%	32.6%
原動機	一般機械	403	4.3%	13.0%	4.4%
二輪自動車類	輸送用機器	374	4.0%	41.0%	36.4%
映像機器	電気機器	361	3.8%	50.4%	26.2%
半導体等電子部品	電気機器	250	2.7%	▲14.3%	10.7%
自動車の部分品	輸送用機器	203	2.2%	▲23.6%	2.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	139	1.5%	▲21.7%	7.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	135	1.4%	9.4%	3.4%
その他		2,052	21.8%	-	-
総 額		9,405	100%	-15.7%	6.1%

寄与度 (増加分)：映像機器 (+1.1%)、二輪自動車類 (+1.0%) 等

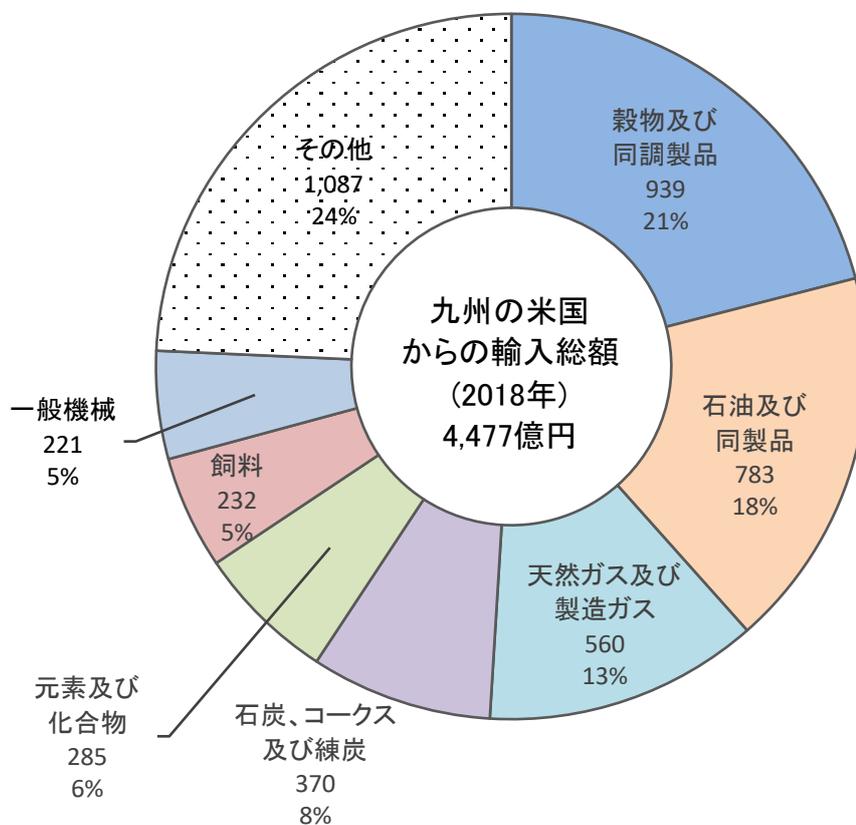
寄与度 (減少分)：自動車 (▲16.7%)、鉄鋼のフラットロール製品 (▲1.0%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-4 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	777	17.4%	34.4%	22.7%
原油及び粗油	石油及び同製品	630	14.1%	387.6%	39.7%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	560	12.5%	36.0%	9.6%
石炭	石炭、コークス及び練炭	370	8.3%	72.5%	18.9%
石油製品	石油及び同製品	153	3.4%	▲8.0%	11.8%
有機化合物	元素及び化合物	143	3.2%	18.5%	4.4%
無機化合物	元素及び化合物	142	3.2%	57.5%	8.8%
原動機	一般機械	137	3.0%	43.4%	1.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	136	3.0%	8.6%	9.0%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	110	2.5%	12.6%	12.6%
その他		1,321	29.5%	-	-
総額		4,477	100%	34.6%	5.0%

寄与度 (増加分) : 原油及び粗油 (+15.0%)、とうもろこし (+6.0%) 等

寄与度 (減少分) : 米 (▲1.0%)、電気計測機器 (▲0.5%) 等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

16. 九州とオーストラリアの貿易

16-1. オーストラリアの経済概況

国名	オーストラリア連邦
面積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,460万人(2017年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
人種	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.2%、第二次産業26.9%、第三次産業70.9% 農林水産業(2.2%)、鉱業(9.5%)、製造業(6.3%)、建設業(8.3%)、卸売・小売業(9.1%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(6.2%)など(2015-16年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-16-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.6	2.5	2.8	2.4	2.7
名目GDP総額	10億ドル	1,455	1,233	1,265	1,380	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	61,547	51,404	51,861	55,693	—
輸出額	億ドル	2,404	1,880	1,926	2,315	2,579
	前年比(%)	1.2	▲ 6.2	3.5	16.6	14.3
輸入額	億ドル	2,383	2,073	1,985	2,209	2,380
	前年比(%)	3.3	4.3	▲ 3.2	7.9	10.5
貿易収支	億ドル	21	▲ 193	▲ 59	106	200
対日貿易収支	億ドル	268	143	79	164	—*
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.4	1.6	1.9	1.0	3.7
失業率	(%)	6.1	6.1	5.7	5.6	5.3
消費者物価上昇率	前年比(%)	2.5	1.5	1.3	1.9	1.9
直接投資受入額	億ドル	460	374	400	451	—*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.11	1.33	1.35	1.30	1.34
為替レート(1豪ドル)	円	95.47	91.07	80.85	86.00	82.57

備考：貿易額については、表記載の為替レートで米ドルに換算

出所：内閣府「海外経済データ月次アップデートー」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

16-2. 九州とオーストラリアの貿易動向

● 2018年の九州の対オーストラリア貿易額

輸出総額： 1,084億円（前年比8.5%増） → 2年連続のプラス

輸入総額： 6,500億円（前年比11.0%増） → 2年連続のプラス

差引額： ▲5,417億円（前年比▲561億円）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、映像機器

〈寄与度↑〉自動車（+6.4%）、映像機器（+3.0%）

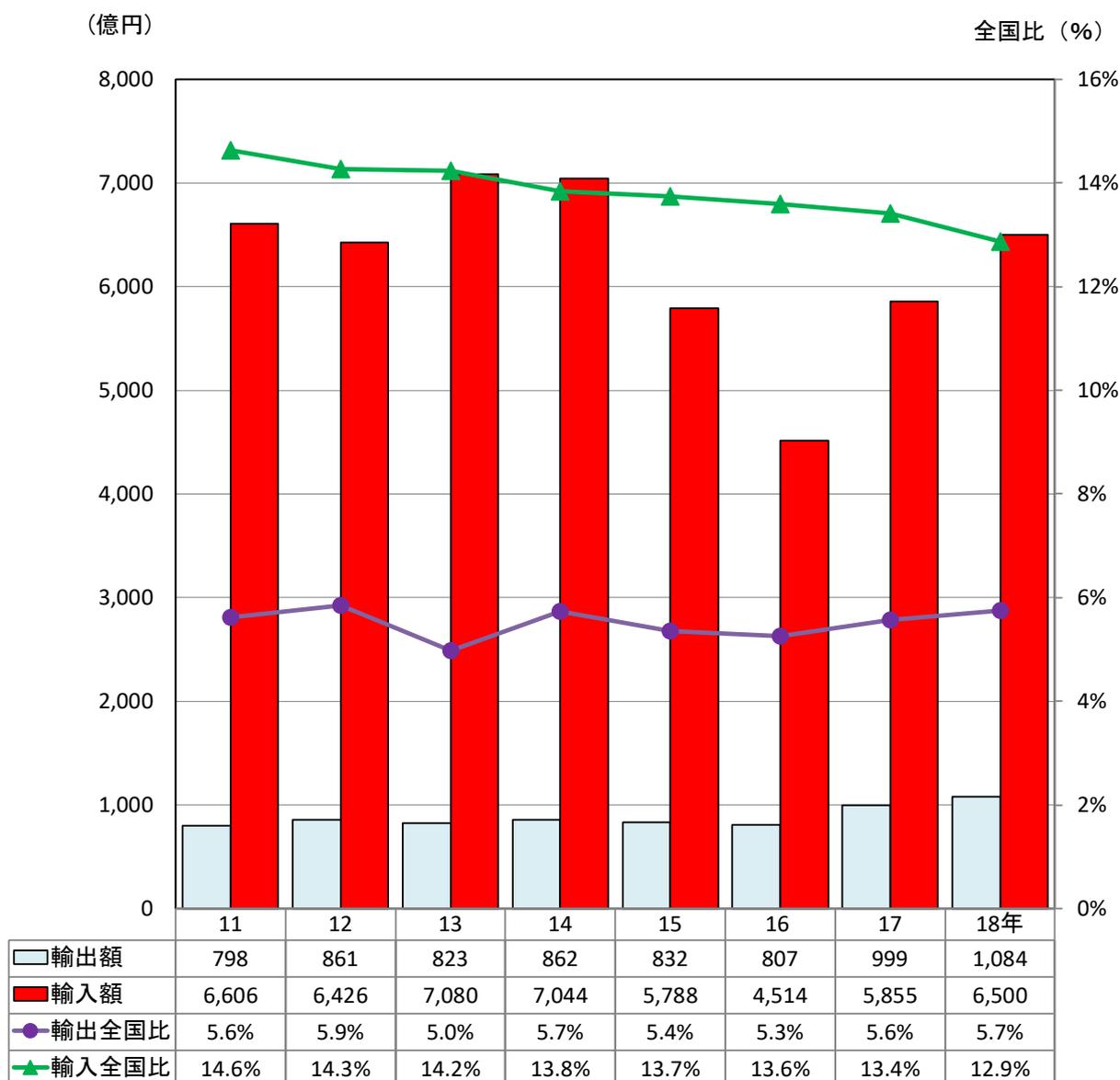
〈寄与度↓〉石油製品（▲1.0%）、セメント（▲0.7%）

● 輸入品目（輸入額多い順）石炭、石油ガス類、鉄鉱石

〈寄与度↑〉石油ガス類（+5.4%）、石炭（+2.3%）

〈寄与度↓〉砂糖（▲0.3%）、粗鉱物（除りん鉱石）（▲0.1%）

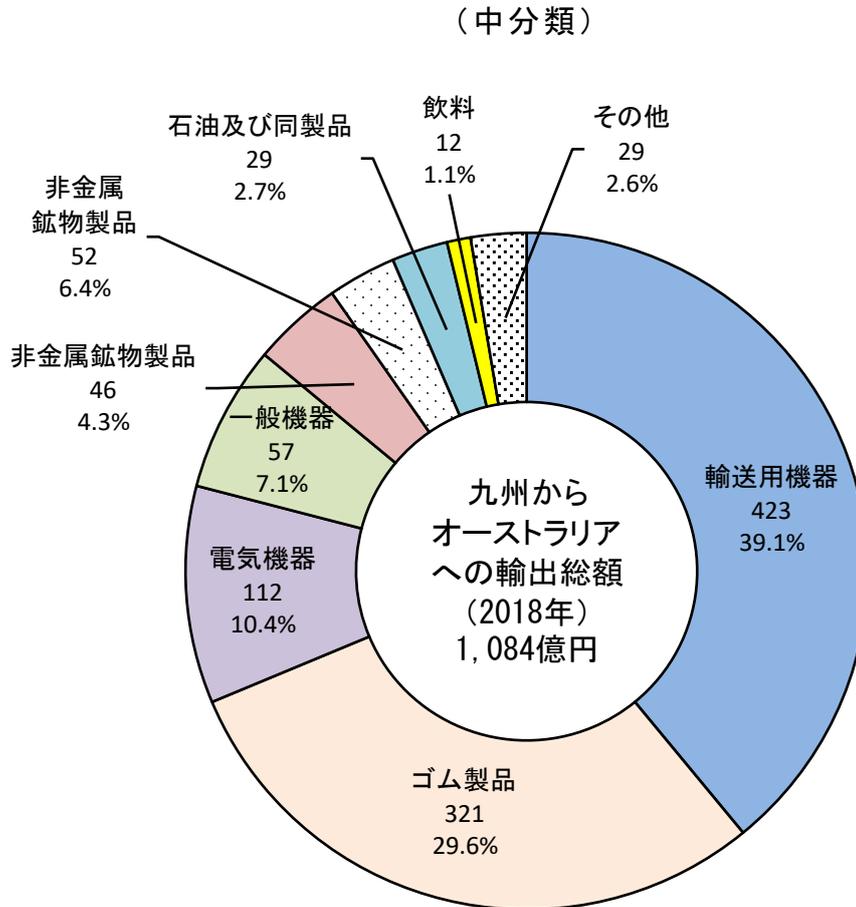
図表 2-16-2 九州の対オーストラリア貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-3 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
自動車	輸送用機器	396	36.6%	19.2%	4.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	321	29.6%	4.0%	59.0%
映像機器	電気機器	92	8.5%	47.3%	80.1%
セメント	非金属鉱物製品	44	4.1%	▲13.5%	66.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	31	2.9%	▲10.5%	4.3%
石油製品	石油及び同製品	29	2.7%	▲26.0%	1.1%
二輪自動車類	輸送用機器	27	2.5%	25.1%	22.9%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	25	2.3%	▲9.9%	79.3%
加熱用・冷却用機器	一般機械	23	2.1%	▲2.2%	13.9%
自動車用等の電気機器	電気機器	17	1.6%	▲18.9%	27.0%
その他		78	7.2%	-	-
総 額		1,084	100%	8.5%	5.7%

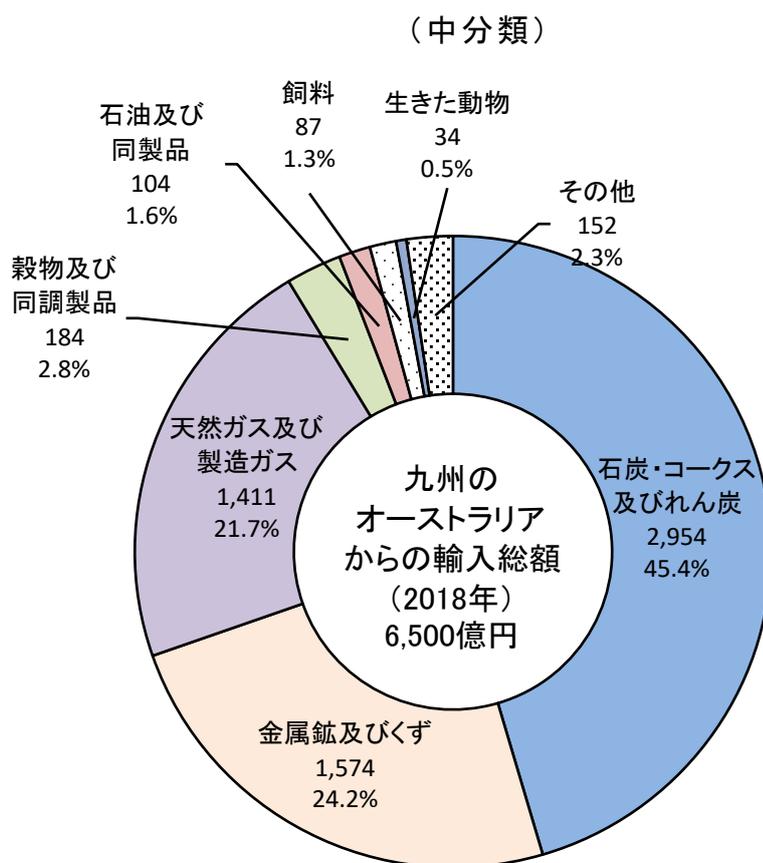
寄与度 (増加分) : 自動車 (+6.4%)、映像機器 (+3.0%) 等

寄与度 (減少分) : 石油製品 (▲1.0%)、セメント (▲0.7%) 等

出所 : 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-4 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	2,954	45.4%	4.7%	17.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	1,411	21.7%	29.0%	8.3%
鉄鉱石	金属鉱及びびくず	932	14.3%	▲0.3%	18.2%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	633	9.7%	25.6%	31.5%
大麦及びはだか麦	穀物及び同調製品	117	1.8%	6.5%	45.2%
原油及び粗油	石油及び同製品	104	1.6%	145.1%	35.3%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	33	0.5%	▲12.5%	11.0%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	31	0.5%	▲9.6%	2.3%
砂糖	糖類及び同調製品・はちみつ	28	0.4%	▲34.7%	8.8%
米	穀物及び同調製品	27	0.4%	2331.5%	45.8%
その他		230	3.5%	-	-
	総 額	6,500	100.0%	11.0%	12.9%

寄与度 (増加分)：石油ガス類 (+5.4%)、石炭 (+2.3%) 等

寄与度 (減少分)：砂糖 (▲0.3%)、粗鉱物 (除りん鉱石) (▲0.1%) 等

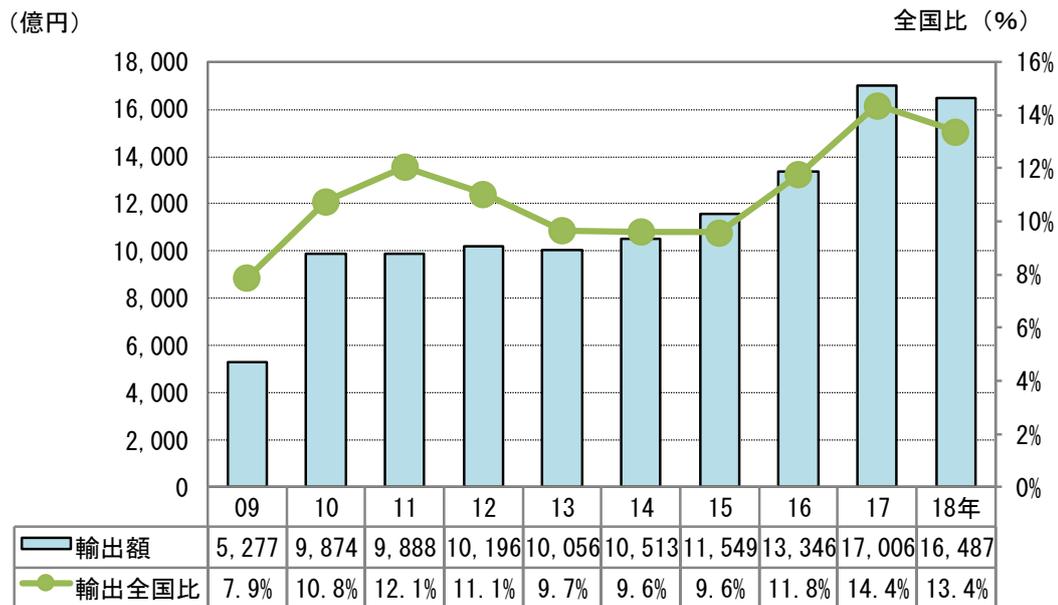
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第3章 九州の産業別貿易動向

1. 自動車・自動車の部分品

- 2018年の九州の自動車輸出額は、1兆6,487億円（前年比3.1%減）
→ 前年より減少し、5年ぶりの減少。
輸出先は、中国が最も多く、次いで米国、アラブ首長国連邦、韓国
- 2018年の九州の自動車生産台数は、143万台（前年比2.6%増）
→ 日本全体の生産台数（973万台）の14.7%

図表 3-1-1 九州の自動車輸出額の推移



図表 3-1-2 自動車の主な輸出相手国・地域の推移（2013年・2018年）

（単位：億円、%）

2013年	金額		構成比	2018年	金額		構成比
	金額	構成比			金額	構成比	
全国				全国			
米国	37,443	36.0%		米国	45,241	36.8%	
オーストラリア	7,484	7.2%		オーストラリア	8,505	6.9%	
ロシア	5,864	5.6%		中国	6,377	5.2%	
中国	5,219	5.0%		アラブ首長国連邦	5,440	4.4%	
アラブ首長国連邦	4,117	4.0%		カナダ	3,966	3.2%	
その他	43,998	42.3%		その他	53,542	43.5%	
計	104,125	100.0%		計	123,072	100.0%	
九州				九州			
米国	3,772	37.5%		中国	4,906	29.8%	
中国	2,654	26.4%		米国	4,508	27.3%	
アラブ首長国連邦	773	7.7%		アラブ首長国連邦	1,962	11.9%	
台湾	338	3.4%		韓国	619	3.8%	
メキシコ	314	3.1%		台湾	589	3.6%	
その他	2,206	21.9%		その他	3,903	23.7%	
計	10,056	100.0%		計	16,487	100.0%	

図表 3-1-1~2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

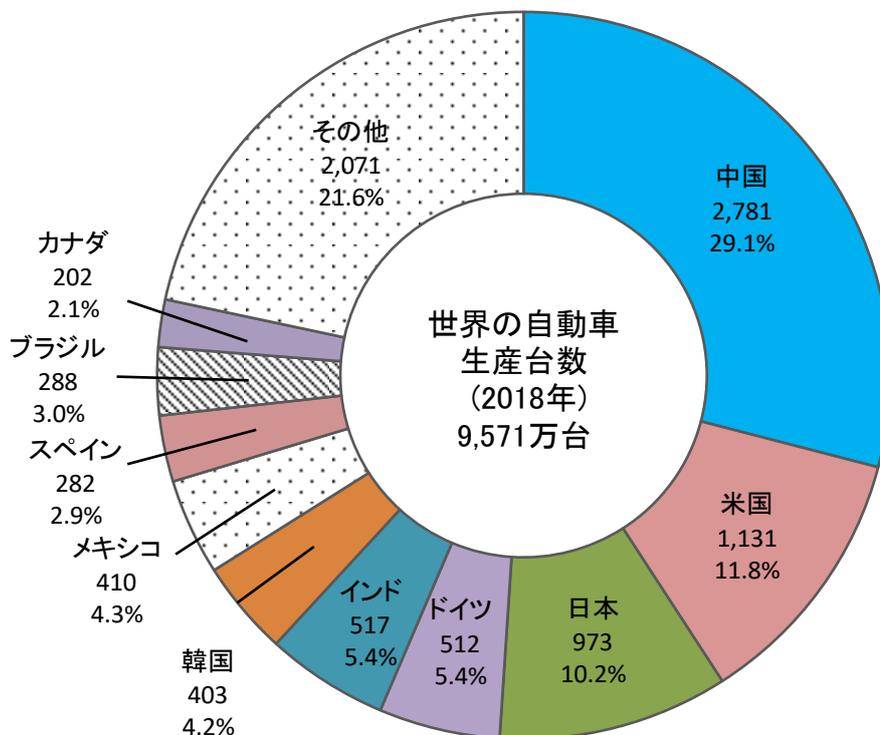
図表 3-1-3 世界の自動車生産台数

(単位：万台、%)

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2018年		
							構成比	伸び率	13年比
ヨーロッパ	1,992	2,043	2,117	2,149	2,163	2,133	22.3%	▲1.4%	7.1%
米州	2,113	2,122	2,096	2,082	2,071	2,080	21.7%	0.4%	▲1.6%
アジア大洋州	4,582	4,740	4,788	5,185	5,340	5,245	54.8%	▲1.8%	14.5%
日本	963	977	928	920	969	973	10.2%	0.4%	1.0%
九州	134	130	135	135	139	143	1.5%	2.6%	6.4%
中国	2,212	2,373	2,457	2,812	2,902	2,781	29.1%	▲4.2%	25.7%
韓国	452	452	456	423	411	403	4.2%	▲2.1%	▲10.9%
インド	390	384	416	452	479	517	5.4%	8.0%	32.7%
タイ	246	188	191	194	199	217	2.3%	9.0%	▲11.8%
その他	319	365	341	383	379	354	3.7%	▲6.7%	10.9%
アフリカ	64	72	84	90	100	112	1.2%	12.0%	76.5%
世界計	8,751	8,978	9,084	9,506	9,675	9,571	100.0%	▲1.1%	9.4%

図表 3-1-4 世界の自動車生産台数の国・地域別構成比

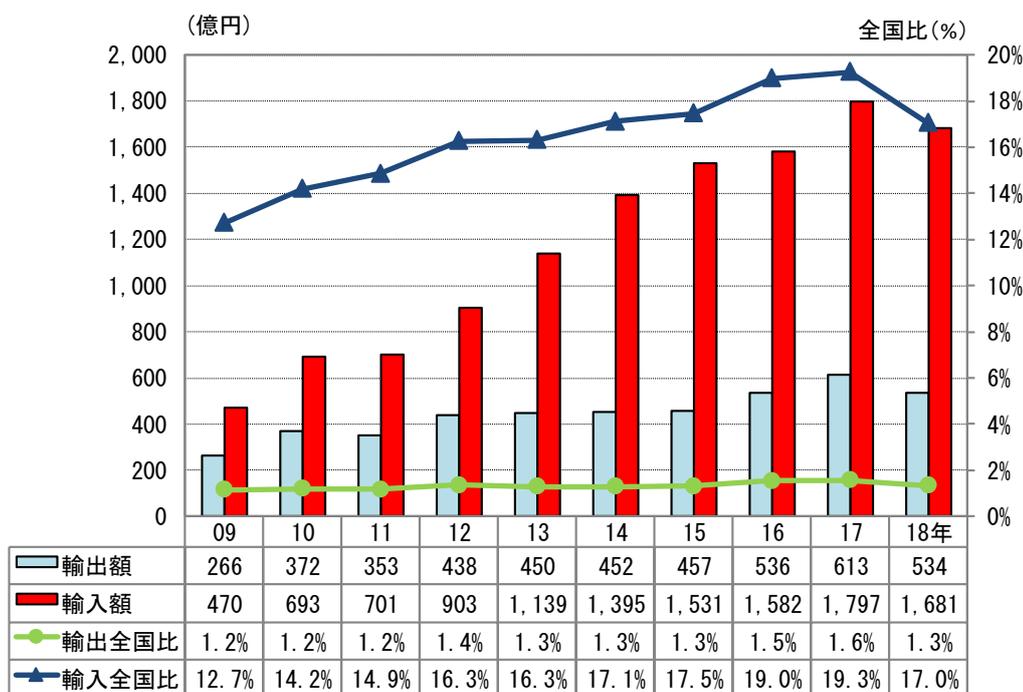
(単位：万台、%)



図表 3-1-3~4 出所：国際自動車工業連合会HP、九州経済産業局資料より九州経済産業局作成。

- 2018年の九州の自動車の部分品の貿易額は、輸出が534億円（前年比12.9%減）
→ 前年より減少し、7年ぶりの減少。一方、輸入も1,681億円（前年比6.5%減）で前年より減少し、直近10年間で、初めての前年比減。
- 九州の輸出相手国・地域では、米国が最も多く、次いでロシア、カナダ
- 九州の輸入相手国・地域では、中国が最も多く、次いでメキシコ、韓国

図表 3-1-5 九州の自動車の部分品貿易額の推移



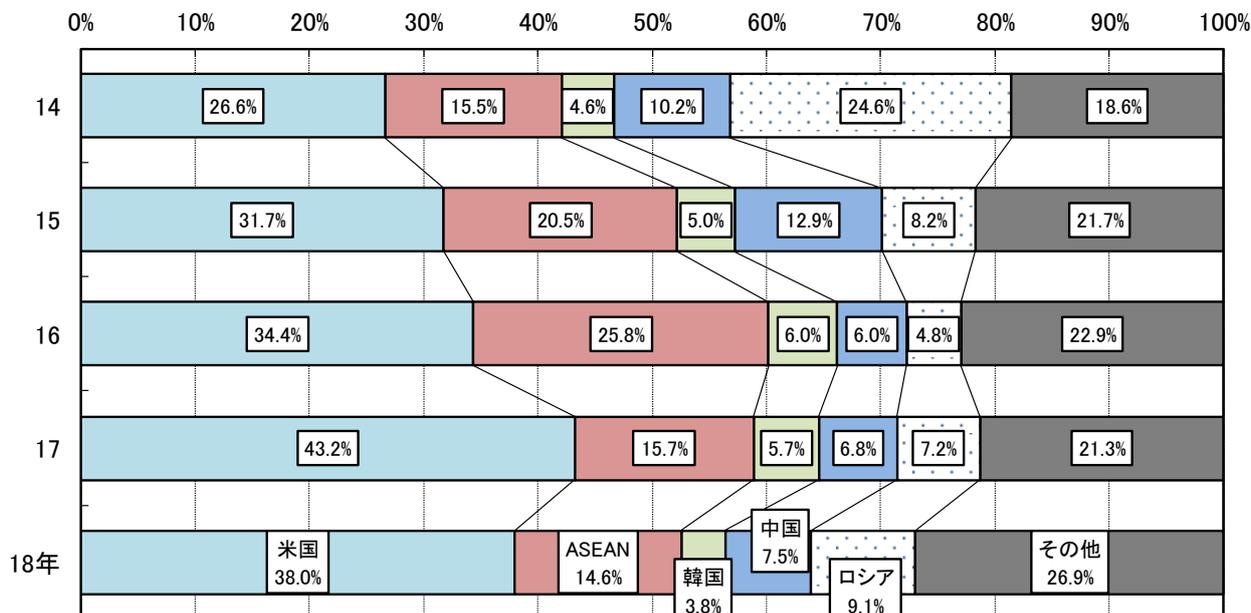
図表 3-1-6 自動車の部分品の主な輸出入相手国・地域（2018年）

（単位：億円、%）

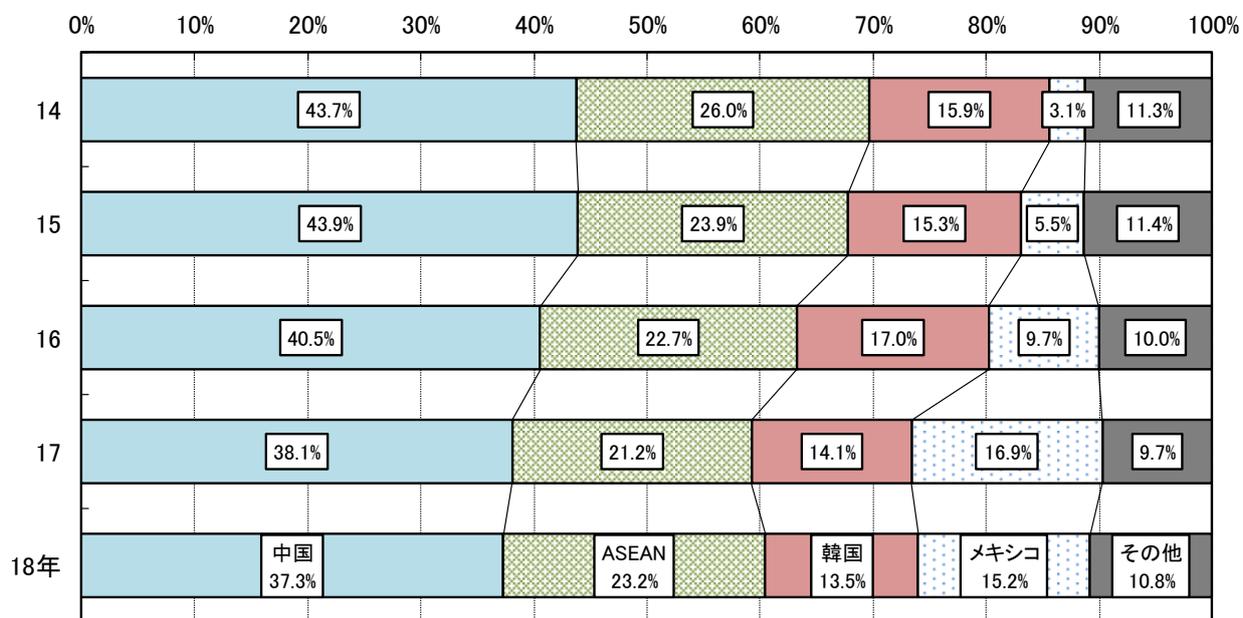
輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
米国	9,295	23.3%	中国	3,526	35.8%
中国	8,689	21.8%	タイ	1,015	10.3%
タイ	3,034	7.6%	ドイツ	811	8.2%
インドネシア	2,190	5.5%	韓国	786	8.0%
メキシコ	2,072	5.2%	米国	700	7.1%
その他	14,630	36.7%	その他	3,024	30.7%
計	39,909	100.0%	計	9,861	100.0%
九州			九州		
米国	203	38.0%	中国	627	37.3%
ロシア	49	9.1%	メキシコ	255	15.2%
カナダ	46	8.6%	韓国	227	13.5%
マレーシア	42	7.9%	タイ	193	11.5%
中国	40	7.5%	インドネシア	83	4.9%
その他	154	28.9%	その他	297	17.7%
計	534	100.0%	計	1,681	100.0%

図表 3-1-5~6 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-1-7 九州の自動車の部分品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-1-8 九州の自動車の部分品の輸入相手国・地域の推移

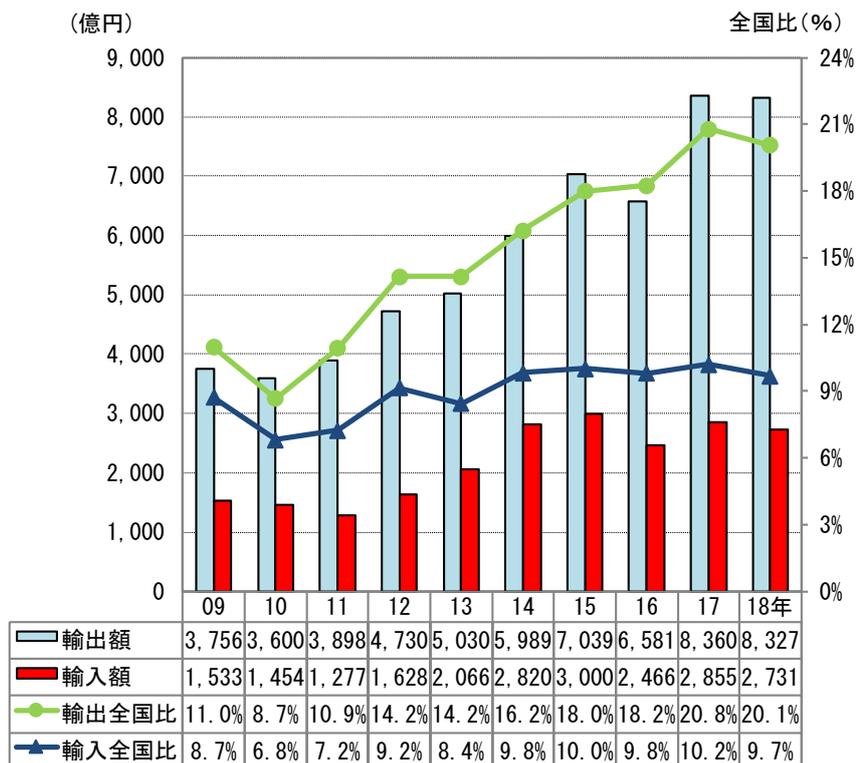


図表 3-1-7~8 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 半導体等電子部品

- 2018年の九州の半導体等電子部品貿易額は、輸出が8,327億円（前年比0.4%減）で前年より減少。一方、輸入も2,731億円（前年比4.3%減）で前年より減少。
- 九州の輸出相手国・地域では、香港向けが最も多く、次いで韓国、ベトナム
- 九州の輸入相手国・地域では、台湾からが最も多く、次いで中国、韓国

図表 3-2-1 九州の半導体等電子部品貿易額の推移



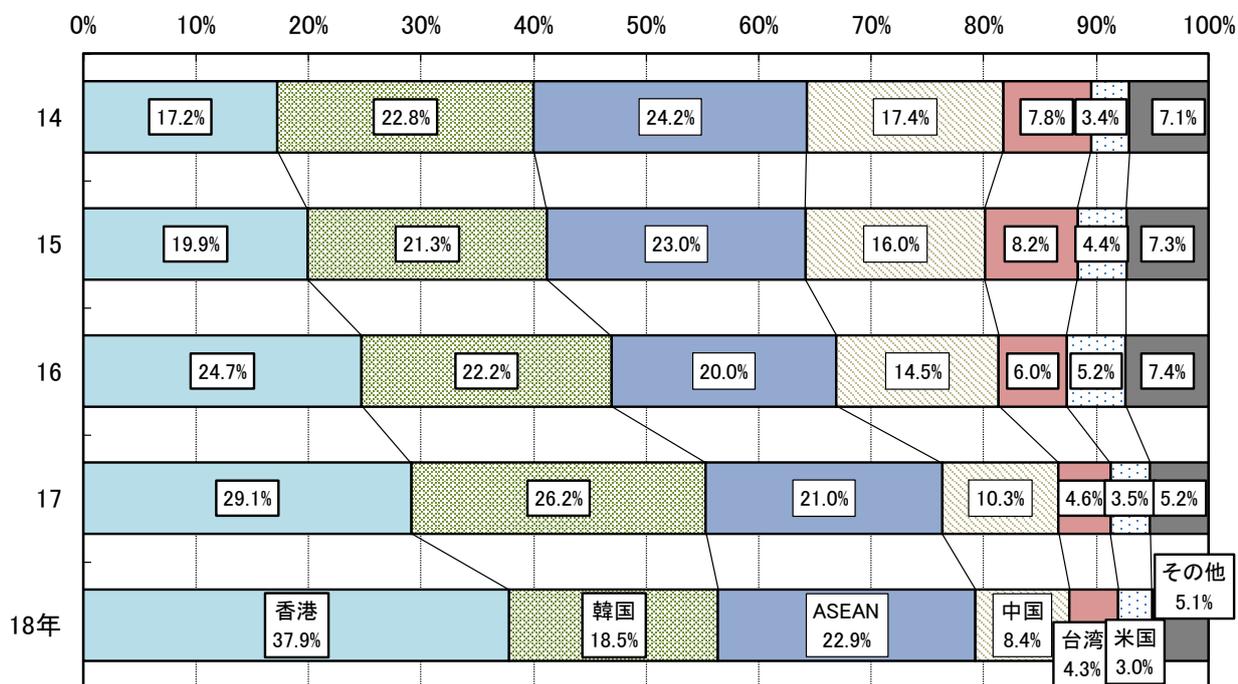
図表 3-2-2 半導体等電子部品の主な輸出入相手国・地域（2018年）

（単位：億円、%）

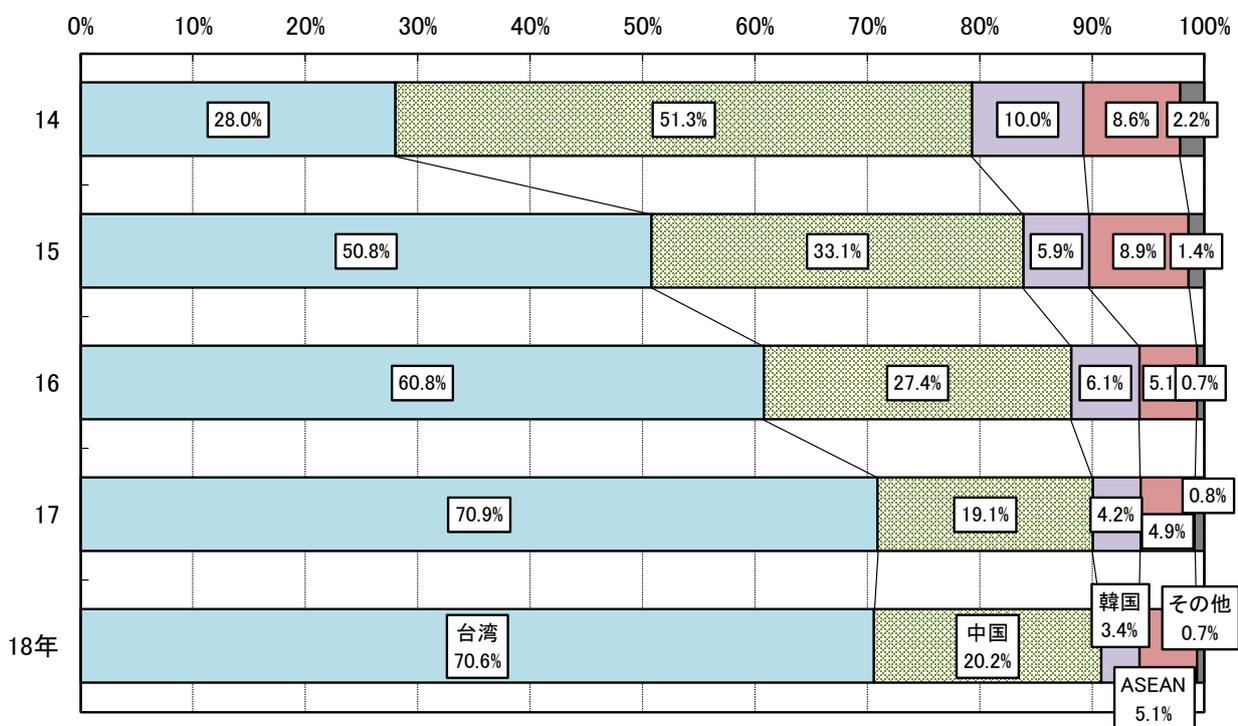
輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	10,971	26.4%	台湾	11,708	41.6%
台湾	7,117	17.1%	中国	5,029	17.9%
香港	6,660	16.0%	米国	2,996	10.6%
韓国	2,565	6.2%	韓国	2,468	8.8%
タイ	2,365	5.7%	マレーシア	1,559	5.5%
その他	11,824	28.5%	その他	4,405	15.6%
計	41,502	100.0%	計	28,165	100.0%
九州			九州		
香港	3,152	37.9%	台湾	1,928	70.6%
韓国	1,543	18.5%	中国	551	20.2%
ベトナム	1,119	13.4%	韓国	93	3.4%
中国	696	8.4%	マレーシア	52	1.9%
タイ	417	5.0%	フィリピン	37	1.4%
その他	1,400	16.8%	その他	70	2.6%
計	8,327	100.0%	計	2,731	100.0%

図表 3-2-1~2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-2-3 九州の半導体等電子部品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-2-4 九州の半導体等電子部品の輸入相手国・地域の推移

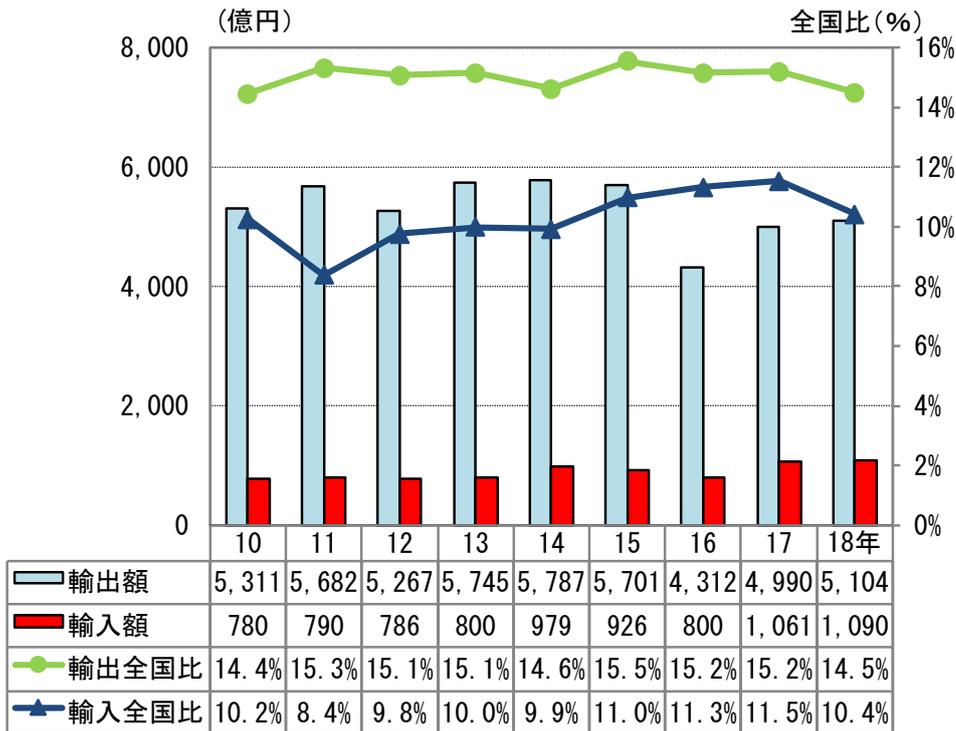


図表 3-2-3~4 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

3. 鉄鋼

- 2018年の九州の鉄鋼貿易額は、輸出額5,104億円（前年比2.3%増）、輸入額1,090億円（前年比2.7%増） → いずれも2年連続の増加
- 輸出先はタイが最も多く、次いで中国、韓国
輸入元は韓国が最も多く、次いで中国、カザフスタン
- 2018年の九州の粗鋼生産量は15百万トン
→ 日本全体の生産量（104百万トン）の14.5%

図表 3-3-1 九州の鉄鋼貿易額の推移



図表 3-3-2 鉄鋼の主な輸出入相手国・地域（2018年）

（単位：億円、%）

輸出			輸入		
	金額	構成比		金額	構成比
全国			全国		
中国	5,616	16.3%	韓国	3,383	33.2%
タイ	5,047	14.7%	中国	1,939	19.0%
韓国	4,551	13.2%	台湾	946	9.3%
台湾	2,338	6.8%	カザフスタン	702	6.9%
米国	2,039	5.9%	南アフリカ共和国	466	4.6%
その他	14,821	43.1%	その他	2,752	27.0%
計	34,412	100.0%	計	10,188	100.0%
九州			九州		
タイ	955	18.7%	韓国	396	36.3%
中国	679	13.3%	中国	136	12.4%
韓国	621	12.2%	カザフスタン	119	11.0%
メキシコ	298	5.8%	南アフリカ共和国	119	10.9%
インド	289	5.7%	ブラジル	81	7.4%
その他	2,261	44.3%	その他	240	22.0%
計	5,104	100.0%	計	1,090	100.0%

図表 3-3-1~2 出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 3-3-3 主要国の粗鋼生産量

(単位：百万トン、%)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	構成比
中国	822	804	808	831	928	51.3%
EU	169	166	162	168	168	9.3%
日本	111	105	105	105	104	5.8%
うち九州	16	16	16	15	15	0.8%
インド	87	89	95	101	106	5.9%
米国	88	79	78	82	87	4.8%
ロシア	71	91	71	71	72	4.0%
韓国	72	70	69	71	72	4.0%
トルコ	34	32	33	38	37	2.1%
ブラジル	34	33	31	34	35	1.9%
その他	181	152	176	228	199	11.0%
世界計	1,669	1,620	1,628	1,730	1,809	100.0%

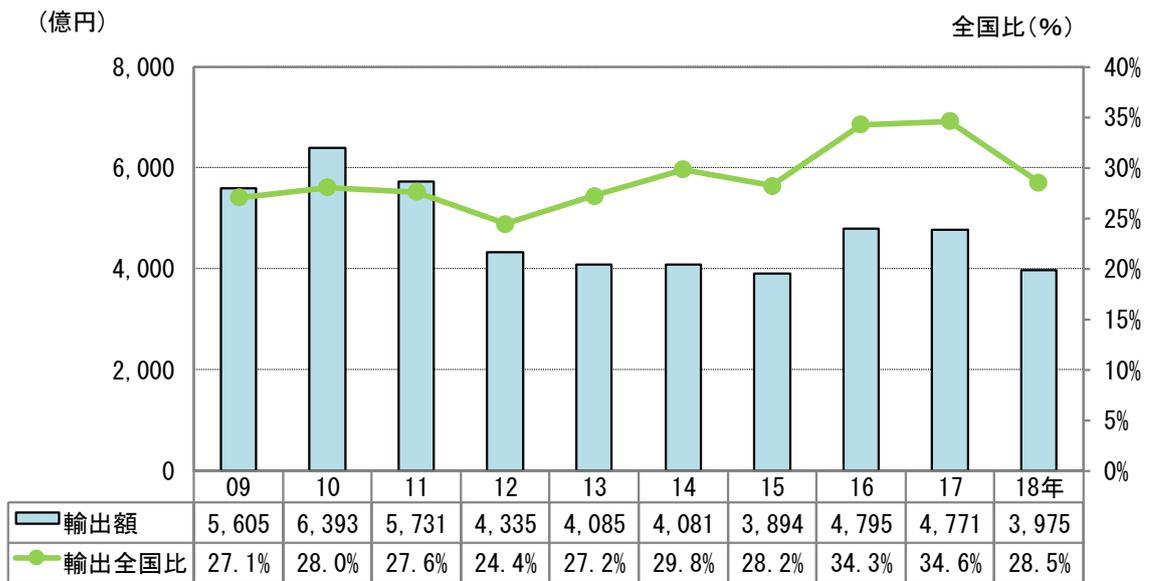
備考：EUはクロアチアを除く 27 カ国の計

出所：（一社）日本鉄鋼連盟資料より九州経済産業局作成。

4. 船舶類

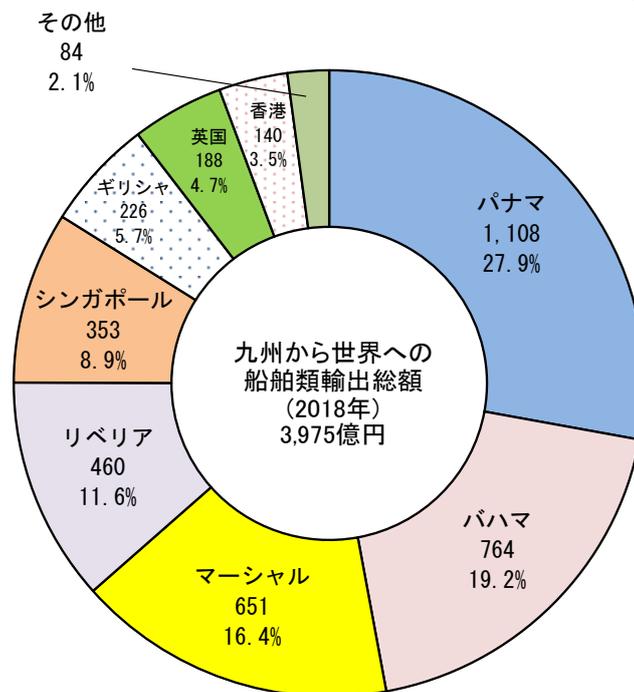
- 2018年の九州の船舶類輸出額は3,975億円（前年比16.7%減）で前年より減少。
輸出先はパナマが最も多く、次いでバハマ、マーシャル
- 九州の船舶類輸出額は全国の（13,927億円）の28.5%
→ 船舶類は、九州の主力輸出品目の一つ

図表 3-4-1 九州の船舶類の輸出額推移



図表 3-4-2 九州の船舶類の輸出相手国・地域

(単位：億円、%)

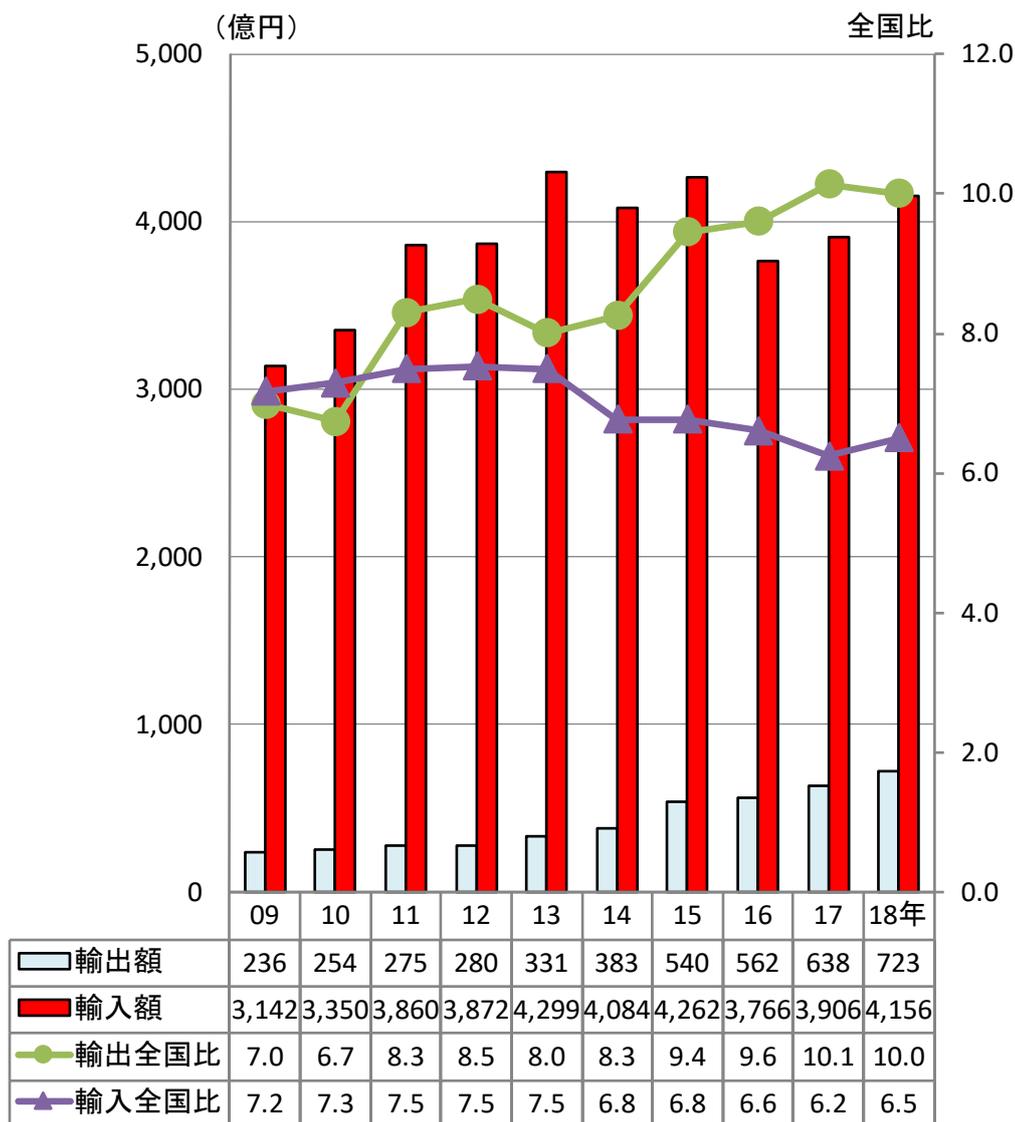


図表 3-4-1～2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

5. 食料品

- 2018年の九州の食料品貿易額は、輸出額723億円（前年比13.4%増）、輸入額4,156億円（前年比6.4%増）
→ 輸出は2009年より毎年の増加、輸入は2年連続の増加。貿易収支は大幅な輸入超過が続く。
- 輸出はアジアや米国向けが多く、品目としては魚介類及び同調製品が5割近くを占めた。
輸入は北米やアジアのほか、中南米や大洋州など、より多様な国々との取引となっており、品目としては穀物類及び同調製品と魚介類及び同調製品が多い。

図表 3-5-1 九州の食料品貿易額の推移

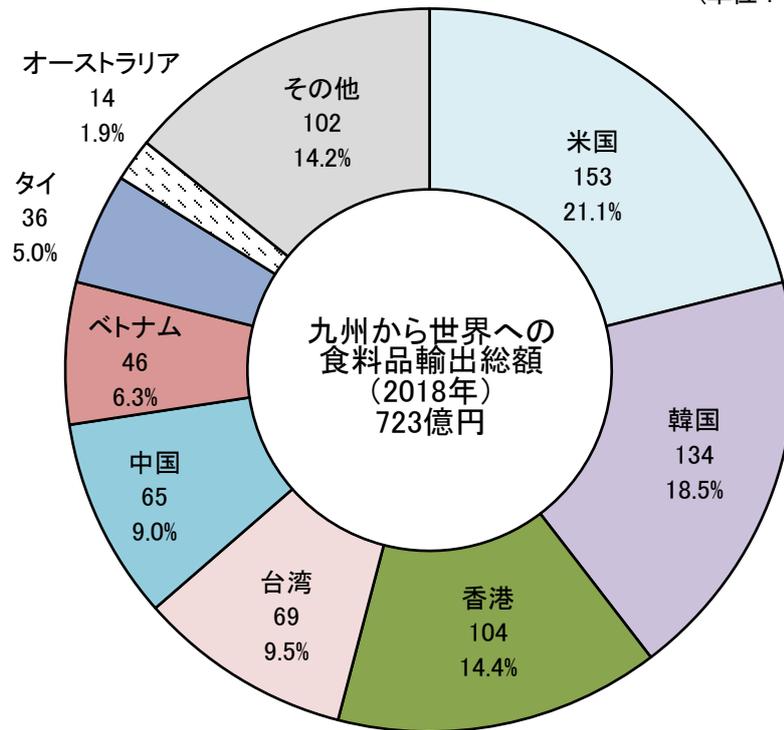


備考：「食料品」とは、「食料品及び動物（大分類）」、「飲料（中分類）」、「動植物性油脂（大分類）」を足したもののから、「生きた動物（中分類）」、「飼料（中分類）」、「加工油脂及びろう（中分類）」を差し引いたものとする。

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

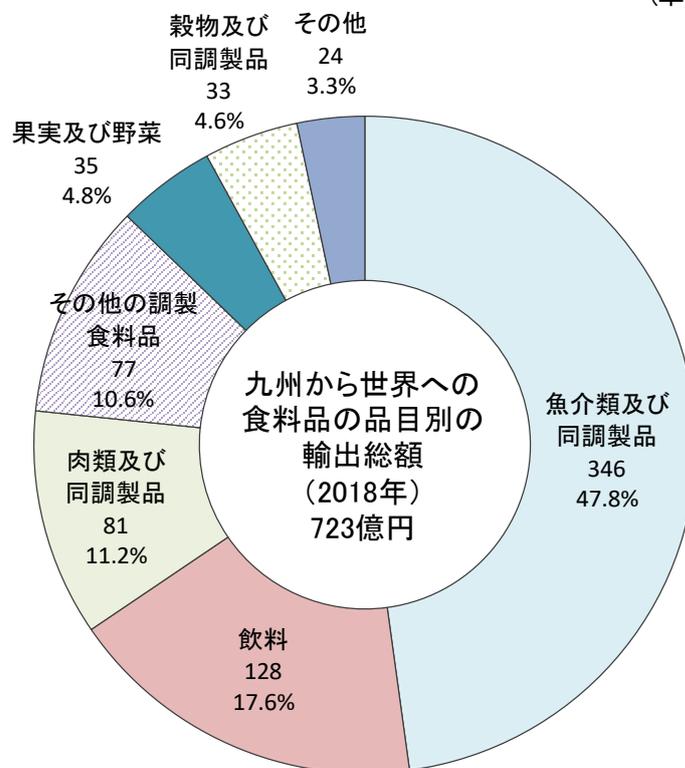
図表 3-5-2 九州の食料品の国・地域別輸出額

(単位：億円、%)



図表 3-5-3 九州の食料品の品目別輸出額

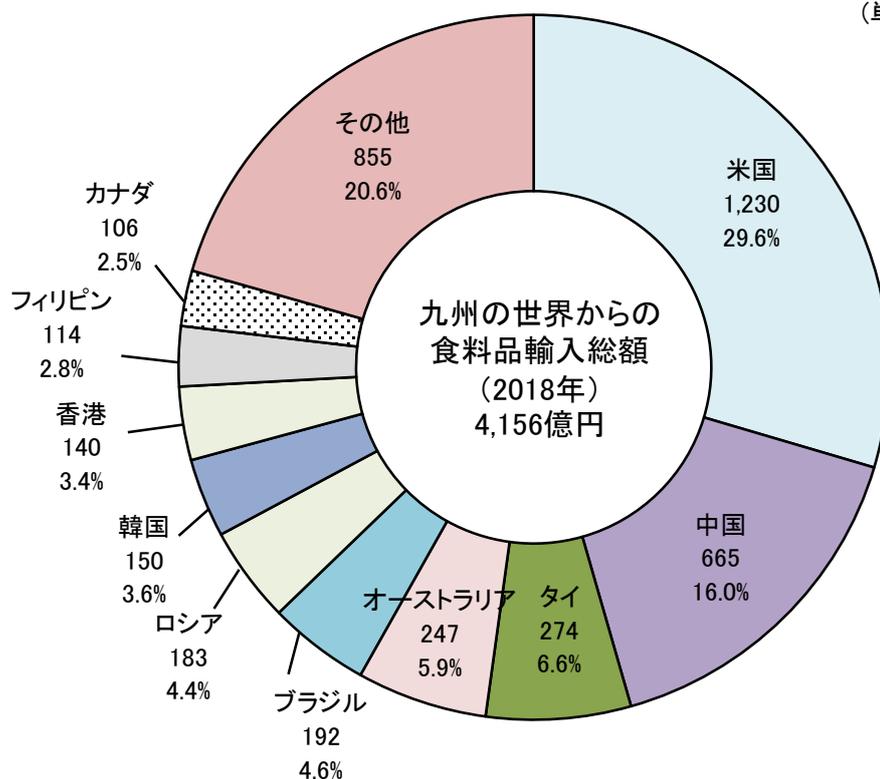
(単位：億円、%)



図表 3-5-2~3 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

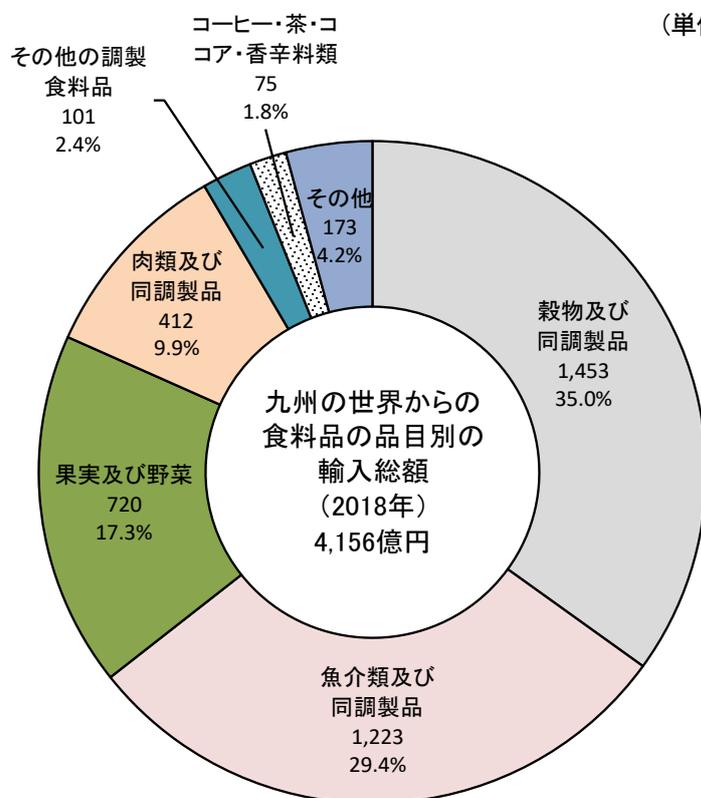
図表 3-5-4 九州の食料品の国・地域別輸入額

(単位：億円、%)



図表 3-5-5 九州の食料品の品目別輸入額

(単位：億円、%)



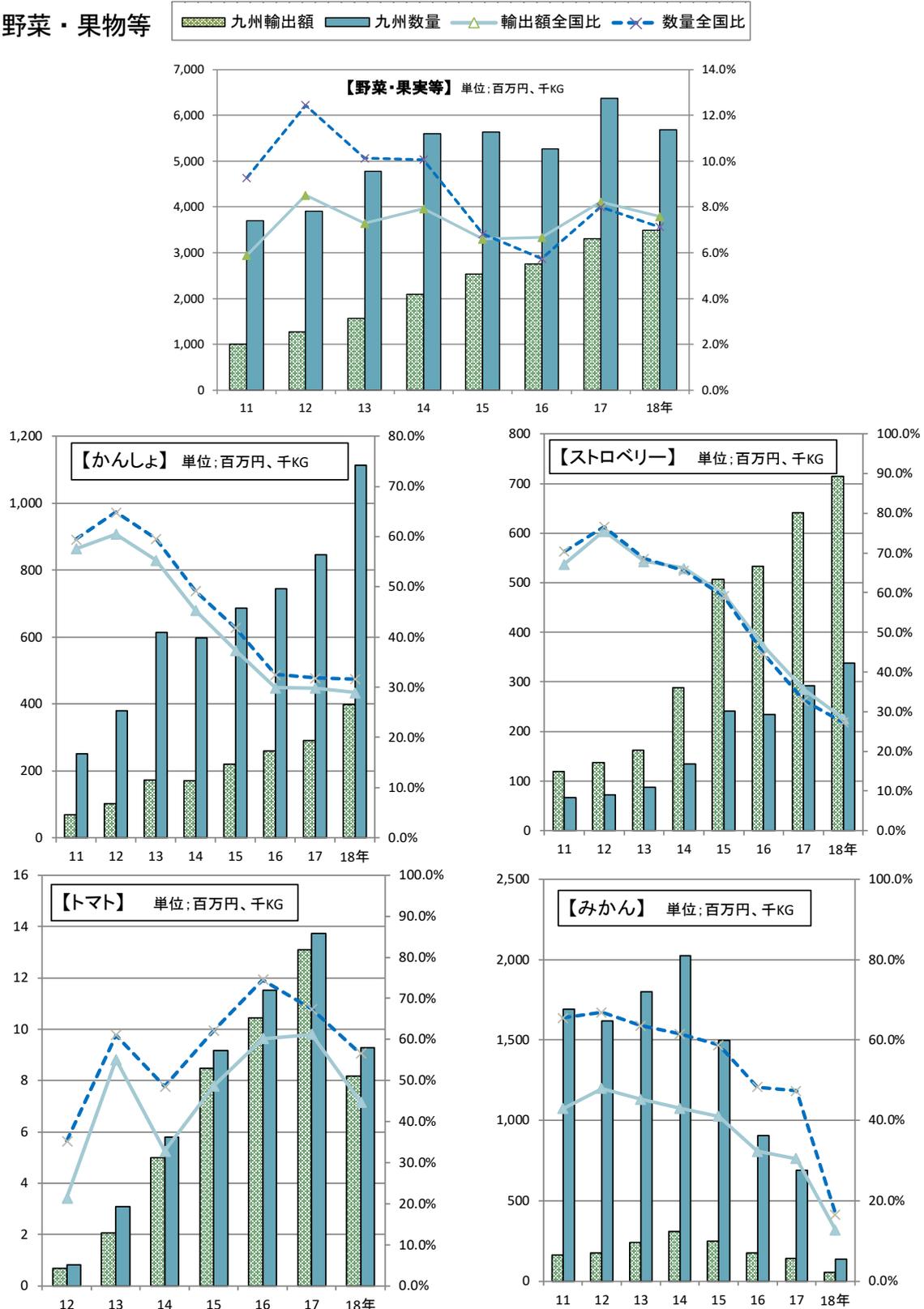
図表 3-5-4~5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

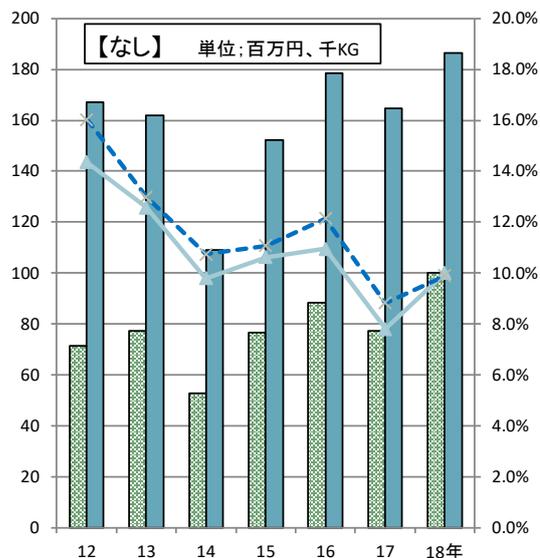
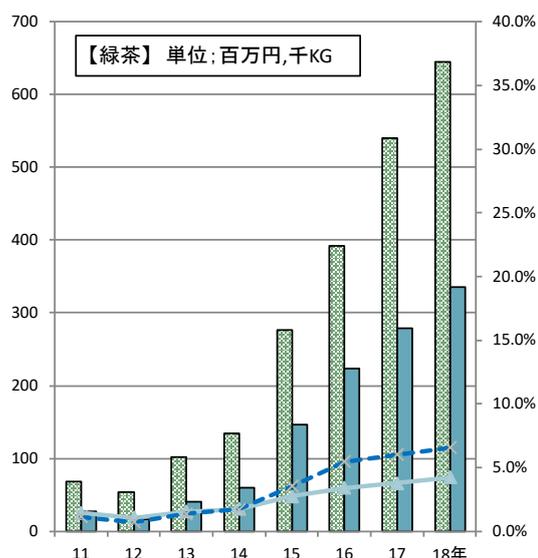
6. 農林水産物及び加工品

●近年、各種農林水産物の輸出額及び輸出数量が伸びており、さまざまな国に輸出されている。主要な農林水産物について、輸出動向は以下のとおり。

図表 3-6-1 九州の主要な農林水産物の輸出額・数量推移

① 野菜・果物等





参考

野菜等の輸出に際し、最も重要な貯蔵条件は、品目によりそれぞれ異なっており、水分の多い野菜は貯蔵日数が短く、根菜類は長い傾向にある。

品目	貯蔵最適温度(°C)	貯蔵限界(目安)
サツマイモ	13~15	4~7月
イチゴ	0	7~10日
トマト(完熟)	8~10	1~3週間
トマト(緑熟)	10~13	2~5週間
メロン(ネットメロン)	2~5	2~3週間
メロン(その他)	7~10	3~4週間

出所：(独)農研機構・野菜茶業研究所「野菜の最適貯蔵条件」を参考に作成。

海外への生鮮食料品等の流通においては、生産段階から消費段階まで低温に保ちながら流通されるしくみ「コールドチェーン」の整備が進められている。

○野菜・果実等は輸出額が毎年増加傾向。

特に、かんしょ、ストロベリー、緑茶は輸出額の増加傾向が顕著。

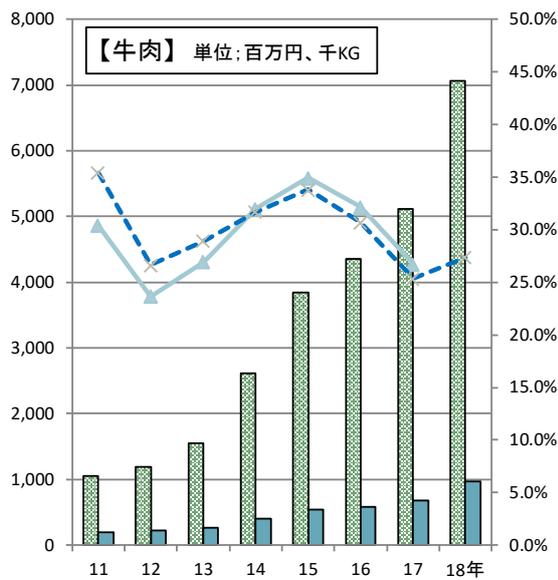
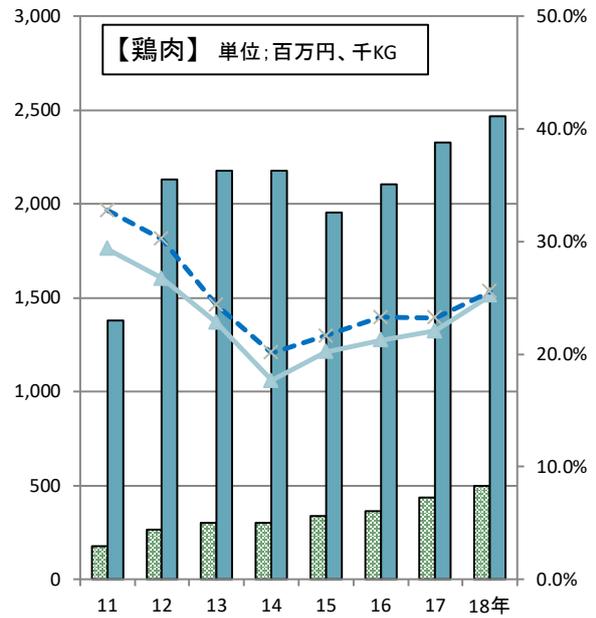
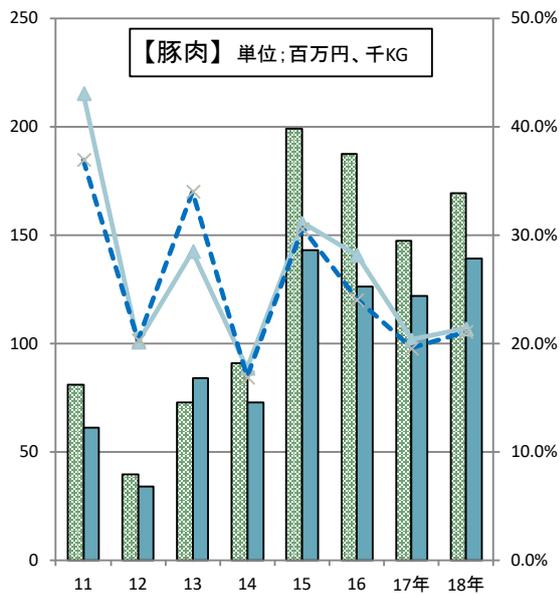
○輸出額が大きい野菜・果物等はストロベリー、緑茶等

輸出額の全国比が高いものは、かんしょ、トマト、ストロベリー等となっている。

備考：HSコードは次のとおり。【かんしょ】071420、【ストロベリー】081010、【トマト】070200、【みかん】080521、【緑茶】090210、090220、【なし】080830

② 肉類

九州輸出額 九州数量 輸出額全国比 数量全国比

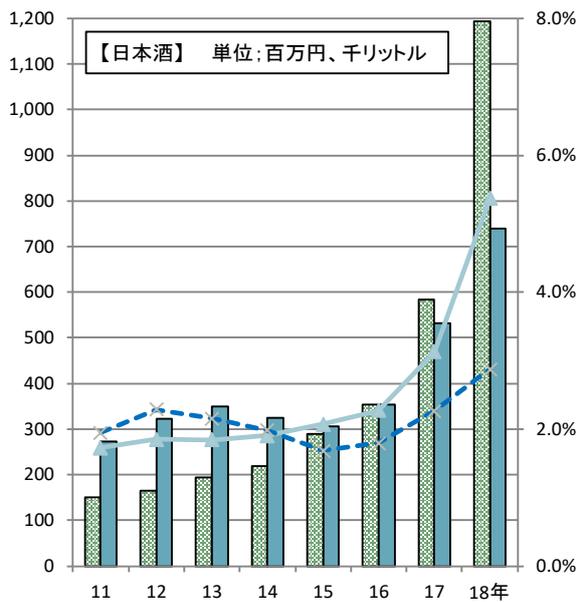
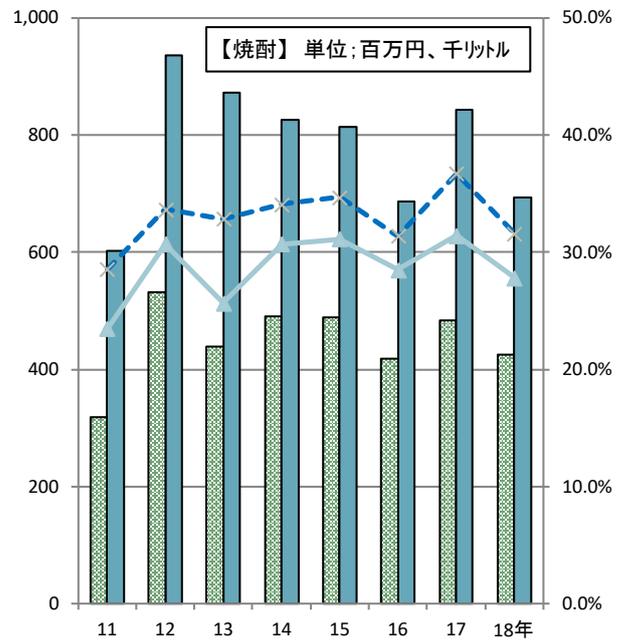
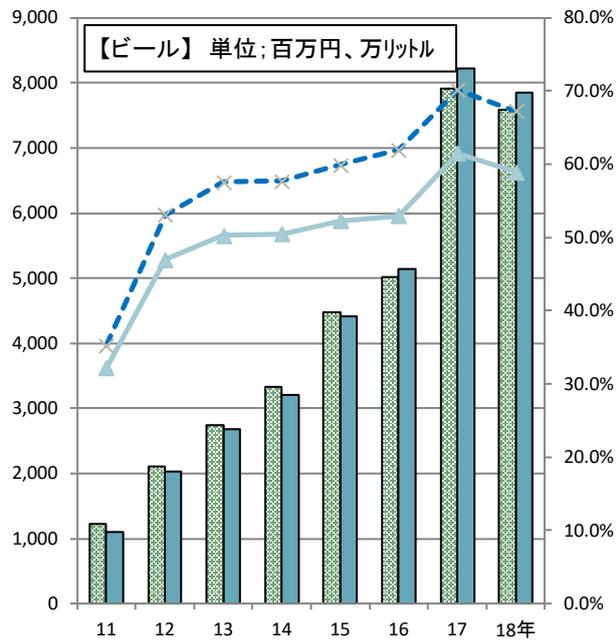


○牛肉の輸出額は年々増加しており、2011年と比べて約7倍に増加。

備考：HSコードは次のとおり。【豚肉】0203、【鶏肉】020711、020712、020713、020714、
【牛肉】0201、0202、020610、020629

③ 酒類

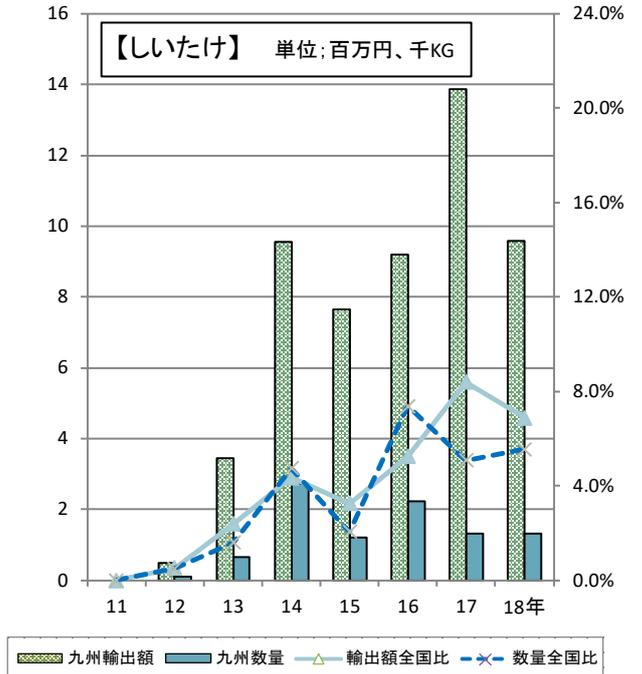
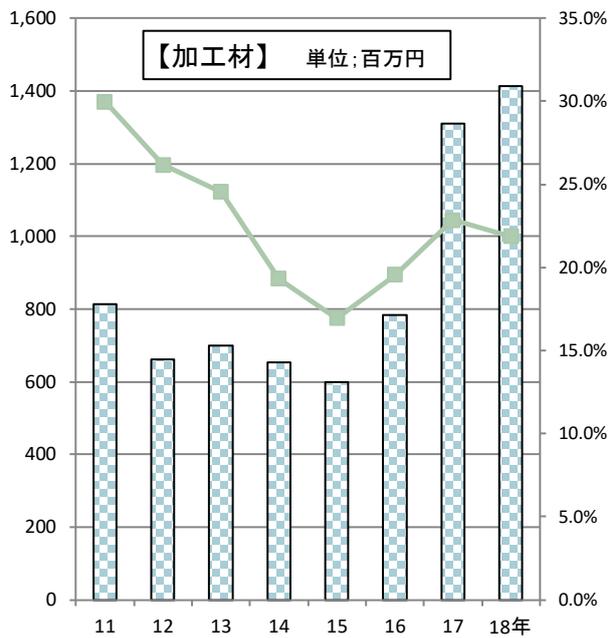
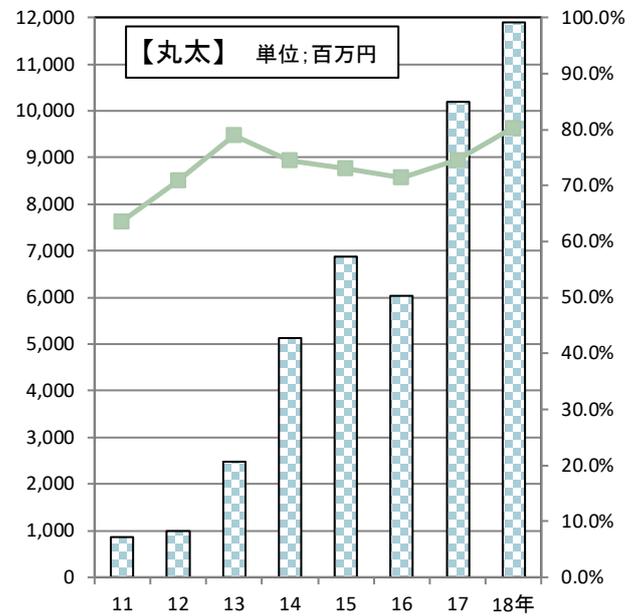
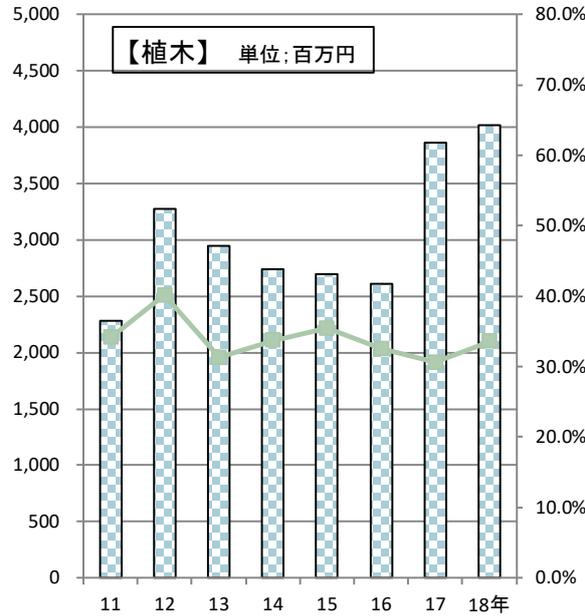
九州輸出額 九州数量 輸出額全国比 数量全国比



○ビールは2011年に比べて輸出額が約7倍となっており、輸出額の全国比は約6割。
日本酒の輸出額は年々増加、特に2018年は前年の約2倍に伸びている。

備考：HSコードは次のとおり。【ビール】2203、【焼酎】220890100、【日本酒】220600200

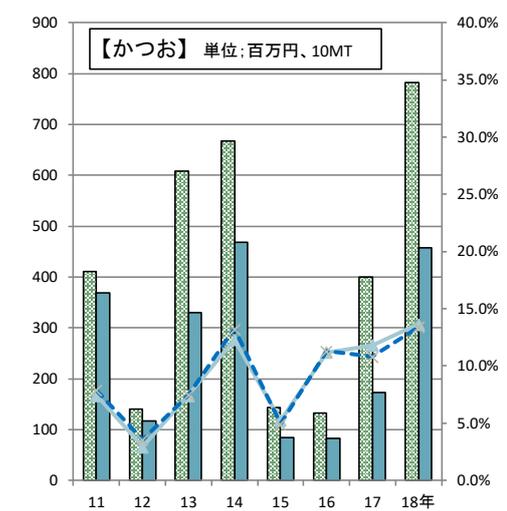
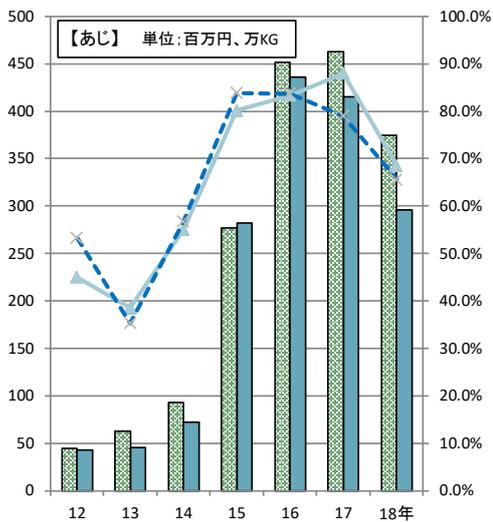
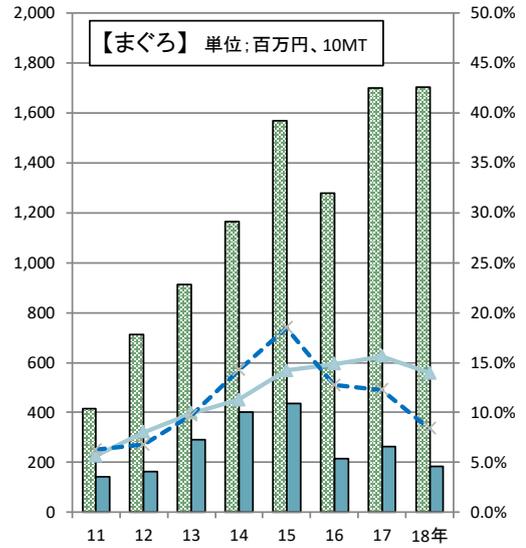
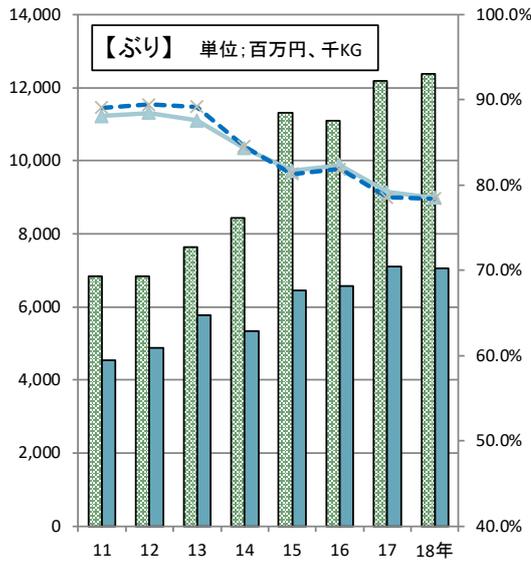
④ 林産物



○輸出額が大きい林産物は、丸太や植木。輸出額の全国比が高いのは丸太。
○丸太の輸出額について、2018年は前年より増加し、2011年と比べると、10倍以上に増加。

備考：HSコードは次のとおり。【植木】060230、060240、060290100、060290900、【丸太】4403、
【加工材】4407、4409、【しいたけ】071239100

⑤ 魚介類



○ぶりの輸出額がもっとも大きく、全国に占める割合も高い。

備考：HSコードは次のとおり

【ぶり】 030449200、030459200、030489200

【まぐろ】 概況品 00701012

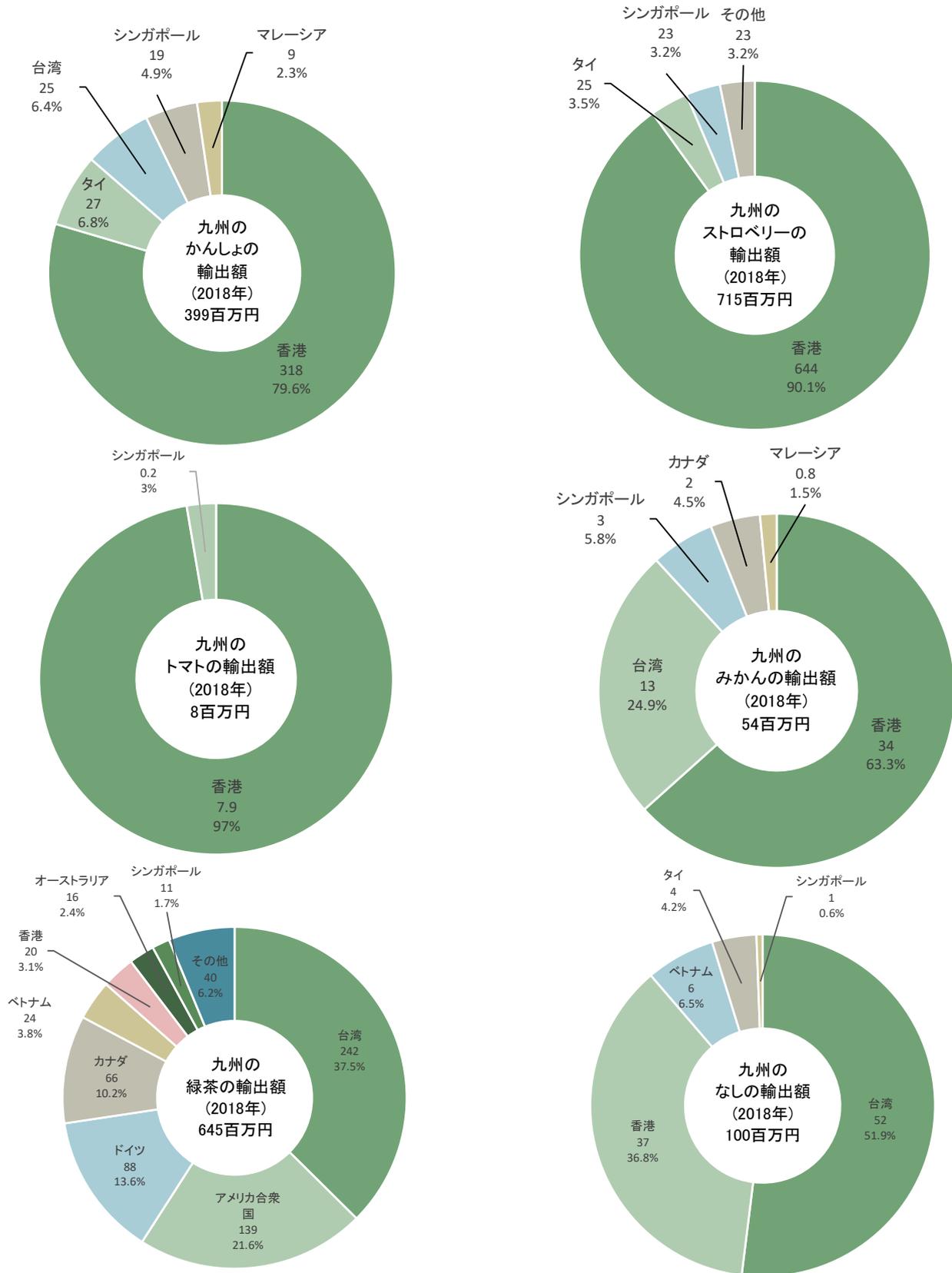
【かつお】 概況品 00701011

【あじ】 030245、030355

図表 3-6-2 九州の主要な農林水産物の輸出先

① 野菜・果物等

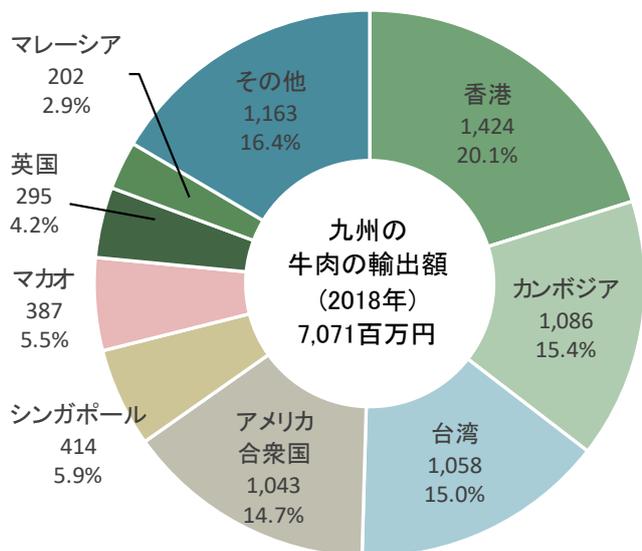
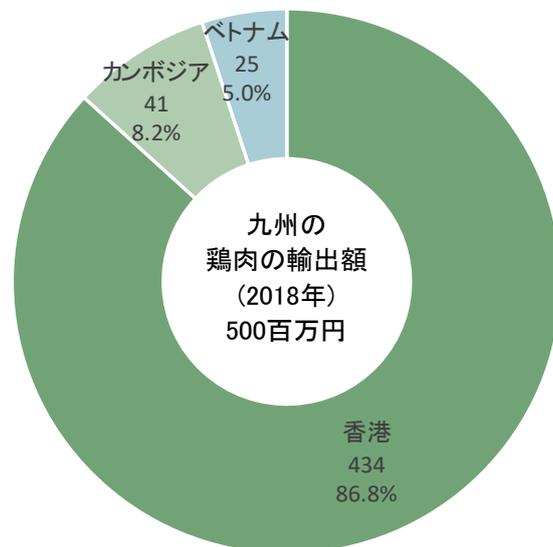
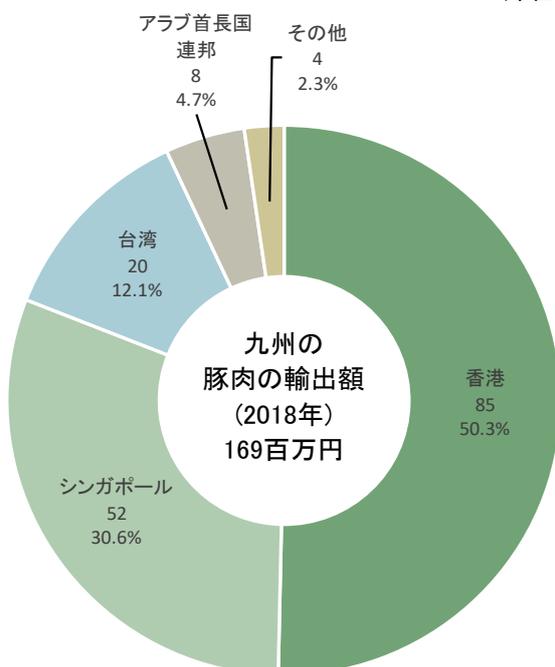
(単位：百万円、%)



○かんしょ、ストロベリー、トマト、みかん等多くの野菜・果物が香港向けに輸出されている。
○緑茶、なしの輸出先は台湾が最も多い。

② 肉類

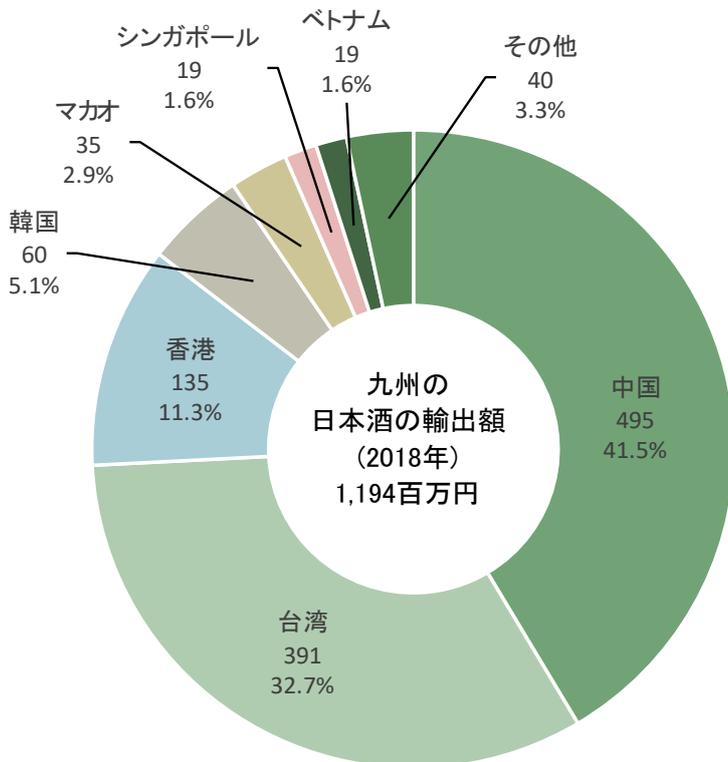
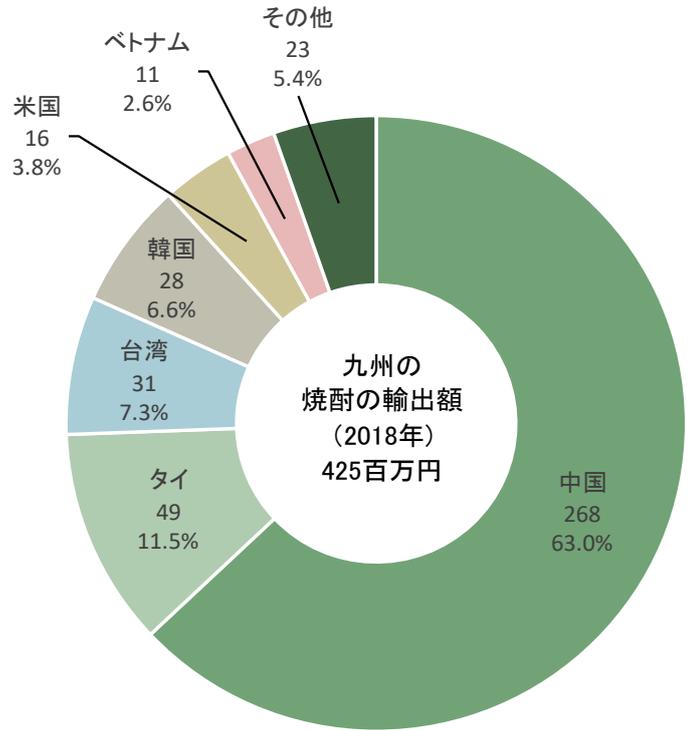
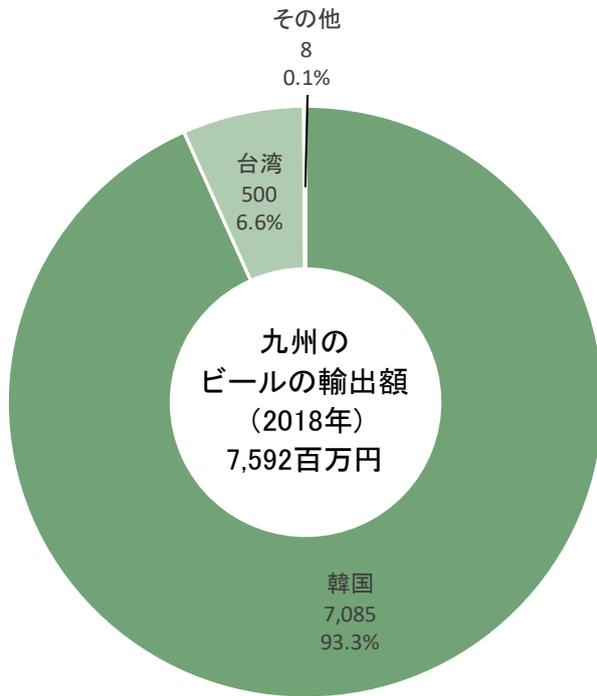
(単位：百万円、%)



○豚肉、鶏肉、牛肉ともに輸出先は香港が第1位である。
○鶏肉、牛肉については、カンボジアが第2位となっている。

③ 酒類

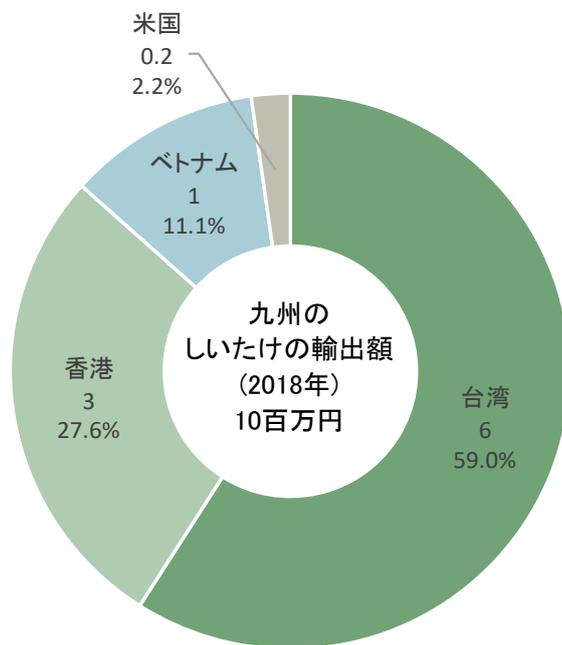
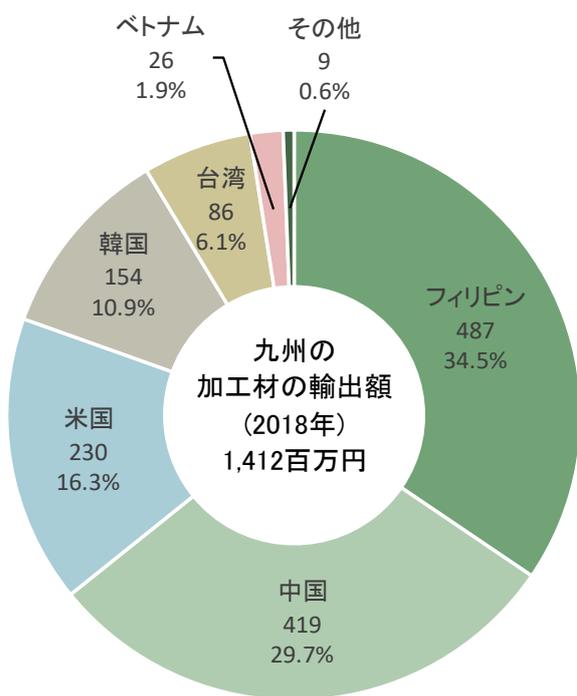
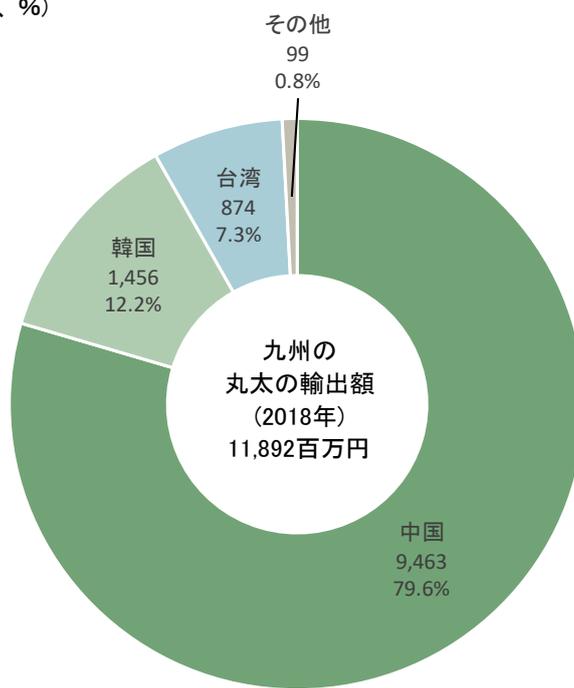
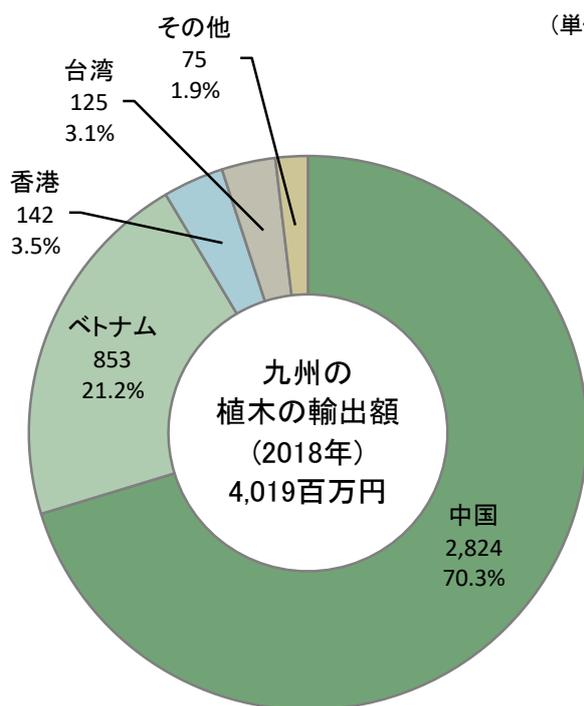
(単位：百万円、%)



○ビールは韓国、日本酒と焼酎は中国が最大の輸出先で、アジア向けの輸出が多い。

④ 林産物

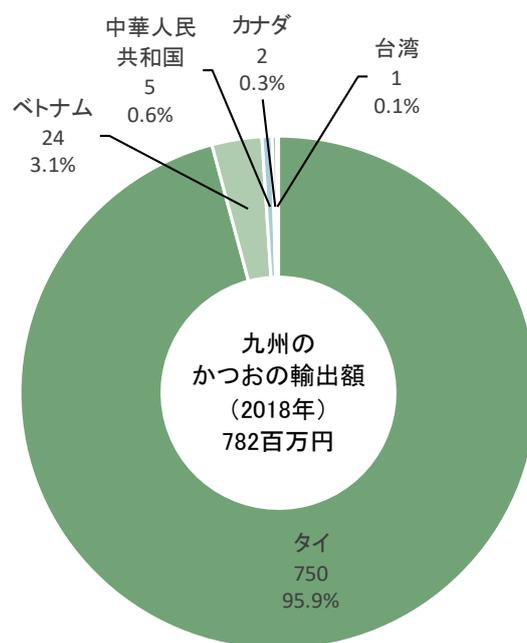
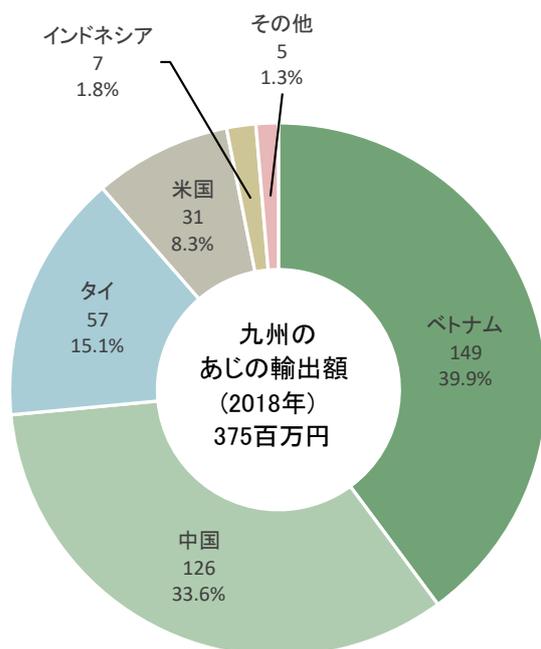
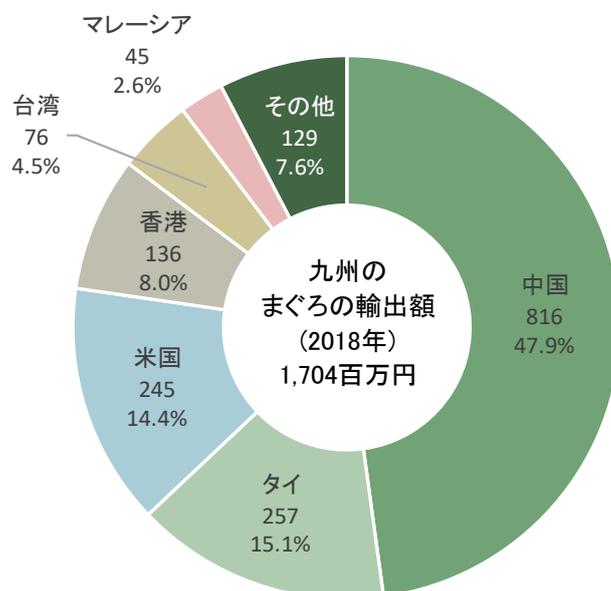
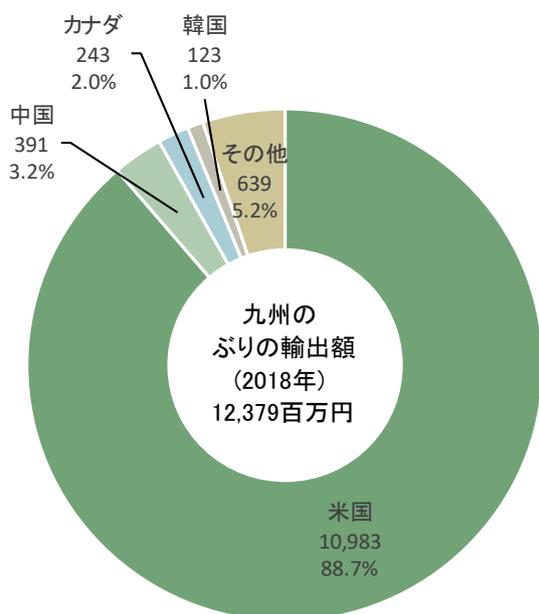
(単位：百万円、%)



○林産物の輸出はアジア向けが大半を占めている。
丸太及び植木は中国、加工材はフィリピン、しいたけは台湾が最大の輸出先となっている。

⑤ 魚介類

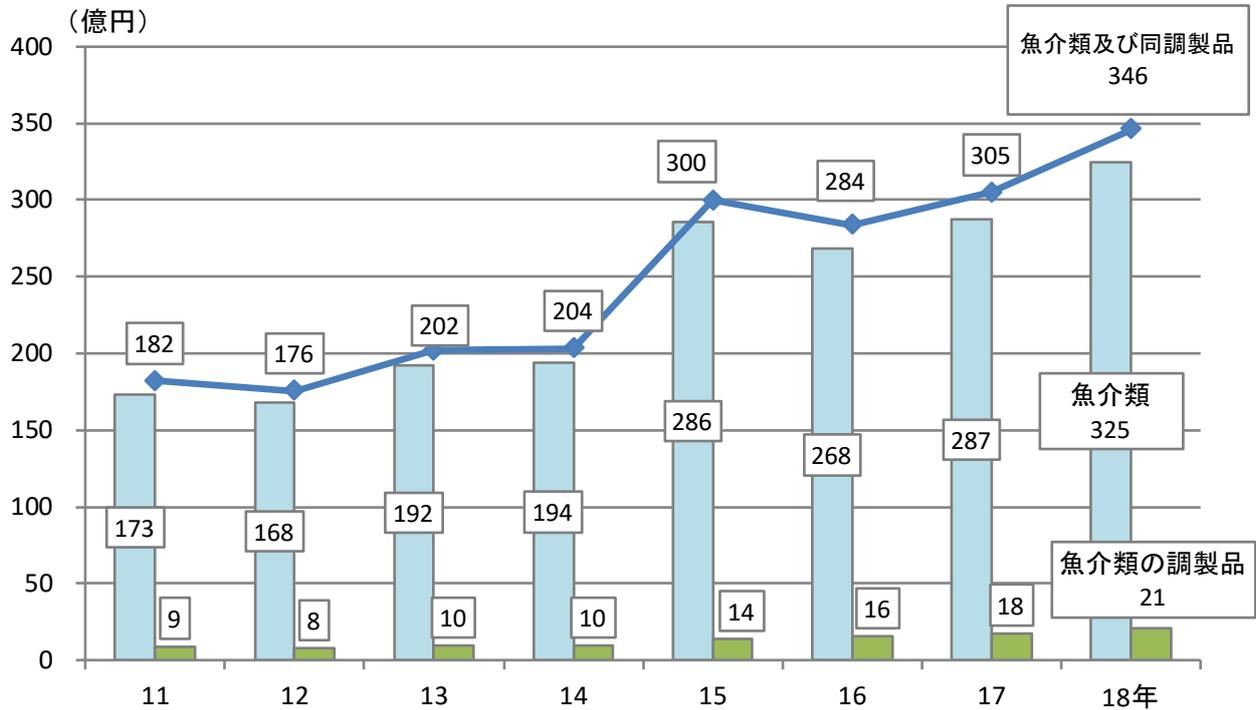
(単位：百万円、%)



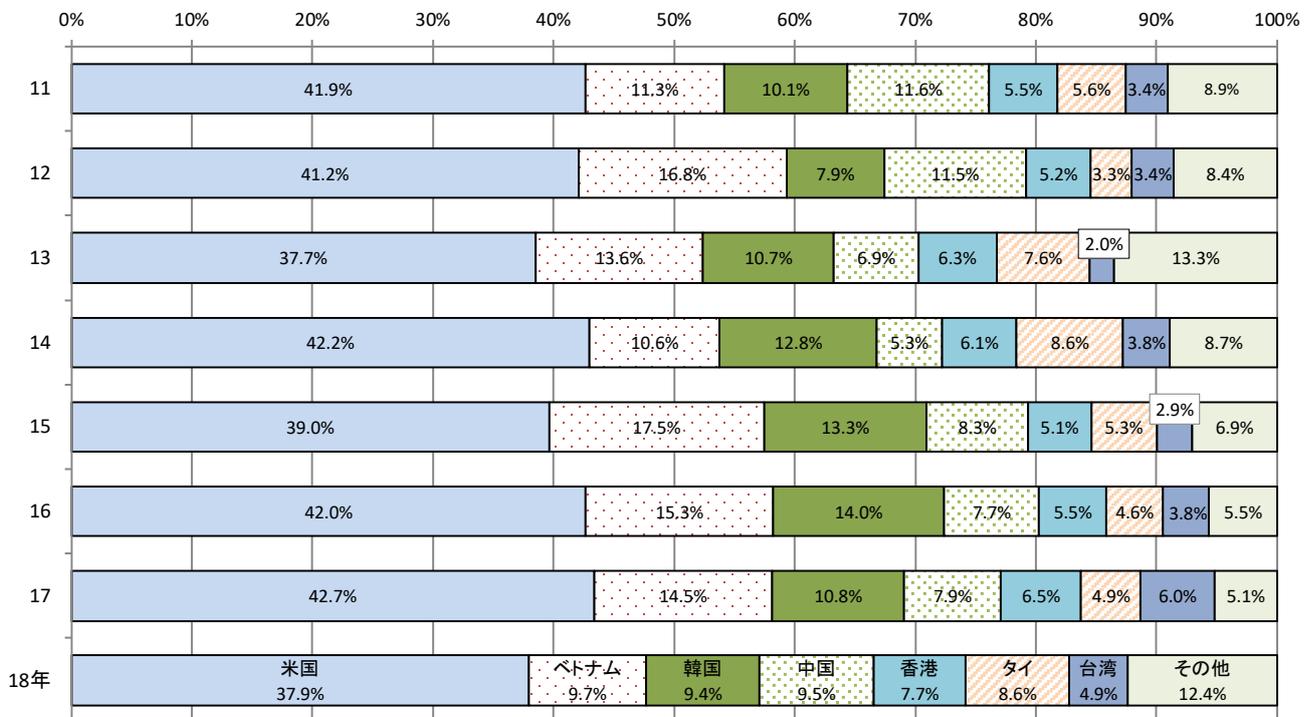
○魚介類の輸出先については、米国向けが多く、特に、ぶりについては大半を占めている。
その他、中国やASEAN 諸国などアジアが多い。

図表 3-6-1~2 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 3-6-3 九州の魚介類及び同調製品輸出額の推移



図表 3-6-4 九州の魚介類及び同調製品の輸出相手国・地域の推移



図表 3-6-3~4 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

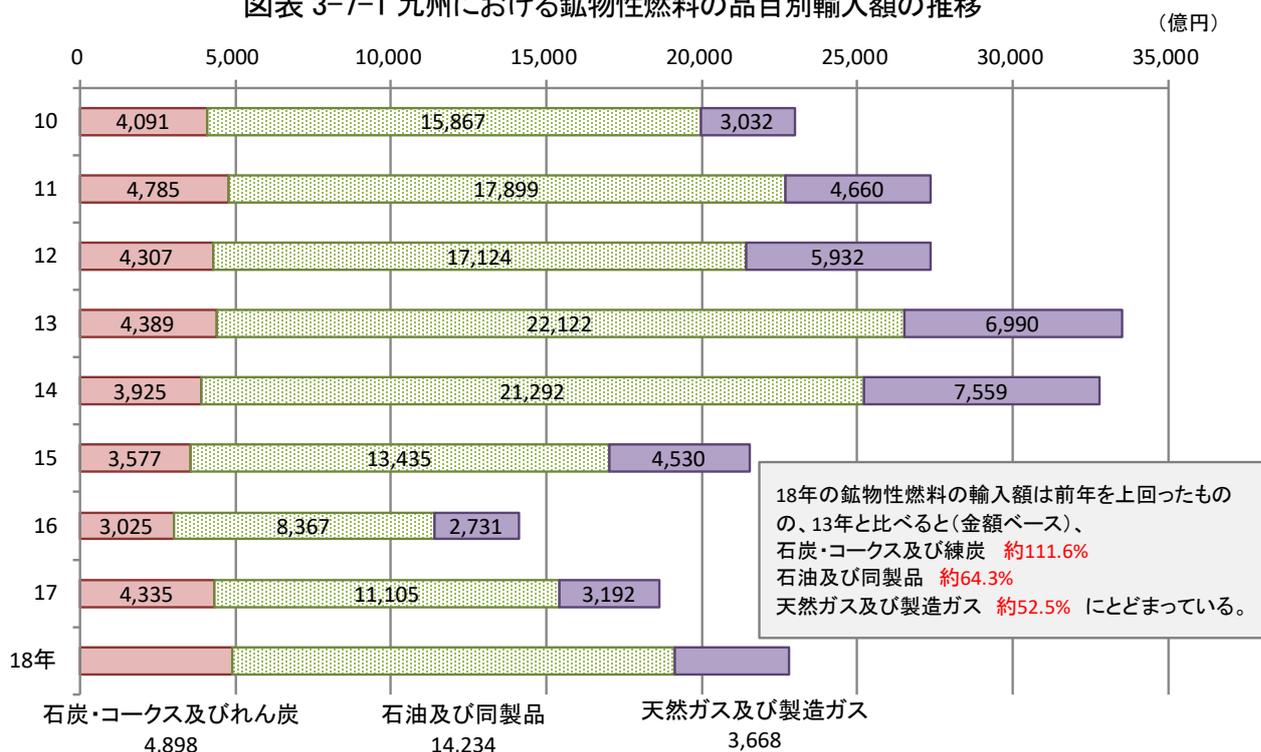
7. 鉱物性燃料

●2018年の九州の鉱物性燃料の輸入額は、2兆2,800億円（前年比22.4%増）

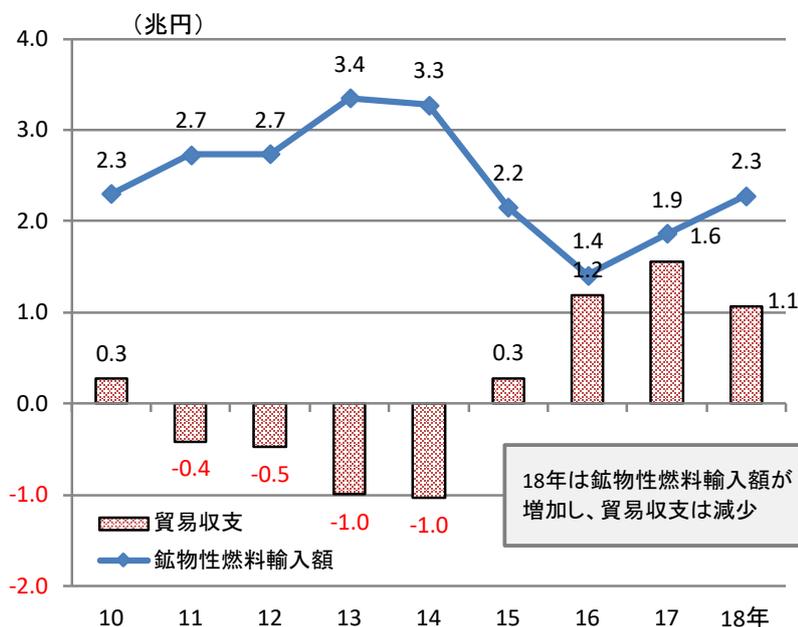
→ 4年ぶりに増加に転じた昨年に続き、2年連続の増加。品目別では、石炭・コークス及びびれん炭、石油及び同製品、天然ガス及び製造ガスのいずれも輸入額が前年より増加。

★2011年の東日本大震災以降、鉱物性燃料の需要増により、九州においても鉱物性燃料の輸入額が増加し、貿易収支は4年連続の赤字となった。その後、2015年、2016年は鉱物性燃料の輸入額が大幅に減少し、貿易収支は黒字に転じた。2017年、2018年は、資源価格の上昇に伴い、鉱物性燃料の輸入額は増加したものの、それ以上に輸出額が増加したため、貿易収支は4年連続の黒字となった。

図表 3-7-1 九州における鉱物性燃料の品目別輸入額の推移

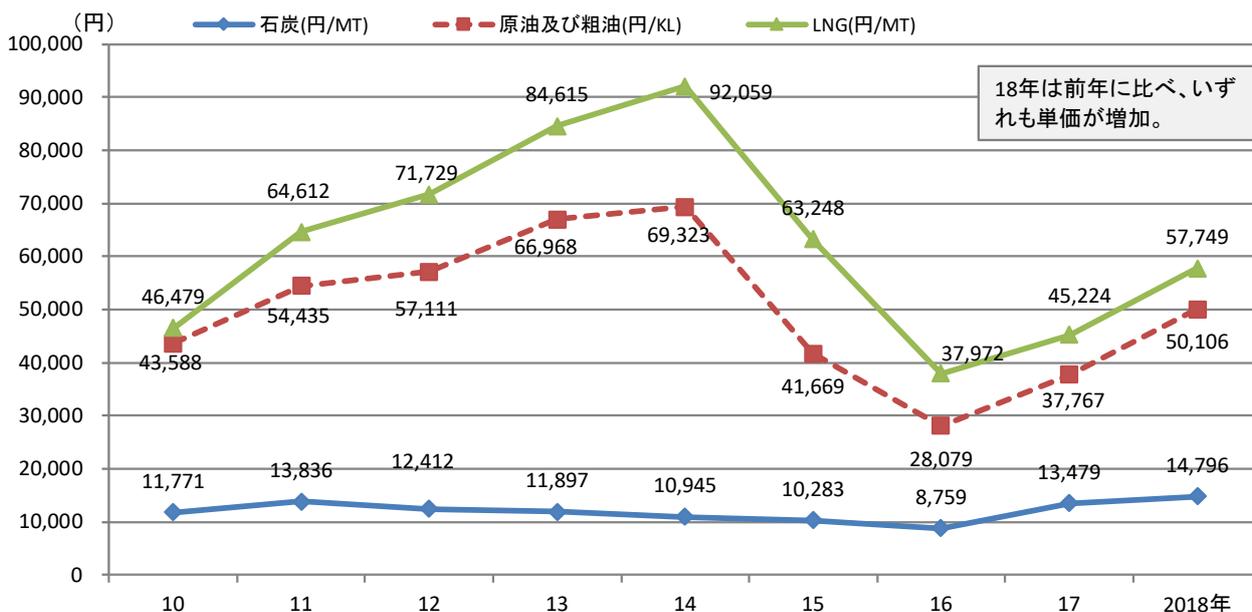


図表 3-7-2 九州における鉱物性燃料輸入額と貿易収支の推移



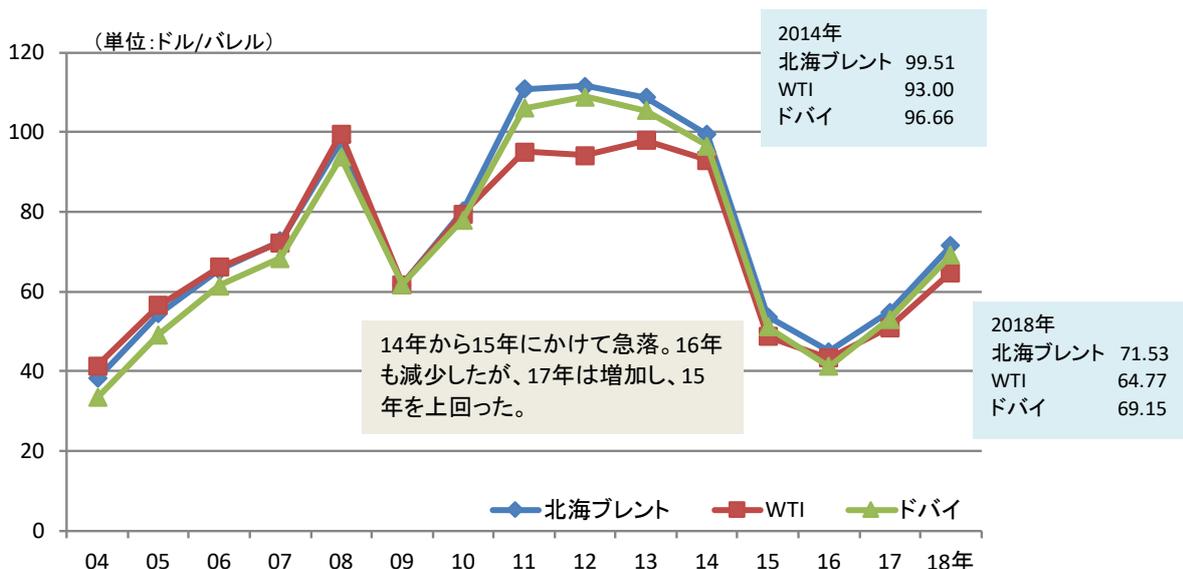
- 主な鉱物性燃料（石炭、原油及び粗油、LNG）の輸入単価をみると、石炭は2011年以降、緩やかに減少。原油及び粗油とLNGについては2014年までは上昇を続けていたが、2015年に大きく下落。2016年もさらに下落したものの、2017年、2018年はすべて上昇に転じた。
- ここで、原油相場における原油価格をみると、2015年に大幅に下落。2016年はさらに下落したものの、2017年、2018年は上昇に転じた。
- なお、2018年の主な鉱物性燃料（石炭、原油及び粗油、LNG）の輸入数量をみると、石炭は前年より増加、原油及び粗油、LNGは前年に比べて減少。

図表 3-7-3 九州の主な鉱物性燃料の輸入単価



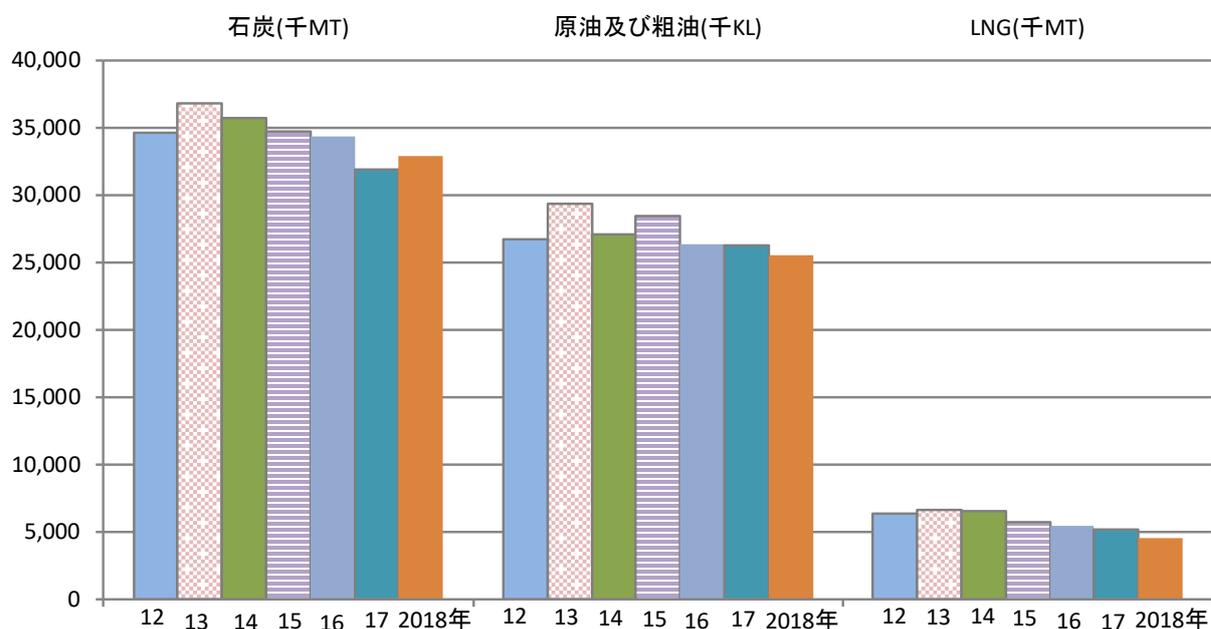
備考:それぞれの輸入単価は各年の輸入金額を輸入数量で割った値。

図表 3-7-4 原油相場における原油価格の推移

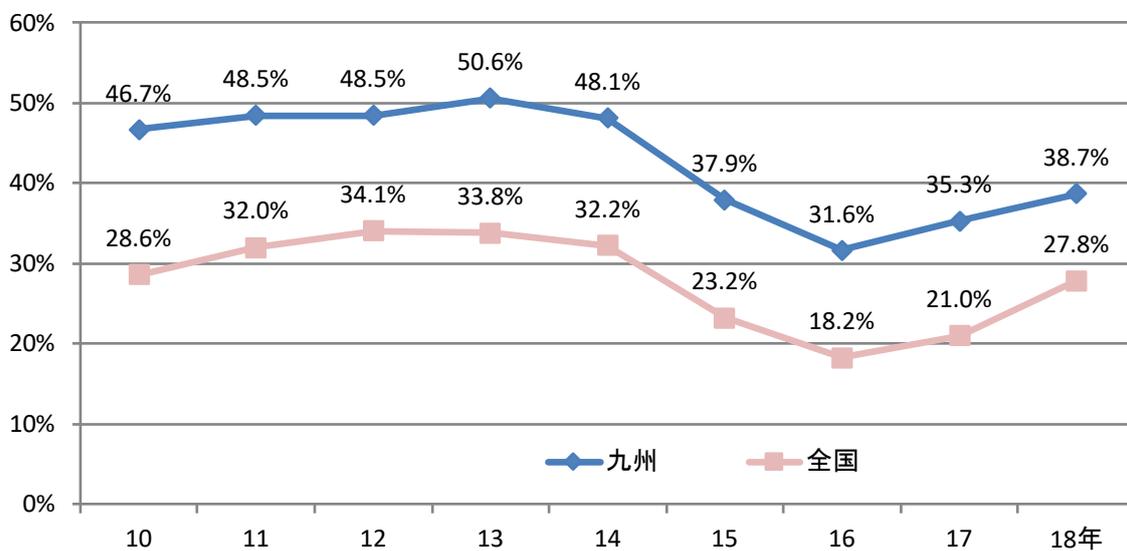


出所:内閣府「月刊海外経済データ」より九州経済産業局作成。

図表 3-7-5 九州の主な鉱物性燃料の輸入数量の推移



図表 3-7-6 九州と全国の輸入総額に占める鉱物性燃料の割合



図表 3-7-1~6 出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

巻末資料

1. 九州及び日本の貿易の変遷 _____ 巻末 1
2. 地理圏・経済圏の分類表 _____ 巻末 2
3. 品目分類表 _____ 巻末 3

巻末資料1 九州及び日本の貿易の変遷

	九州						全国				対米ドル 為替レート (円)
	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	全国比 (%)	輸出額 (億円)	伸び率 (%)	輸入額 (億円)	伸び率 (%)	
1979 (昭和54)	11,983	7.5	5.3	23,484	55.1	9.7	225,315	9.6	242,454	44.9	219.14
1980 (昭和55)	15,387	28.4	5.2	34,234	45.8	10.7	293,825	30.4	319,953	32.0	226.74
1981 (昭和56)	17,511	13.8	5.2	34,457	0.7	11.0	334,690	13.9	314,641	-1.7	220.54
1982 (昭和57)	18,539	5.9	5.4	34,233	-0.7	10.5	344,325	2.9	326,563	3.8	249.08
1983 (昭和58)	17,642	-4.8	5.1	30,689	-10.4	10.2	349,093	1.4	300,148	-8.1	237.51
1984 (昭和59)	22,150	25.6	5.5	30,978	0.9	9.6	403,253	15.5	323,211	7.7	237.52
1985 (昭和60)	21,362	-3.6	5.1	30,176	-2.6	9.7	419,557	4.0	310,849	-3.8	238.54
1986 (昭和61)	16,002	-25.1	4.5	16,769	-44.4	7.8	352,897	-15.9	215,507	-30.7	168.52
1987 (昭和62)	14,003	-12.5	4.2	16,503	-1.6	7.6	333,152	-5.6	217,369	0.9	144.64
1988 (昭和63)	13,171	-5.9	3.9	13,422	-18.7	5.6	339,392	1.9	240,063	10.4	128.15
1989 (平成元)	15,595	18.4	4.1	15,891	18.4	5.5	378,225	11.4	289,786	20.7	137.96
1990 (平成2)	16,742	7.4	4.0	19,917	25.3	5.9	414,569	9.6	338,552	16.8	144.79
1991 (平成3)	18,069	7.9	4.3	19,593	-1.6	6.1	423,599	2.2	319,002	-5.8	134.71
1992 (平成4)	19,425	7.5	4.5	18,539	-5.4	6.3	430,123	1.5	295,274	-7.4	126.65
1993 (平成5)	19,190	-1.2	4.8	17,127	-7.6	6.4	402,024	-6.5	268,264	-9.1	111.20
1994 (平成6)	21,115	10.0	5.2	17,992	5.0	6.4	404,976	0.7	281,043	4.8	102.21
1995 (平成7)	23,526	11.4	5.7	19,860	10.4	6.3	415,309	2.6	315,488	12.3	94.06
1996 (平成8)	25,409	8.0	5.7	22,513	13.4	5.9	447,313	7.7	379,934	20.4	108.78
1997 (平成9)	29,217	15.0	5.7	25,524	13.4	6.2	509,380	13.9	409,562	7.8	120.99
1998 (平成10)	29,388	0.6	5.8	21,805	-14.6	5.9	506,450	-0.6	366,536	-10.5	130.91
1999 (平成11)	27,621	-6.0	5.8	21,678	-0.6	6.1	475,476	-6.1	352,680	-3.8	113.91
2000 (平成12)	30,164	9.2	5.8	25,463	17.5	6.2	516,542	8.6	409,384	16.1	107.77
2001 (平成13)	28,374	-5.9	5.8	26,803	5.3	6.3	489,792	-5.2	424,155	3.6	121.53
2002 (平成14)	32,543	14.7	6.2	27,289	1.8	6.5	521,090	6.4	422,275	-0.4	125.39
2003 (平成15)	33,914	4.2	6.2	28,382	4.0	6.4	545,484	4.7	443,620	5.1	115.93
2004 (平成16)	40,008	18.0	6.5	33,786	19.0	6.9	611,700	12.1	492,166	10.9	108.19
2005 (平成17)	43,629	9.1	6.6	42,756	26.5	7.5	656,565	7.3	569,494	15.7	110.22
2006 (平成18)	50,595	16.0	6.7	54,294	27.0	8.1	752,462	14.6	673,443	18.3	116.30
2007 (平成19)	59,095	16.8	7.7	61,089	12.5	8.4	839,314	11.5	731,359	8.6	117.75
2008 (平成20)	59,260	0.3	7.3	71,647	17.3	9.1	810,181	-3.5	789,547	8.0	103.36
2009 (平成21)	40,984	-30.8	7.6	40,850	-43.0	7.9	541,706	-33.1	514,994	-34.8	93.57
2010 (平成22)	51,941	26.7	7.7	49,243	20.5	8.1	673,996	24.4	607,650	18.0	87.78
2011 (平成23)	52,281	0.7	8.0	56,415	14.6	8.3	655,465	-2.7	681,112	12.1	79.81
2012 (平成24)	51,726	-1.1	8.1	56,460	0.1	8.0	637,476	-2.7	706,886	3.8	79.79
2013 (平成25)	56,203	8.7	8.1	66,154	17.2	8.1	697,742	9.5	812,425	14.9	97.60
2014 (平成26)	57,719	2.7	7.9	68,131	3.0	7.9	730,930	4.8	859,091	5.7	105.94
2015 (平成27)	59,566	3.2	7.9	56,788	-16.6	7.2	756,139	3.4	784,055	-8.7	121.04
2016 (平成28)	56,548	-5.1	8.1	44,643	-21.4	6.8	700,358	-7.4	660,420	-15.8	108.79
2017 (平成29)	68,410	21.0	8.7	52,788	18.2	7.0	782,865	11.8	753,792	14.1	112.17
2018 (平成30)	69,506	1.6	8.5	58,854	11.5	7.1	814,788	4.1	827,033	9.7	110.42

備考：九州の1970～1987年は下関港を含んだ金額。

出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供資料、内閣府「海外経済データ」から局作成。

巻末資料2 地理圏・経済圏の分類表

地理圏 (国・地域数)	該 当 国 ・ 地 域
アジア (26)	韓国、北朝鮮、中国、台湾、モンゴル、香港、ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー、インド、パキスタン、スリランカ、モルディブ、バングラデシュ、東ティモール、マカオ、アフガニスタン、ネパール、ブータン
中東 (14)	イラン、イラク、バーレーン、サウジアラビア、クウェート、カタール、オマーン、イスラエル、ヨルダン、シリア、レバノン、アラブ首長国連邦、イエメン、ヨルダン川西岸及びガザ
中東欧・ロシア等 (22)	アゼルバイジャン、アルメニア、ウズベキスタン、カザフスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタン、ジョージア、ポーランド、ロシア、ハンガリー、アルバニア、ルーマニア、ブルガリア、エストニア、ラトビア、リトアニア、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバ、チェコ、スロバキア
西欧 (34)	アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルク、フランス、モナコ、アンドラ、ドイツ、スイス、アゾレス(葡)、ポルトガル、スペイン、ジブラルタル(英)、イタリア、マルタ、フィンランド、オーストリア、セルビア、ギリシャ、キプロス、トルコ、クロアチア、スロベニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、北マケドニア、モンテネグロ、コソボ、フェロー諸島(デンマーク)、バチカン
北米 (4)	グリーンランド(デンマーク)、カナダ、サンピエール及びミクロン(仏)、米国
中南米 (47)	メキシコ、グアテマラ、ホンジュラス、ベリーズ、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマ、バーミュダ(英)、バハマ、ジャマイカ、タークス及びカイコス諸島(英)、バルバドス、トリニダード・トバゴ、キューバ、ハイチ、ドミニカ共和国、プエルトリコ(米)、米領バージン諸島、蘭領アンティール、仏領西インド諸島、ケイマン諸島(英)、グレナダ、セントルシア、アンティグア・バーブーダ、英領バージン諸島、ドミニカ、モントセラト(英)、セントクリストファー・ネイビス、セントビンセント、英領アンギラ、サン・バルテルミー島(仏)、コロンビア、ベネズエラ、ガイアナ、スリナム、仏領ギアナ、エクアドル、ペルー、ボリビア、チリ、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、アルゼンチン、フオー克蘭ド諸島及びその附属諸島(英)、英領南極地域
アフリカ (60)	モロッコ、セウタ及びメリリア(西)、アルジェリア、チュニジア、リビア、エジプト、スーダン、西サハラ、モーリタニア、セネガル、ガンビア、ギニア・ビサウ、ギニア、シエラレオネ、リベリア、コートジボワール、ガーナ、トーゴ、ベナン、マリ、ブルキナファソ、カーボベルデ、カナリー諸島(西)、ナイジェリア、ニジェール、ルワンダ、カメルーン、チャド、中央アフリカ、赤道ギニア、ガボン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、ブルンジ、アンゴラ、サントメ・プリンシペ、セントヘレナ及びその附属諸島(英)、エチオピア、ジブチ、ソマリア、ケニア、ウガンダ、タンザニア、セーシェル、モザンビーク、マダガスカル、モーリシャス、レユニオン(仏)、ジンバブエ、ナミビア、南アフリカ共和国、レソト、マラウイ、ザンビア、ボツワナ、エスワティニ、英領インド洋地域、コモロ、エリトリア、南スーダン
大洋州 (25)	オーストラリア、パプアニューギニア、その他のオーストラリア領、ニュージーランド、クック、トケラウ諸島(ニュージーランド)、ニウエ、サモア、バヌアツ、フィジー、ソロモン、トンガ、キリバス、ピットケルン(英)、ナウル、ニューカレドニア(仏)、仏領ポリネシア、グアム(米)、米領サモア、米領オセアニア、ツバル、マーシャル、ミクロネシア、北マリアナ諸島(米)、パラオ
経済圏 (国数)	該 当 国
A S E A N (10)	ベトナム、タイ、シンガポール、マレーシア、ブルネイ、フィリピン、インドネシア、カンボジア、ラオス、ミャンマー
E U (28)	スウェーデン、デンマーク、英国、アイルランド、オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ、フランス、ドイツ、ポルトガル、スペイン、イタリア、マルタ、フィンランド、ポーランド、オーストリア、ハンガリー、ギリシャ、ルーマニア、ブルガリア、キプロス、エストニア、ラトビア、リトアニア、クロアチア、スロベニア、チェコ、スロバキア

巻末資料3 品目分類表(2018年輸出)

大	中	小	大	中	小	大	中	小
食品及び動物			肥料			建設用・鉱山用機械		
生きた動物			窒素肥料			加熱用・冷却用機器		
肉類及び同調製品			火薬類			ポンプ及び遠心分離機		
酪農品及び鳥卵			プラスチック			荷役機械		
ミルク、クリーム及びバター			メラミン樹脂			ベアリング及び同部分品		
魚介類及び同調製品			塩化ビニール樹脂			半導体等製造装置		
魚介類			ポリエチレン			電気機器		
魚介類の調製品			ポリスチレン			重電機器		
穀物及び同調製品			その他の化学製品			電気回路等の機器		
小麦粉			原料別製品			絶縁電線及び絶縁ケーブル		
米			革及び同製品・毛皮			がい子		
果実及び野菜			ゴム製品			映像機器		
果実			ゴム加工材料			音響機器		
野菜			ゴムタイヤ及びチューブ			音響・映像機器の部分品		
糖類及び同調製品・はちみつ			ベルト及びベルチング			通信機		
コーヒー・茶・ココア・香辛料類			木製品及びコルク製品(除家具)			家庭用電気機器		
茶			合板			電池		
飼料			木製品(合板を除く)			電球類		
魚介類の粉、ミール及びペレット			紙類及び同製品			半導体等電子部品		
配合飼料(ペットフードを含む)			紙及び板紙			自動車用等の電気機器		
その他の調製食料品			封筒及び雑記帳等の紙製品			電気計測機器		
飲料及びたばこ			紙袋・紙テープ及び紙タオル			コンデンサー		
飲料			織物用糸及び繊維製品			電気用炭素及び黒鉛製品		
たばこ			織物用糸			輸送用機器		
葉たばこ			織物			鉄道用車両		
原材料			繊維二次製品(除衣類)			自動車		
原皮及び毛皮(未仕上)			非金属鉱物製品			自動車の部分品		
採油用の種・ナット及び核			セメント			二輪自動車類		
生ゴム			タイル			自転車及び同部分品		
合成ゴム			ガラス及び同製品			航空機類		
木材及びコルク			陶磁器			船舶類		
木材			真珠			雑製品		
パルプ及び古紙			鉄鋼			照明器具		
織物用繊維及びびくず			鉄鉄			家具		
人造繊維			ビレット及びシートバー等			家具(除医療用)		
粗鉱物			鉄鋼の棒・形鋼及び線			バッグ類		
耐火性材料			鉄鋼のフラットロール製品			衣類及び同附属品		
金属鉱及びびくず			軌条及びその他の鉄道線路建設材			外衣類		
(鉄鋼くず)			管及び管用継手			下着類		
その他の動植物性原材料			非鉄金属			ハンカチ		
寒天			銅及び同合金			ショール及びマフラー類		
鉱物性燃料			アルミニウム及び同合金			メリヤス編み及びクロセ編み衣類		
石炭・コークス及び練炭			亜鉛及び同合金			帽子及び同部分品		
(コークス)			チタン及び同合金			はき物		
石油及び同製品			白金族の金属			精密機器類		
石油製品			金属製品			科学光学機器		
天然ガス及び製造ガス			構造物及び同建設材			時計及び部分品		
動植物性油脂			貯蔵用及び輸送用の金属製容器			その他の雑製品		
動物性油脂			より線・網及び網類			写真用・映画用材料		
植物性油脂			くぎ・ねじ・ボルト及びナット類			記録媒体(含記録済)		
加工油脂及びろう			手道具類及び機械用工具			楽器		
化学製品			刃物			書籍・新聞・雑誌		
元素及び化合物			卑金属製の家庭用品			クリスマス用品類		
有機化合物			錠・かぎ及び取付具			プラスチック製品		
無機化合物			鉄鋼製くさり及び同部分品			がん具		
鉱物性タール及び粗製薬品			手針・ピン及び留金類			遊戯用具		
染料・なめし剤及び着色剤			機械類及び輸送用機器			運動用具		
有機合成染料及びレーキ顔料			一般機械			事務用品		
塗料類			原動機			貴石等の製品類		
医薬品			農業用機械			喫煙用具		
プロビタミン及びビタミン			事務用機器			かさ及びつえ類		
ビタミン製剤			金属加工機械			ボタン及びスライドファスナー類		
抗生物質			繊維機械			くし・かんざし及び化粧用具		
抗生物質製剤			ミンシ			特殊取扱品		
精油・香料及び化粧品類			パルプ製造・製紙及び紙加工機械			再輸出品		
化粧品			印刷機械及び製本機械			金(マネタリーゴールドを除く)		
くつずみ及びクレンザー類			食料品加工機械					

出所:財務省「概況品コード表」を基に九州経済産業局作成
備考:概況品コードの1桁を大、3桁を中、5桁を小分類と見なしている

品目分類表(2018年輸入)

大	中	小	大	中	小	大	中	小
食料品及び動物			その他の動植物性原材料			鉄鋼		
生きた動物			動物性原材料			鉄鉄		
鶏			植物性原材料			合金鉄		
馬						鉄鋼の棒・形鋼及び線		
肉類及び同調製品			鉱物性燃料			鉄鋼のフラットロール製品		
牛肉			石炭・コークス及び練炭			管及び管用継手		
羊・やぎ肉			石炭					
豚・いのししの肉			石油及び同製品			非鉄金属		
鶏肉			原油及び粗油			銀及び白金族		
馬肉			石油製品			銅及び同合金		
酪農品及び鳥卵			天然ガス及び製造ガス			ニッケル及び同合金		
ミルク及びクリーム			石油ガス類			アルミニウム及び同合金		
バター			動植物性油脂			鉛及び同合金		
チーズ及びカード			動物性油脂			亜鉛及び同合金		
魚介類及び同調製品			牛脂			すず及び同合金		
魚介類			植物性油脂			コバルト及び同合金		
魚介類の調製品			綿実油			金属製品		
穀物及び同調製品			パーム油			鉄鋼製構造物及び同建設機材		
小麦及びメスリン			桐油			くぎ・ねじ・ナット・ボルト類		
米			加工油脂及びろう			手道具類及び機械用工具		
大麦及びはだか麦			ろう			刃物		
とうもろこし			化学製品			卑金属製の家庭用品		
あわ・きび及びひえ			元素及び化合物			機械類及び輸送用機器		
こうりゃん(飼料用)			有機化合物			一般機械		
麦芽			無機化合物			原動機		
果実及び野菜			放射性元素			農業用機械		
果実			鉱物性タール及び粗製薬品			事務用機器		
野菜			ベンゼン(粗製のもの)			金属加工機械		
糖類及び同調製品・はちみつ			キシレン(粗製のもの)			繊維機械		
砂糖			染料・なめし剤及び着色剤			パルプ製造・製紙及び紙加工機械		
糖みつ			有機合成染料及びレーキ顔料			印刷機械及び製本機械		
乳糖			植物性のなめしエキス			食料品加工機械		
コーヒー・茶・ココア・香辛料類			塗料類			建設用・鉱山用機械		
コーヒー			医薬品			加熱用・冷却用機器		
ココア			プロビタミン及びビタミン			ポンプ及び遠心分離機		
お茶			抗生物質			荷役機械		
飼料			ホルモン			鉱物・木材等の材料加工機械		
ふすま			抗生物質製剤			コック・弁類		
植物性油かす			精油・香料及び化粧品類			半導体等製造装置		
魚介類の粉、ミール及びペレット			精油及びレジンノイド			電気機器		
その他の調製食料品			人造香料類			重電機器		
飲料及びたばこ			肥料			電気回路等の機器		
飲料			カリ肥料			絶縁電線及び絶縁ケーブル		
アルコール飲料			火薬類			音響・映像機器(含部品)		
たばこ			プラスチック			通信機		
葉たばこ			シリコン			家庭用電気機器		
製造たばこ			塩化ビニール樹脂			半導体等電子部品		
原材料			ポリエチレン			電気計測機器		
原皮及び毛皮(未仕上)			ポリスチレン			電気溶接器		
原皮			合成樹脂			輸送用機器		
毛皮			その他の化学製品			自動車		
採油用の種・ナット及び核			消毒剤・殺虫剤及び殺菌剤類			自動車の部分品		
落花生			でん粉			二輪自動車類		
大豆			カゼイン			航空機類		
その他の採油用種子			ロジン			船舶類		
生ゴム			調製石油添加剤			自転車		
天然ゴム			触媒			雑製品		
天然ゴムラテックス			原料別製品			照明器具		
合成ゴム			革及び同製品・毛皮			家具		
木材及びコルク			羊革			バッグ類		
木材			ゴム製品			衣類及び同附属品		
パルプ及び古紙			ゴム加工材料			衣類		
パルプ			木製品及びコルク製品(除家具)			衣類附属品		
織物用繊維及びくず			合板・ウッドパネル			メリヤス編み及びクロセ編み衣類		
絹			パルプウッド等			はき物		
羊毛			木製建具及び建築用木工品			精密機器類		
織獣毛			紙類及び同製品			科学光学機器		
獣毛(カード、コームしたもの)			紙及び板紙			時計及び部分品		
綿花			織物用糸及び繊維製品			その他の雑製品		
麻類(含む)			織物用繊維系			写真用・映画用材料		
粗鉱物			綿織物			記録媒体(含記録済)		
りん鉱石			毛織物			書籍・新聞・雑誌		
粗鉱物(除りん鉱石)			絹織物			プラスチック製品		
金属鉱及びくず			合成繊維織物			がん具及び遊戯用具		
鉄鉱石			チュール及びししゅう布類			運動用具		
鉄鋼くず			敷物類			事務用品		
非鉄金属鉱			メリヤス編み及びクロセ編物			美術品・収集品及びごっことう		
非鉄卑金属くず			非金属鉱物製品			成形品及び彫刻品		
			ガラス及び同製品			特殊取扱品		
			ダイヤモンド			再輸入品		
			貴石及び半貴石			金(マネタリーゴールドを除く)		

出所:財務省「概況品コード表」を基に九州経済産業局作成
備考:概況品コードの1桁を大、3桁を中、5桁を小分類と見なしている

九州経済国際化データ 2019（貿易編）

2019年10月発行

編集・発行：九州経済産業局 国際部 国際企画調査課

〒812-8546 福岡市博多区博多駅東2-11-1

T E L 092-482-5428

H P <http://www.kyushu.meti.go.jp>